令和7年度 沖 縄 振 興 特 別 推 進 市 町 村 交 付 金 事 業 計 画
成 果 目 標

令和7年6月27日

那覇市	1	嘉手納町	125
宜野湾市	25	北谷町	130
石垣市	33	北中城村	136
浦添市	39	中城村	141
名護市	48	西原町	145
糸満市	54	与那原町	150
沖縄市	59	南風原町	155
豊見城市	67	渡嘉敷村	166
うるま市	73	座間味村	169
宮古島市	82	粟国村	172
南城市	88	渡名喜村	176
国頭村	91	南大東村	177
大宜味村	95	北大東村	180
東村	97	伊平屋村	183
今帰仁村	99	伊是名村	187
本部町	102	久米島町	191
恩納村	105	八重瀬町	197
宜野座村	109	多良間村	203
金武町	113	竹富町	206
伊江村	116	与那国町	209
読谷村	120		

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R13	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内所の実施に必要なスタッフ（常勤8名）配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスのさらなる充実に勤め、本市の観光イメージアップ及び観光誘客を図る。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか（満足度80%以上）を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・案内所を利用する外国人観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。	【R7成果目標の考え方】 ・事業の成果目標として、案内所を利用する外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。
1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	・迷惑行為に対する是正指導及び、具体的手法の検討	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐停車への指導回数 看板：月平均764回以内 車両：月平均197回以内	【今後のスケジュール】 今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 R7年度もＲ6年度に引き続き、具体的手法を検討するため、看板等の違法な設置と車両の違法駐停車に目標値を分けて設定した。 成果目標値は、令和6年4月から10月分の平均に1割減した値とした。
1	3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフの配置・広報 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における祭りの賑わい創出や安心安全な開催に係る業務の委託 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備の実施	・「那覇ハーリー」来場者数：178,200人 ・「那覇大綱挽」来場者数：273,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数：40,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、那覇三大祭り開催の支援等を行う。 （那覇ハーリー） 令和7年度　会場移設に向け調整 令和8年度　新会場にて那覇ハーリー実施 【成果目標】 那覇三大祭りの観客平均動員（成果指標）を上回る、または維持できるよう事業を実施していく。 那覇ハーリー：178,200人 那覇大綱挽まつり：273,000人 王朝祭り首里：40,000人	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	本市観光の実態を把握し、観光施策の企画・立案及び成果検証の活用、第2次那覇市観光基本計画の進捗管理の活用を図るため、本市における国内外観光客や観光関連事業者向けのアンケート調査を行う。	①統計調査 ②アンケート調査 （観光関連事業者、国内外観光客）	・国内観光客アンケート調査における回収件数1,600件以上。 ・国外観光客アンケート調査における回収件数800件以上。 ・観光関連事業者アンケート調査における回収件数100件以上	【今後のスケジュール】 アンケート結果から得られるデータを基に過去の調査結果や全国・沖縄県と比較することで、今後の観光振興施策や第2次那覇市観光基本計画の推進に活用する。	【R7成果目標設定の考え方】 一般的な回収件数の基準や類似調査の実績を勘案して設定した。
1	5	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦の開催支援等を行う。	・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備しキャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ 見学者数　93,900人 ・プロ野球公式戦 １試合入場者数：12,500人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	6	那覇まちま～い推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちま～い」の支援を行う。	「那覇まちま～い」実施に要する費用の支援	・那覇まちま～い参加者数 5,910人	【今後のスケジュール】 (一社)那覇市観光協会が十酢する「那覇まちま～い」に要する費用に対する支援を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を考慮し、設定した。
1	7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う。	那覇クルーズ促進連絡協議会への活動支援 ・臨時観光案内所の設置 ・歓送迎演舞の実施 ・タクシー等への通訳補助 ・初寄港セレモニーの実施	クルーズ乗船客数：607,809人	今後もクルーズ受け入れに関する体制を整備するために支援を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績を参考に、設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	観光地や市街地への誘客促進を図るため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信	年間稼働数：50回 （内訳） ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎：16回 ・那覇ハーリー：3回 ・那覇大綱挽まつり：2回 ・琉球王朝祭り首里：1回 ・那覇マラソン：3回 ・読売巨人軍那覇キャンプ：20回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント：5回	【スケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績と予算額を勘案して設定した。
1	9	WBSC U-18野球ワールドカップ支援事業	R7 ～ R7	「WBSC U-18野球ワールドカップ2025」大会の成功に向けて、認知度向上・機運醸成を図り、将来を担う子ども達が様々な世界に触れる機会を創出するために必要な事業を実施する。	・子ども達と世界との交流の創出（大会出場国について学びを行い理解を深めるなど） ・子ども達と選手等との交流の創出（アスリートや指導者等と市内の子ども達と野球など活用した交流） ・大会開催に向けた機運醸成（シテイドレッシング）	・県内外からの来場者数：33,957人 ・交流事業への参加者数：1,700人	今後、各種スポーツイベントや世界大会等を誘致について、県などと連携し、本市として観光誘客を図る取組を行う。 将来を担う子ども達が大会を見学したり、国際交流やスポーツ交流などを通じて、様々な分野で世界へはばたく機会の創出に繋げる。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の大会実績を参考に設定した。
1	10	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組みを支援する。	那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数：35回 ※新型コロナの影響を受けていない過去5年間（R2、R3を除く）の平均値で設定。 【実績】 H29：36回 H30：35回 R1：33回 ［R2：16回］ ［R3： 8回］ R4：34回 R5：35回	歩行者通行量(1日) 25,300人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。	【R7成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	11	一万人のエイサー踊り隊助成金事業	H24～R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人エイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	夏祭りin那覇実行委員会が実施する「一万人のエイサー踊り隊」を支援する。 開催予定月：10月	来場者数：27,810人	【今後のスケジュール】 引き続き来街者の増加を図ることを目的に一万人のエイサー踊り隊への支援を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	14	マチグヮー総合案内所事業	H26～R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街（マチグヮー）に、案内所を設置する。	①案内所の運営 案内スタッフ：常時１名以上 配置 （開所時間９時～20時 年中無休　※元日を除く） ②中心商店街（まちぐわー）情報の発信（ＨＰ、ＳＮＳ、情報紙制作等）	①案内所利用者数：20,500人 ②利用者満足度：80%以上	【今後のスケジュール】 堅調な国内外旅行者の増加に伴い、今後も来街者の増加による案内所の利用増が見込まれる。スタッフの体制強化を図り、引き続き案内所を運営する。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 ①案内所のＲ6年9月末時点の実績平均と入域観光客数の増加見込みを勘案し設定した。 ②現状維持
1	15	歴史博物館企画展事業	H24～R7	観光客を含む来館者に対して、琉球・沖縄の歴史・文化の魅力を周知するとともに、入館者の増加を図るため、那覇市歴史博物館で企画展等を開催する。	・企画展の開催（年1回） ・広報用のチラシ・ポスター等の作製（年1回） ・県内関係機関から借用する展示資料の梱包運搬業務（年1回） ・企画展関連シンポジウムの開催（1回）	企画展の入館者数　3,050人 シンポジウム参加者　110人 ※コロナ前であるＨ30年度の企画展1回あたりの入館者数に近い3,050人にシンポジウム参加者110人も観覧者として入館する想定 ※シンポジウム参加者は、会場の定員（約110人）を設定	【今後のスケジュール】 令和７年度中に移転準備のため、休館予定。 移転後に、沖縄の歴史・文化、沖縄の魅力の掘り起こしにつながる新たな取組を検討予定。	【令和7年成果目標設定の考え方】 H30年度（コロナ前）の企画展1回あたりの入館者数に近い3,050人をベースに、関連シンポジウム参加者110人も入館すると想定。
1	17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25～R13	観光誘客を図るため、観光資源である首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数：32,800人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	18	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24～R13	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営（インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備） ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプ 延べ見学者数　93,900人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、キャンプ会場周辺に、ステージイベント、案内看板等の設置を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	県木であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。	リュウキュウマツへの薬剤注入の実施	R9年度の松枯れ予防達成率90%以上	【今後のスケジュール】 薬剤注入完了から２年後の松枯れ予防達成率を90%以上とする。	【R9成果目標設定の考え方】 枯損木の目標は過去の事業実績を基に、90%以上の予防達成率とした。
1	20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。	・観光ルート沿線を対象に市民・学校等に草花を配布 ・公共花壇及び公園花壇を対象に花卉植栽を実施 ・新たな魅力創出のための立体花壇等を設置 ・亜熱帯樹木活用のための計画を作成	・花卉植栽及び亜熱帯樹木活用についてアンケート調査を実施し、観光振興に寄与するかを(80%)以上とする。	花卉植栽については、これまでどおり継続設定し、亜熱帯樹木の活用については、これまでの調査・計画を基に整備を行う。	【R7成果目標の考え方】 ・花卉植栽については、継続して設定。 ・亜熱帯樹木活用については、前年度までの調査・計画をもとに環境整備をおこなうもので、花卉植栽と同様の水準はを設定した。
1	21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R13	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備：道路整備工事 (整備路線：松城中学校東側線)	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じることができる道路整備となっているか（80%以上）を検証する。	【今後のスケジュール】 R8年度検討中 整備工事：（松城中学校東側線、末吉2号），基本計画策定業務 R9年度検討中 整備工事：（平良1号） R10年度以降検討中 整備工事：（大名沢岨線、大名1号、寒川2号）	【R7成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じることができる道路整備となっていると回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化（剪定・除草・植栽整備等）を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・観光に資する路線の街路樹剪定　（約2,100本） ・観光に資する路線の除草　（約17,700㎡） ・小禄金城1号及び久米若狭線の植栽整備（低木：約150㎡、高木：10本）	本事業（剪定・除草・植栽整備等）による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に年間25路線ずつの道路美化（剪定・除草・植栽整備等）を行い、観光に資する55路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【R7成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出をはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じている人の割合を指標に設定した。 大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	23	都市景観資源形成促進事業	R5 ～ R13	那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行う。	・都市景観資源の維持管理等に対する補助 ・銘板設置業務の実施	都市景観資源指定件数の維持及び向上:71件以上	【今後のスケジュール】 都市景観資源指定件数の維持及び向上:87件以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行い、都市景観資源の指定件数の維持及び向上を指標に設定した。
1	27	NAHAマラソン大会推進事業	R5 ～ R7	安全・安心かつ円滑な大会運営を図ると共に、会場などの環境整備を図り、NAHAマラソン大会を継続して実施できるよう開催支援等を行う。	警備費用、仮設トイレ設置費用、交通規制情報の発信にかかる費用を補助する。	参加申込者数：27,598人 （参考） 第38回NAHAマラソン大会 参加申込者数上限：30,000人	【今後の成果目標】 参加申込者数：28,395人	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、ＰＲ活動を実施する。	・情報発信業務：3回 ・イベント等開催支援：3回 ・水産教室等開催：3回	・市内世帯のマグロの年間購入数量の向上：前年比22.02%増 ・学生等若者向けの水産教室等マグロＰＲ事業の参加者：125人以上 ・マグロが市魚であることを知っている人の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 今後は漁業組合等への助成及び民間事業者等への業務委託を行うことでマグロの消費促進を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・イベント実施により、マグロのさらなる消費促進等を図る。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施：10件	漁業者数　199名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3	第4次那覇市水産業振興基本計画策定支援事業	R6 ～ R7	本市水産業を取り巻く環境変化や将来予測を調査及び分析・整理し、本市水産業振興の在り方について検討を行い、今後の水産業振興のあり方を定めた「第4次那覇市水産業振事興基本計画」を策定するものである。	前年度作成した骨子案をもとに調査及び分析・整理を通して基本計画を策定	第4次那覇市水産業振事興基本計画の策定	【今後のスケジュール】 R6　基礎調査実施 次期計画の骨子案を作成 R7　計画素案の作成 パブリックコメント等を経て、計画を策定	【成果目標設定の考え方】 策定予定の水産業基本計画の中で将来目標値を決定し、その達成に向け水産業振興施策を実施していくことを目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	4	泊漁港等整備基本計画策定事業	R7 ～ R7	本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及び水産関係団体等のヒアリングを踏まえ策定した泊漁港将来像構想をもとに、具体的な漁港等の整備基本計画を策定し、本市水産業の振興・発展に繋げることを目的とする。	泊漁港等整備基本計画策定に必要な各種調査・検討・分析の実施。	泊漁港等整備基本計画の策定。	【R8以降の成果目標】 策定した整備基本計画にて生産者及び流通事業者等の目標値を設定し、これらを達成するための支援策を実施する。	本事業において策定する整備基本計画において目標値を設定するため、現時点で定量的な目標値を設定することは困難であり、将来像構想に基づいた目標値を基に水産業振興施策を実施する。
2	5	那覇市園芸施設機能強化事業	R7 ～ R7	本市における農業の振興及び育成を図るため、経年劣化や台風等の自然災害を受けた園芸施設を補強などで機能強化を図った経費に対し補助を行う。	補強・改修が必要な園芸施設数を確認し、補助を行う。 事業費：5,000千円（うち国費：4,000千円） ・１戸あたり1,000千円を上限で補助をおこなう。 ・補助率は50%とする。	・補助の実施　５戸以上	【R8年度成果目標】 農産物の10ａ当たり生産量の維持	【R7成果目標設定の考え方】 県事業を参考に設定した。
3	1	中小企業者販路拡大支援事業	H24 ～ R13	市内中小企業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーや個別支援等実践的な支援を行う。	■販路拡大支援：8件 （海外商談会1件、県内外商談会5件、オンライン商談会2件） ■セミナー開催：2回程度(20名以上参加) ■個別相談支援：9回	■商談成約率（商談成約件数/商談件数）が10%以上 ■物産展での売上目標を達成した事業者が3分の2以上 ■セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上 ■個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合30%以上	【今後のスケジュール】 今後も販路拡大に取り組む中小企業者へ支援を実施する。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ R13	ビジネスアイディアやプランを持つ市民への効率的かつ効果的な創業支援や若年者から高齢者までのニーズに合った就職支援を行うことにより、民間活力を高め、産業の新陳代謝を進めるとともに、雇用のミスマッチや企業の人手不足等の改善を進めることで、本市の持つ成長可能性を着実な経済発展につなげ、市民所得の向上を図ることを目的とする。	・相談窓口利用者：1,500人 ・セミナー開催：創業・就職各毎月1回以上	・創業者11人以上 ・利用者のうち、就職した人数の割合5.2%以上	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績を参考に、設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
3	3	頑張るマチグヮー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援（13件程度） 【通行量調査】 市内42地点で、歩行者通行量調査の実施	中心商店街の平日歩行者通行量 99,100人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 目標値については、コロナ禍前は過去２年間の伸び率の平均値を最新データに乗じて設定していたが、R2・R3年度とも新型コロナウイルスの影響が大きく、適切な目標値の設定が困難なため、R1年度と直近のR５年度の実績値の平均値以上の通行量を目標として設定した（百未満切り上げ）。 【計算式】 105,861人+92,154人＝198,015人 198,015人÷2＝99,007.5人 百人未満切り上げし、99,100人
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R13	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。	①企業発掘：本市へ立地可能性の高い企業を10社程度発掘 ③市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング：1回	①誘致企業：1社 ②ビジネスマッチング参加企業：10社	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	専門家派遣を20社(計160回実施)	専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も企業の実情にあった経営課題解決のための専門家派遣を実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 アンケートにおける「経営基盤の強化に役立った」旨の回答は、経営者の意識改革や今後の具体的な取組実践に繋がる可能性が高いと考える。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等（沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野）の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	（１）　経営課題に対する相談・指導。 （２）　施設に関するプロモーションや業界に関する最新情報の発信を目的として、ホームページ等や冊子による情報発信。 （３）　入居企業、創業期の企業、創業活動を行う個人等を対象に関連する業界の最新情報や技術に関する研修やセミナー等の開催。	企業経営に役立った（80%以上）など、アンケート調査により、事業の成果や今後の支援内容を検討する。	【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、本事業の在り方について検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 本事業の支援を受けた企業へのアンケートから、企業経営に役立った等の回答が80%以上得られることが本事業の成果と判断し設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	7	企業立地促進事業	H28 ～ R13	合理的かつ継続性のある事業計画を有し、那覇市内に新規立地または新規創業により事務所等を設置した事業者に対し賃料(建設)助成金を交付する。また、賃料(建設)助成を受けた事業者のうち、市民を新たに常時雇用したものに対し、雇用助成金を交付する。	・市内立地企業への支援	・新規企業立地社（申請者）：3社	【今後のスケジュール】 ・誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやＩＴ創造館等、関係機関との連携	【R7成果目標設定の考え方】 過去3年分の企業立地数の実績平均値を上回る数値を指標とする。
3	8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源等を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	・新商品開発支援対象事業者の選定（５事業者程度） ・商品開発にかかる経費の助成 ・テストマーケティング支援及び結果の分析 ・過年度開発事業者の定番化に向けた支援 ・次年度以降の商品化に向けた支援	・新商品開発については、実施年度、新商品の企画開発・テストマーケティングの実施。 ・各事業者が設定した目標（販売額等）を達成した商品等の件数が開発した商品等の全件数に占める割合80%以上	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て販売等を行う。 【Ｒ７成果目標】 各事業者が設定した目標（販売額等）を達成した商品等の全件数に占める割合80%以上	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。
3	9	小中学生キャリア教育支援事業	R2 ～ R13	若年層の早期からの職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成を目的に、「職業教育プログラム事業」及び「職業体験イベント」を実施する。	実施校：8学年以上 イベント：2日間の実施	・職業観や就業意識の上昇（80%以上）など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。 イベント：参加人数2,000人以上、アンケートによる満足度80%以上	今後も、職業観の多様化に対応した、職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成に向け取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。 ・Ｒ４年度の学校単位でのキャリア教育実施校における参加人数(374人)の約2倍の人数を設定した。
3	10	那覇市ＩＴ人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座を開催し、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のＩＴ人材の育成やキャリア形成に役立てる。	・市内小中学生向けプログラミング講座の実施。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇（80%以上）を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 受講者及び応募者アンケート調査等を実施し、事業効果や課題の洗い出しを通して本事業の在り方について検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。
3	11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R8	人手不足による業務停滞を防ぐとともに労働力の有効活用促進を目的とし、市内事業者が人手不足解消のため実施する業態転換及び省人化への取組みに対し、費用の一部を補助する。	業態転換または省人化に要する経費の一部を補助	補助実績10事業者以上	【今後のスケジュール】 市内の落ち込んだ経済状況にある中の事業者の事業領域を広げることを支援する補助であることから、補助実績数そのものを目標設定とする。	【R7成果目標設定の考え方】 補助の性質を勘案して目標設定した。成果指標に加えて、事業実施後にアンケート等で満足度調査を行い、事業の貢献度について別途把握に努めたい。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
3	12	高度IT人材育成研修等補助事業	R4 ～ R13	那覇市民及び那覇市で働く従業員の人材育成等に係る費用の一部を助成することで、ITSSキャリアフレームワークレベル３・４程度の資格取得等を促し、売上高の向上を図る。	市民及び市内事業者の人材育成等に係る費用の一部を補助。	補助申請：5社	事業の性質を考慮し目標を設定したが、成果指標に加え、事業終了後にアンケート調査を実施し、事業効果についても別途把握に努めるものとする。	【R7成果目標設定の考え方】 本事業は、情報通信関連産業従事者の技術向上、高度人材の創出を目的としているが、資格取得のような客観的な指標があるものと比べ、IT関連イベント等への参加での人材育成については一概に人数のみで成果を判断することは難しいため、補助実績（件数）そのものを成果指標とした。
3	13	那覇市長賞選定・販売促進支援事業	H24 ～ R13	那覇市長賞商品の募集・審査・選定を行う。 市長賞を受賞した商品等を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・那覇市長賞商品の選定	・市長賞申込件数：21件以上 ・受賞商品の販売実績（金額）前年比10%増	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及びPRを展開する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	14	市内事業者アジア戦略実証支援事業	R7 ～ R13	アジア諸国への海外展開に取り組む事業者の増加を図るため、海外展開希望事業者が策定する海外展開戦略の実証支援を行うとともに、本市と諸外国政府等との支援体制を構築する。	①市内事業者へのアンケート回収率：20%以上 ②市内事業者へのヒアリング調査件数：アンケート回答者のうち3業種各10社以上	令和7年度の調査結果報告書作成及び令和８年度以降の実証支援方針案策定	【R8年度成果目標】 ①実証事業へ参加した事業者数：5社 ②実際に輸出、進出に至った事業者数1～2社程度 令和8年度以降は、令和7年度の実証支援方針案を踏まえ、実証に取り組む事業者を支援する。 令和9年度以降は令和8年度実証事業者のセミナーやワークショップ等を通じて広く支援事例を周知し水平展開を図りつつ、継続的なフォローアップを実施していく。	同一業種複数社でアポイントを申し込むことにより諸外国政府機関や現地事業者等との今後の展開を図りやすいため。 また、輸出への契機となる支援を実施することが重要だと考えているため。
3	15	那覇市産業DX促進支援事業	R5 ～ R9	業界団体等を通じた伴走支援の実施するとともに、成果報告会等の開催を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知する。	（１）業界団体等を通じた伴走支援 （２）成果報告会の開催（１回）	支援企業　４団体（８社）以上	【R7年度成果目標】 支援企業　４団体（８社）以上 今後は、業界団体等を通じた伴走支援に注力するとともに、成果報告会等を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知し水平展開を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 令和6～7年度は、令和５年度の倍となる４団体（８社程度）を目標として設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
3	16	中心市街地商業等振興計画（仮称）策定事業	R7 ～ R8	「那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画」を発展的に引き継ぐものとして、中心商店街における、商業・サービス業が置かれた現状を整理するとともに、事業者等並びに行政が取り組むべき方向性を明らかにすることで、観光振興にも寄与する効果的な商業振興施策を推進するための計画を策定する。	計画策定に係るゾーニング検討案の作成	計画策定に係るゾーニング検討案の作成	【成果目標】 今後策定する計画の中で、年次的かつ客観的に把握可能な目標値の案を設定する 【今後のスケジュール】 R7　基礎的調査の実施、計画策定に係るゾーニング検討案の作成 R8　計画の策定	【R7成果目標設定の考え方】 指標の想定としては、商業活動の実態を年次的かつ客観的に把握できる指標（案）を業務委託の中で設定する。
3	17	なはし社会地域課題解決型起業支援事業	R6 ～ R9	本市が抱える社会地域課題の解決を目的とした起業及び新規事業を行うものに対して、費用の一部を助成及び専門家等の派遣等を行い、スタートアップ企業等の創出及び成長の後押しをし、地域課題の解決及び市内産業・経済のさらなる活性化を図る。	本市の地域課題解決を目的としたビジネスプランの事業化を行う事業者への支援 ・事業化に向けた経費の一部助成 ・専門家や先輩スタートアップ事業者による相談支援 ・広報支援	課題解決に向けた取組事業数　５つ	【今後のスケジュール】 本事業で、年間５社、計20社の本市の課題解決を目的とするスタートアップ企業等の創出及び成長を後押しすることで、市内産業・経済のさらなる活性化とともに、本市地域課題の解消も目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	18	那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R10	観光収入の向上を図るため、那覇市都市型MICE振興戦略に基づき、MICE受入体制整備、主催者等への支援に取り組む。	・那覇MICE開催歓迎メニュー提供件数：19件 ・MICE関連商談会への参加及び歓迎メニュー紹介：１回	歓迎メニューに対する満足度60%以上	那覇市内MICE開催件数： 年間380件以上（令和8年度） 【今後のスケジュール】 継続して歓迎メニューを提供し、市内MICE開催満足度向上によるリピート開催や観光資源の認知向上を目指す。	【R7成果目標の考え方】 類似調査結果を勘案して設定した。
5	1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	ウォーキングを通した市民の健康づくりの推進に向けて、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会　１回 ウォーキング講座　5講座	・健康ウォーキング大会 参加者　4,000人以上 満足度　90% （参加者アンケート） ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 80%（受講者アンケート）	【今後のスケジュール】 ○健康ウォーキング大会の開催 ○「健康フェア」との同時開催 開催数：1回/年 ウォーキング大会参加者数： 4,000人以上 （参加者人数の定着化） ○ウォーキング講座の開催 開催数：5講座（20回）/年	【成果目標設定の考え方】 参加者数については、これまでの大会参加者数の平均が3,800人であることから、定着が図られたと考えられる数値として4,000人以上と目標値を設定した。 講座については、日常的な運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	2	小中学校歯科保健予防事業	R4 ～ R13	学校歯科保健活動の活性化及び児童生徒の健康についての知識の醸成を図るために、小中学校において児童生徒の発達段階に応じたむし歯予防を推進するとともに、効果的なむし歯予防対策であるフッ化物洗口を実施する。	①フッ化物洗口の実施 小学校　4校(36校中) 中学校　2校(17校中) ②実施校のフッ化物洗口実施率　90%	①児童生徒のむし歯予防に対する意識が向上したと回答する学校　3校以上 ②令和8年度も継続実施を希望する学校　6校 ③令和8年度に新たに実施を希望する学校　10校以上（実施小中学校を除く47校中）	令和5年度から令和9年度にかけて、市立の全小中学校に導入する。	【成果目標設定の考え方】 年次的に実施校を拡大していく計画としているため、フッ化物洗口の実施校を増やす。
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣を行う。中学校において採点システムを利用する。	学習支援員配置： 小学校　36人 中学校　20人 学習支援ボランティア派遣： 小中学校　54校対象 採点システムの利用： 中学校　17校	①小学校算数（３年） （翌年度4月実施　新4年生対象） 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差　+4.1.ﾎﾟｲﾝﾄ ②中学校数学（１年） 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差　+2.7ﾎﾟｲﾝﾄ	【今後の方針】 ・学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境を提供する。 ・引き続き学校教育に精通した退職教員を中心に人材確保に努める。 ・児童生徒の習熟度に合わせ個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。 ・中学校において採点システムを利用することで、定期テストや小テスト、単元テストで採点・集計や分析を短時間で行うことができ、レスポンスを早めることで生徒の学習意欲の向上と学習の定着状況の把握、個別の学習支援に繋げ、授業の改善に資する。	【成果目標設定の考え方】 沖縄県学力定着状況調査の対象学年が小学校4年生～5年生となった。（4月実施） 小学校3年生を対象とした学力調査を実施していない。 中学校1学年については、沖縄県学力到達度調査の結果を指標に設定する。 正答率は、テストの難易度に影響されるため、県全体の正答率の平均との差を指標とする。
6	2	英語指導員配置・国際交流事業	H24 ～ R13	市内の小中学校に英語指導員を配置して長期的な英語指導を行い、また、中学校においてオンラインによる国際交流を実施し、児童生徒の英語を使ったコミュニケーション能力の育成と、多様性や異文化を包摂する共生社会の理解を深める。	各小中学校に英語指導員を配置。 ・小学校（外国人14人、日本人14人） ・中学校（外国人10人） オンライン国際交流実施 ・中学校17校	①英語に対する興味・関心が高まった児童生徒割合80%以上（アンケート実施） ②沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学2年生　＋3.5ポイント	【今後の方針】 英語指導員の活用に当たっては、話す・聞くといった言語活動を多く取り入れた英語指導を行う。 オンライン国際交流を業務委託により実施する 英語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合う力の育成・向上を図る。	【成果目標設定の考え方】 小学校においては、児童へのアンケート結果をもとに成果目標を設定する。 中学校においては、沖縄県学力到達度調査結果を活用し成果目標を設定する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
6	3	特別支援教育充実事業（小・中学校）	H24～R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、保健師及び特別支援コーディネーターの派遣や特別支援教育補助員の配置を行う。	・特別支援教育補助員配置：小中学校104人 ・保健師を教育委員会事務局に配置し、医療的ケア児等の支援体制の整備・相談業務等の実施 ・特別支援教育相談員派遣：教育相談・検査・面談等の実施 ・特別支援教育指導コーディネーター派遣	特別支援教育補助員の対応への保護者満足度80%以上	【今後の方針】 特別支援教育補助員や保健師の配置及び特別支援教育相談員、特別支援教育指導コーディネーターの派遣を行い、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。	【成果目標の考え方】 特別支援教育補助員の対応への満足度については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	4	特別支援教育充実事業（認定こども園）	H24～R13	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、園児の園生活の困難の改善を図る。	【主任ヘルパーの配置】 地域の障がいを有する乳幼児の特別支援教育の充実を図るため各園へ１人配置する。 主任ヘルパー：１９人 【特別支援教育ヘルパーの配置】 特別な支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する。 （配置目途数） ６Hヘルパー　：５３人 ４Hヘルパー　：２９人	特別支援教育ヘルパー対応への満足度（８０％以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。	【R７成果目標設定の考え方】 特別支援教育ヘルパー対応への満足度の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	5	不登校対策等支援事業	H24～R13	不登校の改善を図るため、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行う。	①相談室の設置 ア 電話相談 170件 イ 来所相談 280件 ②問題行動が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ア 通級支援： 65名 イ 一時支援：10名 ③心理的・情緒的不安が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ア 正式入級者数：6～8名 ④学習支援室の設置 ア 在籍者数：130人	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校 15.0% 中学校 15.0%	不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【成果目標設定の考え方】 「第３次那覇市教育振興基本計画(令和３年３月策定)」 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 【目標値　令和７年度】 小学校18.0%、中学校15.0% 【実績値　令和５年度】 小学校15.1%、中学校21.4% 小学校は令和４年度時点ですでに同計画の目標値に達しているため、より高い目標値を設定した。 中学校は「第３次那覇市教育振興基本計画」の令和７年度目標値とした。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
6	6	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行う。	①相談支援件数 1,370件 ②相談支援回数 35,600回	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校 15.0% 中学校 15.0%	不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【成果目標設定の考え方】 「第３次那覇市教育振興基本計画(令和３年３月策定)」 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 【目標値　令和７年度】 小学校18.0%、中学校15.0% 【実績値　令和５年度】 小学校15.1%、中学校21.4% 小学校は令和４年度時点ですでに同計画の目標値に達しているため、より高い目標値を設定した。 中学校は「第３次那覇市教育振興基本計画」の令和７年度目標値とした。
6	7	青少年旗頭事業	H24 ～ R13	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・児童生徒へ旗頭演舞の指導を実施 ・旗頭の製作及び修繕 ・児童生徒の成果発表の場として「やる気・元気旗頭フェスタinなは」の開催	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数：966人	今後も、児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため「やる気・元気旗頭フェスタinなは」を開催し、参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数966人の参加を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均値で設定した。
6	8	街頭指導事業	H24 ～ R13	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員(6人)及び青少年指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	・専任指導員の配置数：6人 ・青少年指導員の配置数：17中学校区に各5人程度	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合　1.0%	今後も継続的に巡回指導を行い、問題行動の把握と青少年の非行の早期発見及び早期対応を行う。	【成果目標設定の考え方】 コロナ禍も明け、指導件数もコロナ禍前に戻りつつある中で、R5年度の実績値を勘案し設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答（80%以上）を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、沖縄のスポーツ振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する補助を継続する。	【成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒を普段から見守る立場である保護者が、児童生徒の変化の状況を把握しているものと考え、島内ではできない経験をすることができたかどうかを聞き取ることで検証できることから本指標を設定した。 80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
6	10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）	H24 ～ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	学校教育活動の一環として出場する児童生徒の県外派遣支援	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答（90%以上）派遣後に保護者へのアンケート実施	【今後の方針】 引き続き派遣費の補助を行い、保護者へのｱﾝｹｰﾄ調査を実施する。結果を踏まえながら事業の在り方を検討する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【6-9　児童のスポーツ県外派遣補助金との相違点】 6-9は、学校外で活動するスポーツ少年団などを対象とし、本件事業は学校教育の一環で行なわれる部活動を対象としている。
6	11	自然教室実施事業	H24 ～ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数：小学校：36校（5年生対象）	自然教室を通して、児童の社会性（協力的な姿勢）が向上したと評価する学校の割合　90%以上	【今後の方針】 自然教室を継続して実施する。アンケートを実施し、児童の社会性が向上したという回答数が85%以上を維持する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	12	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R8	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。	・校舎等外壁の塗装 ・小学校2校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数：０件 ・外壁の亀裂等件数：０件	【今後のスケジュール】 令和8年度までに計画していた小中学校校舎等外壁面の塗装対応を完了し、令和8年度以降は、事業の効果（劣化の抑制状況）の確認のため、完了した校舎等の点検を実施する。	過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
6	13	発達支援強化事業（乳幼児期）	H27 ～ R9	乳幼児の健やかな発達を保証し、就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者等を早期に把握し支援を行う。	・1歳6か月児、3歳児健診会場での保育観察の実施（年間87回） ・親子教室の実施（24回） ・育児教室等の実施（8回） ・発達相談の実施（96回） ・関係機関との調整会議（1回） ・発達支援研修会の実施（1回）	①アンケートにおける、親子教室後の保護者等の満足度80%以上。 ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数（健診会場保育観察から地区保健師に情報提供した人数：年間170人以上）	【今後のスケジュール】 発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者を健診等で早期に把握し、親子教室などの支援につながった保護者の満足度80%以上を維持しながら、令和9年度まで継続実施する。	【R7年度成果目標設定の考え方】 ①概ね肯定的であるという数値として満足度を80%とした。 ②過去3年間の保育観察人数の平均値を参考に設定した。
6	14	認可外保育施設の環境整備事業	H24 ～ R13	認可外保育施設の衛生環境の向上を図ることを目的とし、保育室や調理室等必要箇所に衛生消毒及び害虫駆除等を実施するため専門業者へ委託を行う。	衛生消毒及び害虫駆除実施施設数 約27施設	認可外保育施設の衛生環境の向上及び入所児童の処遇向上を図り、子育て環境を整備することを目的としているため、認可外保育施設全施設（27施設）において実施することを成果ととらえ、 衛生消毒及び害虫駆除実施施設数そのものを目標として設定27施設 （100%）.	【今後のスケジュール】 今後も継続的に施設の衛生消毒及び害虫駆除を実施し、衛生環境の向上及び維持を目指す。	【R７成果目標設定の考え方】 認可外保育施設全施設（27施設）対象。
6	15	夜間認可外保育施設安全対策事業	R5 ～ R13	夜間認可外保育施設における児童の安全対策及び保育の質の向上を目的に、児童の睡眠中の事故防止対策を実施するため夜間に保育士を加配した施設に対し、その雇用に要する費用の一部を補助する。	当該事業における保育士数：２人	夜間保育時間中の保育士配置施設 ：２園	【今後の取組内容】 夜間保育時間中の保育士配置施設 令和８～９年度：２施設 令和10～13年度：３施設	現状を上回る値として設定した。 夜間保育時間中の保育士配置施設 現状：２園中１園 令和６年度：２園中１園
6	16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R13	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより保育士を確保し、待機児童を解消することを目的として、待機児童の多い１～２歳児クラスについて、国の配置基準を超えて配置とするために必要な常勤保育士1人分の人件費を保育施設へ補助する。	１～２歳児クラスの職員配置について、国基準を超えて配置した保育施設に対する補助数：41施設	事業を実施した施設の１～２歳児クラス保育士が「事業の効果を感じた、負担軽減に効果を感じた」とする割合：100%	１～２歳児クラスの職員を国基準を超えて配置した保育施設に対する補助を継続することにより、保育士の負担軽減効果を高める。	那覇市内私立認可保育施設等へR5年度の事業アンケートを実施したところ、当事業について効果があると感じた施設数の割合は95.8%の割合であった。令和6年度は100%まで改善させ、令和７年度以降も100%の維持を目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
6	17	ICT支援員配置事業	R4 ～ R8	小中学校にＩＣＴ支援員を派遣し、教員がＩＣＴ機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図る。	ICT支援員の配置数：9人	（1）アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする （2）各種業務履行上の改善提案件数を月に1件以上とする	【今後のスケジュール】 今後も継続的にICT支援員の派遣を行い、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図る。	【成果目標設定の考え方】 （1）75%の設定については対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。 （2）各学校における課題解決のため月１件以上の改善提案を受託者に求める。
6	18	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R9	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対処できる社会を形成する。	・債務負担行為設定による事業契約（地域事業説明会・解体工事・基本設計・実施設計・建築工事を含む）のうち、 実施設計、雨水管移設詳細設計、解体工事・監理、モニタリング（R7年度分）の実施	・実施設計、雨水管移設詳細設計、解体工事・監理、モニタリング（R7年度分）の完了	【成果目標】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%（対前年増加率を7.5%増）を目指す。 （R３年度市民意識調査：市民の地域コミュニティ参加率22%） 【今後のスケジュール】 R5年度　：事業者公募 R6年度　：現市民会館の解体 基本設計・実施設計 R7～9年度：工事	【成果目標設定の考え方】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%を目標として設定した。
6	19	こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業	R5 ～ R9	市立小中学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器及び教育用ソフトを整備し、児童生徒の情報端末との連携を強化する等わかりやすい授業を展開することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。	○電子黒板等ICT機器の導入 市立小学校（全36校）の4年生全普通教室（91教室） ○教育用ソフト（国・数・英・理・社）の整備 市立中学校（全18校）	ICT機器及び教育用ソフトを活用した授業の効果について ・学習意欲が高まったとする児童生徒の割合：85%以上 ・児童生徒の学習の理解（知識・技能）が高まったとする教員の割合：85%以上	【今後の方針】 今後、市内小中学校の全普通教室に電子黒板などのICT機器を整備することにより、こども達の学習意欲を高める。	・電子黒板などのICT機器及び教育用ソフトの整備により、学習意欲を向上させ、学習への理解を深めることが期待でき、全国学習状況調査で正答率を向上させることにつながる。
7	1	なは青年祭補助事業	H29 ～ R13	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	「なは青年祭」の開催に係る事業費の補助	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数：19団体 ・演舞者数：242人	今後も、青年達の交流の場の創出とともに、伝統芸能の保存継承に繋がるよう、「なは青年祭」の開催を支援し、演舞団体19団体.演舞者数242人の参加を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績と昨年度の成果目標を参考に設定

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
7	2	壺屋焼物博物館機能強化事業	R6 ～ R8	壺屋焼物の貴重な文化財の保存環境の維持・向上を図るため、社会教育及び文化観光施設である壺屋焼物博物館のユニバーサルデザインを導入した外壁等工事を行う。	・ユニバーサルデザインを導入した外壁工事の実施設計	・ユニバーサルデザインを導入した外壁工事の実施設計	【今後のスケジュール】 R7：ユニバーサルデザイン導入 （外壁等）工事実施計画 **【令和8年度成果目標】** 年間観覧者数を23,000人とする。 R７:ユニバーサルデザイン導入 （外壁等）工事実施計画 R８:ユニバーサルデザイン導入 （外壁等）工事	令和5年度における壺屋焼物博物館の常設展年間観覧者数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標（指標）を設定した。 （参考）令和5年度の壺屋焼物博物館の常設展年間観覧者数　約22,000人
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体の活動を支援することで、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体へ補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる、市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能13団体の保存継承。	【今後のスケジュール】 今後も那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図るため、当該芸能団体へ補助金を交付する	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体１３団体への補助を成果目標として、民俗芸能の保存継承を図る。
7	4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」の開催に係る事業費の補助	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数：730人	今後も、文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援し、参加児童生徒数730人を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 コロナ禍の影響を受けず実施した令和元年度の実績や開催時間内に収まる団体数を鑑み設定した。
7	5	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R13	那覇市の歴史や文化を再認識し、文化資産として普及・継承・発展させていくことを図るため、本市の指定無形民俗文化財等の地域に根付いた民俗芸能を一堂に披露する「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演の開催	地域文化芸能公演への来場者 787名以上	【今後のスケジュール】 沖縄伝統芸能に触れる機会の創出し、普及・継承・発展へ繋げていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	6	尚家文書公開・刊行事業	R5 ～ R13	琉球・沖縄の歴史・文化を知るうえで欠かせない歴史資料である国宝の尚家文書をＡＩ技術を用いて翻刻（活字化）し、一般公開する。	・尚家文書の内、首里城正殿について記された５点中２点の翻刻（活字化）及び内容の一般公開	尚家文書２点の翻刻（活字化）及び内容の一般公開の完了	【今後のスケジュール】 令和５～８年度にかけては８点の翻刻（活字化）・公開を設定（令和５・６年度で３点完了）。その後も随時必要性の高い文書から翻刻（活字化）し、一般公開していく。	【R7成果目標設定の考え方】 令和８年度の首里城正殿再建及び中城御殿の復元までは両所に関連する尚家文書８点の翻刻（活字化）を行い、公開することを目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
7	7	パレット市民劇場施設機能強化事業	R6 ～ R7	パレット市民劇場の機能強化及び省エネ化を図る整備工事を行う。	整備工事の実施	整備工事の完了	【将来的な着地点】 ・CO2削減効果　11t ・催事回数月平均　20回 【今後のスケジュール】 R7年度　整備工事 R8年度　リニューアルオープン	【二酸化炭素排出量削減効果】 平成29年から令和元年度までの電気使用量から算出した各年のCO2排出量を参考値とし、省エネ化した場合のCO2排出量を比較し削減効果を設定した。 （参考）2年間の平均CO2排出量68,190kg/年 ※R6年度実施設計で見直しの予定 【利用者数】 コロナ禍前の平成29年から令和元年度までの３年間の平均催事回数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標（指標）を設定した。 （参考）３年間の平均催事回数18.6回
7	8	デジタルアーカイブ機能強化事業	R6 ～ R13	利用に伴う歴史資料の劣化を防ぎながら地域学習や研究、観光振興等の多分野での活用を促進するため、那覇市歴史博物館が所蔵する歴史資料をデジタルアーカイブ化する。	・尚家文書マイクロフィルム撮影及びデジタルデータ化	・サイトへのセッション数205,000件／年	【今後のスケジュール】 那覇市歴史博物館が所蔵する歴史資料のデジタルデータ化を進め、デジタルアーカイブに資料を追加する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	9	うちなーぐち普及継承事業	R6 ～ R13	うちなーぐちの保存・普及・継承を目的に市民参加型の講座を実施し、うちなーぐちの魅力と価値を再認識することで、普及啓発と市民文化活動の活性化を図る	うちなーぐち講座・成果発表の開催	受講者数（全体）：40名 受講者数（うち30代までの世代）：10名	【今後のスケジュール】 うちなーぐちに触れる機会を創出し、普及・啓発へ繋げていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	10	壺屋焼物博物館湧田窯保存活用事業	R7 ～ R7	壺屋焼物博物館に保存されている湧田窯展示室の保存環境の維持向上を図り、現代の琉球赤瓦の原点である貴重な湧田窯の活用を図る。	・湧田窯展示室屋根工事	・湧田窯展示室屋根工事	【今後のスケジュール】 R7：湧田窯展示室屋根工事 **【令和8年度成果目標】** 年間観覧者数を23,000人とする。 R７:湧田窯展示室屋根工事	令和5年度における壺屋焼物博物館の常設展年間観覧者数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標（指標）を設定した。 （参考）令和5年度の壺屋焼物博物館の常設展年間観覧者数　約22,000人

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
7	11	琉球王国・沖縄関係歴史資料の収集事業	R7 ～ R7	国内外に散在する琉球王国や沖縄に関連する貴重な歴史資料について、散逸を防ぐため早急に収集（購入、寄贈、寄託など）を進める。歴史資料は那覇市が管理する博物館施設等に収蔵し、広く市民県民に公開する。	・県外にある琉球王国の役人が描いた絵図「仏朗西国船三艘運天津着場図」の購入	歴史資料１点の購入	R８年度　当該資料展示期間（約２か月）の入館者数 18,000人	【当初の想定入館者数】 8,300人×2月＝16,600人 【本事業の効果による想定入館者数】 16,600人×1.1＝約18,000人
7	12	那覇市立壺屋焼物博物館　特別展事業	R7 ～ R8	多様な人材の育成及び県内の文化振興を図るため、中国陶磁の名品を展示・公開する特別展を実施する。	展覧会の実施 関連催事の実施	展覧会の実施　入館者数3000名 関連催事の実施　3回　計100名の参加者	【今後のスケジュール】今後も、那覇市立壺屋焼物博物館の特性を活かした特別展を継続的に実施していく。	
8	1	ボランティア振興事業	H27 ～ R13	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員配置：１名	①ボランティア登録者数（新規） 300人 ②ボランティアのマッチング率90%以上	【今後のスケジュール】 今後も市民のボランティア活動推進のため、ボランティア支援員を配置する、	【R7成果目標設定の考え方】 ボランティア担い手養成の成果目標として、ボランティア登録者数を設定し、住民同士による身近な課題解決の仕組みづくりの成果目標として、ニーズに対するマッチング率を設定した。
8	2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決に資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置：1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱える方からの相談に対応するため、総合相談窓口への専任相談員を配置する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が相談したことにより解決に役立ったと考えられる値として80%を設定した。 本事業のあり方については、アンケートにより実施する。
8	3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の低所得世帯の小学校4～6年生及び中学校 1～3年生の児童生徒が放課後に学習できる環境を整え確保することで、学習習慣が身につくとともに、勉強へのモチベーションを高め、ひいては児童生徒の学力向上につなげる。	市内の低所得世帯の小学校４～６年生及び中学校１～３年生の児童生徒に対し、教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。 （1,797分）	支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上85%以上、学習意欲の向上70%以上を目指す。 また、事業者アンケートを実施し、支援を受けた児童生徒の学力向上85%以上を目指す。	支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上85%以上、学習意欲の向上70%以上を目指す。 また、事業者アンケートを実施し、支援を受けた児童生徒の学力向上85%以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 R5年度に実施したアンケート調査結果を参考に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R13	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定：8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続して事業を実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
9	3	沖縄戦体験者証言記録映像制作業務	R4 ～ R7	戦争体験者の高齢化が進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。	・業者選定 ・映像制作	体験者6名の映像制作完了	【R8成果目標】 配付学校における活用割合80%以上 【今後のスケジュール】 R7：映像制作 R8：学校当等へ配付	【R7成果目標設定の考え方】 大半の学校で活用されたと判断できる数値として設定した。
9	4	まーいまーいNaha人材育成外国語講座事業	R6 ～ R13	外国人観光客の満足度向上に向け、「うとぅいむち（おもてなし）」の出来る観光関連産業従事者を育成するとともに、市民が外国人観光客に気軽に対応できる風土の醸成及び異文化理解を図るため、英語・中国語・韓国語によるうとぅいむち講座及び交流会を実施する。	英語・中国語・韓国語の３か国語の中級及び観光関連産業従事者向け講座を計72コマ以上、講座受講生を対象とした交流会を２回以上実施する。	前年度の受講生に対し、受講後の語学活用状況（外国人との交流や仕事での接客）に関する追跡アンケート調査を実施し、語学を活用する機会があったと回答した受講生の割合について、中級講座では30%以上、観光関連産業従事者向け講座では90%以上を目指す。	【今後のスケジュールと目標】 今後も受講後の語学活用状況（外国人との交流や仕事での接客）に関する追跡アンケート調査を実施し、語学を活用する機会があったと回答した受講生の割合について、中級講座では30%以上、観光関連産業従事者向け講座では90%以上を目指す。	【成果目標設定の考え方】 中級講座は過去の実績を勘案して設定した。観光関連産業従事者向け講座では業務で活用する受講生が多いと見込まれることから設定した。
9	5	戦後80年記念事業	R7 ～ R7	戦禍の記憶を風化させることなく、平和を希求する想いを発信することを目的に、恒久平和のモニュメント「なぐやけ」の周囲に、戦没者の慰霊と恒久平和の発信を表記した新たな刻銘を設置する。	恒久平和のモニュメント「なぐやけ」周囲へ、戦没者の慰霊と恒久平和の発信を表記した新たな刻銘の設置	「那覇市戦没者追悼式」への中学生参加人数17名以上	【今後のスケジュール】 那覇市戦没者追悼式での活用	【R7成果目標設定の考え方】 市立中学校（17校）から各1名程度の参加を見込んで設定した

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
10	1	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ～ R13	返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、計画策定のための条件、課題、手続等の整理、資料の策定や各種調査等を行うとともに、地権者等との合意形成を図る。	・地権者の土地登記簿調査 ・地主会との勉強会（5回程度） ・次世代の会との定例会（5回程度） ・情報誌の発行（3回程度：1回あたり約1700部）	・事業実施後に本市が合意形成活動参加者等に対してアンケート調査を実施し、当該参加者の80%以上が「合意形成活動を評価する」と回答することを成果目標とした。 ・「80%以上」については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる値として設定した。	【後年度の成果目標】 跡地利用計画策定後、当該跡地利用計画に対する地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【今後の事業スケジュール】 R8：地権者等合意形成活動業務、跡地利用計画（案）策定業務 R9：地権者等合意形成活動業務、跡地利用計画（案）策定業務	【後年度の成果目標設定の考え方】 大多数が肯定的な評価を得ていると考えられる値として設定
11	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R9	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・定期講習会　28回 ①普通救命講習Ⅰ　１２回 ②普通救命講習Ⅲ　８回 ③上級救命講習会　４回 ④普及員講習会　４回 ・出前救命講習会　120回 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動　１０回 ・消防署見学においての救命講習（入門コース）40回	①応急手当講習受講者数：6,000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが80%以上を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命力の向上を図る。	【成果目標の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定 ②講習会の講師が４名に増員となるため、講習会の定数を増やす。 ③受講者の大半数が緊急時に応急手当が実施出来ると考えられる値として設定した。 また、講習化実施後のアンケートにより検証する。
11	2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないＬＥＤ照明へ切り替える設置者（自治会等）に対して補助金を交付する。	保安灯をLED照明へ切り替えを行う自治会等に対して補助金を交付し、保安灯300灯をLED照明へ切り替える。	二酸化炭素排出量の削減 30,437kg-CO2以上/年　削減	【今後のスケジュール】 自治会等が管理する保安灯をLED照明への切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。	【R7成果目標設定の考え方】 保安灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
11	3	災害備蓄品整備事業	R5 ～ R7	大規模災害時における観光客の安全確保を図るため、災害備蓄品を整備し、防災体制の強化を推進する。	【購入予定備蓄品】 保存水（500ml）…11,328本 アルファ米…1,039食 ヒートレスカレー…3,842食 紙おむつ(幼児用)…907枚 紙おむつ(大人用)…1,840枚 毛布…434枚 タオル…397枚 ウエットティッシュ…434パック	【目標到達率（備蓄率）】 （「最低３日間」比） ・R4（現状） 食糧品：93% 資機材：87% ・R5 食糧品：95% 資機材：92% ・R6 食糧品：97% 資機材：96% ・R7 食料品：100% 資機材：100%	【観光客に係る備蓄率】 （「最低３日分」比） ・R4（現状） 食糧品：93% 資機材：87% ・R5 食糧品：95% 資機材：92% ・R6 食糧品：97% 資機材：96% ・R７ 食糧品：100% 資機材：100%	国の防災基本計画において、「最低３日間、推奨１週間」分の食料、飲料水、携帯トイレ等の備蓄が求められている。
11	5	那覇市老人福祉センター等省エネ化推進事業	R6 ～ R8	那覇市末吉老人福祉センター及び那覇市壺川老人福祉センターの照明器具をLED照明に切り替える。	照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査の実施	照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査の完了	【今後のスケジュール】 那覇市末吉老人福祉センター及び那覇市壺川老人福祉センターの照明器具をLED照明に切り替え、CO2排出量の削減を図る。	【R9成果目標設定の考え方】 LED化による照明器具の種類ごとの電力消費削減量と各施設の照明器具の種類・台数を基に、年間CO2排出削減量の推計値を算定して設定した。
11	6	石嶺公民館・図書館他３館省エネ化推進事業	R6 ～ R8	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。	LED照明設備整備工事業務	LED照明設備整備工事業務完了	【今後のスケジュール】 既存照明施設をLED化するため設備整備工事を行う。 照明施設のLED化により照明施設消費電力を半減させ、地球温暖化防止を図る。	【R9成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。
11	8	那覇市コンビニAEDステーション設置事業	R6 ～ R8	外国人観光客が増加しているなか、市内に多数所在するコンビニエンスストアに設置されたAEDは多言語対応がなされていない。そのため、これらのAEDを多言語化することにより、重篤な傷病者が発生した場合に、誰でも迅速な救命活動を行える環境を構築し、安全安心に過ごせる観光地を形成する。	・コンビニエンスストアへの多言語機能付きAEDの設置。 ・各種広報媒体を通じた設置場所の公表等。	・屋外で発生した心肺停止事案のうち、コンビニAED持ち出し率：５%以上	市内コンビニエンスストアの多言語機能付きAED設置率100%を目標とする。 県民・観光客等にも「那覇市＝コンビニAED」と認知してもらう。 認知度向上により、持ち出し率が増加することを見込む。	新規開店した店舗等に順次設置。 各種広報媒体を活用して設置場所の公表等を行う。 AED持ち出し率：屋外での心肺停止事案×0.05

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和７年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
11	9	小禄南公民館・図書館省エネ化推進事業	R6 ～ R7	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。	LED照明設備整備工事業務	LED照明設備整備工事業務完了	【今後のスケジュール】 既存照明施設をLED化するため設備整備工事を行う。 照明施設のLED化により照明施設消費電力を半減させ、地球温暖化防止を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。
11	10	那覇市識名霊園照明LED化事業	R7 ～ R8	二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止を図るため、那覇市識名霊園の照明器具を消費電力の低いLED照明へ切り替える。	照明器具LED化に伴う設計業務	照明器具LED化に伴う設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R7年度：設計業務 R8年度：照明LED化取替工事 R9年度：取替前の消費電力量(３年間平均)の50%程度	【R9年度成果目標】 取替前の消費電力量(３年間平均)の50%程度
11	11	エコマール那覇リサイクル棟省エネ促進事業	R7 ～ R8	エコマール那覇リサイクル棟における既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量を削減し自然環境保全を図る。	実施設計業務委託の実施	実施設計業務委託の完了	【今後のスケジュール】 R7　実施設計業務委託 R8　LED照明取替工事 R9　成果の検証	事業実施後に年間電力使用削減量を把握することができるため、それに基づき算定される二酸化炭素排出量削減量等を指標に設定した。
13	1	ICT活用生活習慣病予防プログラム	R7 ～ R13	健康長寿復活に向け、若い世代からの生活習慣病予防及び適切な生活習慣の定着を図ることを目的に、肥満者（BMI25以上）を対象に、従来の保健指導ではなく、ICTを活用した生活習慣病予防プログラムにより「肥満の改善」を図る。	事業対象者への事業利用勧奨の実施（100人想定）。	事業利用者の体重減少率（-3%以上）	【今後のスケジュール】 ICT活用したプログラムが安定的な効果が得られるものなのか確認しながら、事業対象の拡大も検討していく。	【成果目標設定の考え方】 健康改善に期待ができる体重減少率を成果目標として設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	H24 ～ R13	沖縄西海岸地域の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	「はごろも祭り」、「産業まつり」、「琉球海炎祭」の開催を支援する。	・はごろも祭り・・・来場者数10万人 ・産業まつり・・・来場者数2.8万人 ・琉球海炎祭・・・来場者数1.9万人	【今後のスケジュール】 今後も観光産業の振興を図るため、「はごろも祭り」、「産業まつり」、「琉球海炎祭」が継続して開催できるように支援を行っていく。	過去の実績をベースに来場者の≒5%増を成果目標とする。
1	②	企画展開催事業	H24 ～ R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展の開催：年２本	企画展１本あたりの平均入館者数：1,390人以上	【目標】 R７年度：企画展1本あたり 平均入館者1,390人以上	入館者のうち観光客数を正確に把握することが直ちには困難であるため、入館者数を成果目標とする。
1	③	文化財説明版・標識設置事業	H24 ～ R10	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財説明板等設置件数：1件	【Ｒ８成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数220人以上 【今後のスケジュール】 地域文化財案内板および文化財説明板を必要な個所に設置する。 そのことにより市内外の方々が市の自然・歴史・文化対する知識と理解が深められる。	【Ｒ8成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R9	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	市立グラウンド機能拡張工事、管理棟・管理倉庫新築工事の実施	市立グラウンド機能拡張工事、管理棟・管理倉庫新築工事の完了	【R11成果目標】 施設利用者数　655,000人 【今後のスケジュール】 R8：再編整備工事（スポーツ広場等） R9：再編整備工事（こども広場） ※整備完了予定年度 R10：整備施設利活用稼働状況把握 R11：成果目標達成状況把握	【R11成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑤	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ～ R13	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う、ぎのわんマリン協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	ぎのわんマリン協会の支援	ダイビング客：600人/年	【今後のスケジュール】 サンゴの植樹、清掃活動等を継続して支援しながら、本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立する。	【R７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した、
1	⑥	宜野湾海浜公園屋外劇場陳列館等展示造作事業	R7 ～ R8	アーティストの活動拠点としての日本有数の海浜に面する１万人規模の野外劇場内に、ファン同士の交流拠点としての展示スペースを整備するため、（仮称）陳列館の展示造作工事等を実施する。	宜野湾海浜公園屋外劇場陳列館の展示造作工事を実施する。	展示造作工事を完了する。	宜野湾海浜公園屋外劇場の機能拡充し、コンサート等の年間開催件数の増を目指す。 【令和9年度成果目標】 宜野湾海浜公園屋外劇場のコンサート等年間開催件数：16件	既存施設のコンサート等の年間平均開催件数の30%増を目標とする。
1	⑦	宜野湾市西海岸のグランドデザインに関する検討調査事業	R7 ～ R7	本市西海岸地域をとりまく様々な環境が大幅に進展したことを踏まえ、本市西海岸地域のグランドデザインとその開発の方向性について整理する。	宜野湾市西海岸地域におけるオーシャンフロント・リゾートのグランドデザインの作成等を行う。	宜野湾市西海岸地域におけるオーシャンフロント・リゾートのグランドデザイン等の作成。	【後年度の成果目標】 オーシャンフロント・リゾートのグランドデザイン等の実現に向けた各事業の課題整理の達成状況 100%（令和11年度） 【今後のスケジュール】 令和11年度までの早い時期に課題整理を終え、グランドデザインの達成のために各施設等の整備事業を展開する。	本市西海岸地域におけるオーシャンフロント・リゾートの実現に向けた課題を令和11年度までに整理。
2	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R13	スクールソーシャルワーカー(ＳＳＷ)を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	○SSW13名の配置 ○SSWによる児童生徒の支援数439名 （支援数はR5年度実績）	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な支援が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R7成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	教育支援センター事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒の支援に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、体験学習活動及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援する。	入級児童生徒の集団活動や学校適応等に関する支援を実施する。 （入級児童生徒数：2名）	入級児童生徒が教育支援センターまたは在籍校へ登校できた日数：出席すべき日数の65%	【今後のスケジュール】 他の教室との交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に慣れ、コミュニケーション能力向上を図るための支援を行い、入級児童生徒が教育支援センター又は在籍校へ登校できた割合（出席すべき日数に対する登校日数）について、65%以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 令和4年度～令和6年度の実績を参考に設定。 【出席日数/出席すべき日数】
2	③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	○臨床心理士等５名の配置 ○臨床心理士等による児童生徒の支援数197名 （支援数はR5年度実績）	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合,前年度実績以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な心のケア等が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R7成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。
2	④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	○街頭指導員18名の配置 ○週3回、21時～23時頃、市内の公園を中心とした夜間街頭指導の実施 ○年1回研修の実施 ○特別街頭指導(中学卒業式)	・年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減	【今後のスケジュール】 深夜はいかいは非行の入口と言われるほど、不良行為との関りが高いと言われている中、本県は気候や産業の形態から夜型社会と言われ、その影響は青少年にも及んでいると考えられる。 そのため、今後も街頭指導員を配置し、青少年の非行の未然防止や早期発見・抑止効果を目的に、夜間街頭指導を実施し、関係機関と連携し青少年の健全育成に取組む。	【R7成果目標設定の考え方】 昨年のの実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	児童生徒の学習状況や定着状況に応じて学習支援をすることにより、児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かくサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において児童生徒の学習状況や定着状況に応じて個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数：＋2.0ポイント以上 ・中学校 数学：-６ポイント以上 県学力調査（4月，12月実施）の正答率30%未満の児童生徒の割合（県平均差）を県学力調査　正答率30%未満の子の割合について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少（4月と12月比較）	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。 支援を継続することにより、 沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を　・算数：+2.0ポイント以上、　・数学：-6ポイント以上、　正答率30%未満の児童生徒の割合について、県平均との差を-1ポイントを維持することを着地点とする。	【R７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。	県外へ派遣される団体もしくは個人への支援を実施。 支援団体数：34件 （スポーツ活動団体：17団体、文化活動団体：6団体、個人：11人）	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果、「補助を受けたことにより、県外の大会への参加が容易になった」：80%以上	【今後のスケジュール】 保護者へのアンケート結果を勘案しながら、補助の対象範囲や補助額等を検討しつつ、事業を継続的に行っていく。	【R7成果目標の考え方】 アンケート結果「県外の大会への参加が容易になった」80%は、大多数の児童生徒へ効果があったと考えられる値として設定した。
2	⑦	スポーツ少年団等派遣費補助事業	H25 ～ R13	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体又は個人等の県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体等への支援を実施 支援人数（見込み）：200人	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」：80%以上	【今後のスケジュール】 R5のアンケート結果は、「視野が広がったと思う」が100%となり、県外へ派遣された大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる。 今後はこの数値を維持するため、継続して支援を実施する。	【R７成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。
2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 （幼稚園：9人、小学校：46人、中学校：15人）	・学校、保護者の満足度：95%以上 ・児童生徒の良い姿容率：82%以上	【今後のスケジュール】 今後も宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を図るための支援を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 昨年度の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	①	文化財保存整備事業	H24 ～ R13	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	野嵩スディバナビラ石畳道の保存整備工事を行う。	野嵩スディバナビラ石畳道保存整備工事 １件	【Ｒ８成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 重要な文化財を景観・安全に配慮した保存整備を行い、文化教育、観光振興につなげる。 Ｒ６年度：実施設計 Ｒ７年度：保存整備工事 Ｒ８年度：公開	【Ｒ８成果目標設定の考え方】 類似の学習会（市教育委員会主催の文化財教室）を参考に設定した。
3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R13	市立博物館が所蔵する写真類を整理し、活用を図る。写真類は公開に向けたデジタル化を進め、同時に市民や利用者が活用し易いように、データベースを作成し、個人情報に配慮して順次公開を行う。また、これまで整理・保存を行ってきた歴史公文書については、公開・活用を中心とした事業を進める。	・写真資料の情報入力。 ・情報を入力した写真データの順次公開。 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開。	・市の歴史や文化への理解が深まった方の割合： 80%	【今後のスケジュール】 公文書と写真資料の整理（調査及び情報入力）を行い、これまでに整理を行った歴史公文書と並行して、順次公開をすすめ、アンケートにおいて本市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%を越えることを目指す。	本事業のあり方については、アンケートにより検証する。
4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	【平和大使育成事業】 県内研修及び県外研修に派遣する人数 ・市内中学生：８名、青年層：１名 ・フォローアップ研修 ： １回 【平和祈念事業】 啓発イベント回数：５回実施	本事業に参加した生徒や市民にアンケートを実施し （1）「平和に対する理解が深まった。」 （2）「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合：80%以上	【Ｒ13成果目標】 平和大使として育成する人数　108人 【今後のスケジュール】 戦争の悲惨さや命の尊さについて理解が深まり、平和の心を波及していく機会となったかアンケートにより検証する。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	②	英語教育推進事業	R4 ～ R13	小中一貫した英語教育を行い、児童生徒に、国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、ALTを小学校へ2名、中学校へ1名ずつ派遣する。	小学校においては1年生から英語教育を継続して実施することで言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指し、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め、学力の向上を図る。 また、中学校においても，小中一貫した英語教育を行うことで、効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	①ALT配置等による「英語が好き」な児童（小学校5・６年生）の割合85%以上（形成テストより） 生徒（中学3年生）の割合60% （全国版生徒質問紙より） ②児童英検の正答率（小学5年生）90点以上 ③児童英検の正答率（小学6年生）85点以上	【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。 支援を継続することにより、 ①「英語が好き」な児童の割合を85%以上、生徒の割合を60%以上 ②児童英検（小５）の正答率：90点以上 ③児童英検（小６）の正答率：85点以上	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	③	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員3名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	学校ICT業務担当員：3名配置 情報講習会：13回	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合：80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合について80%以上を目指し、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。
4	④	中学生短期海外留学派遣事業	H31 ～ R13	本市教育目標「創造性・国際性に富む人材の育成」に向けて、市在住の中学生に海外での短期留学の機会を与え、生活体験を通した異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。	本市在住中学生１０名を、アメリカ合衆国に短期海外留学生として約２週間（14日間）派遣し、ホームステイを基本として、語学研修や各種アクティビティーを体験しながら、英語による実践的コミュニケーション能力の向上と国際的な視野を育成する。	短期海外留学派遣生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を90%以上	【今後のスケジュール】 令和６年度は、国内の語学研修を実施するが、令和７年度以降は海外での留学の機会を与え、生活体験を通した異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。 本事業に対するアンケート調査への満足度を96%以上を維持することを着地点とする。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5		市民防災事業	H27 ～ R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画に基づき、食糧、保存水、生活必需品等の備蓄を行う。	【備蓄食糧及び生活必需品等】 備蓄食糧（主食/レトルト・おかゆ）9,400食 備蓄食糧（副食）5,500食 保存水2,088本、 液体ミルク300缶 経口補水液1,600袋 哺乳ボトル30個 災害備蓄用おむつ（子ども用）908枚 災害備蓄用おむつ（大人用）368枚 災害備蓄用生理用品1,290枚、 毛布、760枚、 簡易トイレ消耗品344セット、 災害備蓄用トイレットペーパー60巻 宜野湾市備蓄計画における数値を10年で80%以上となるよう設定。	【備蓄食糧及び生活必需品等】 備蓄食糧（主食/レトルト）　備蓄率54% 備蓄食糧（主食/おかゆ）　備蓄率16% 備蓄食糧（副食）　備蓄率28% 保存水　備蓄率23% 液体ミルク　備蓄率34% 経口補水液　備蓄率87% 哺乳ボトル　備蓄率26% 災害備蓄用おむつ（子ども用）　備蓄率24% 災害備蓄用おむつ（大人用）　備蓄率25% 災害備蓄用生理用品　備蓄率25% 毛布、備蓄率27% 簡易トイレ消耗品　備蓄率27% 災害備蓄用トイレットペーパー　備蓄率16% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた」：「80%以上」と設定。	【今後のスケジュール】 引き続き、宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画にも続き設定した必要な備蓄食糧・保存水・生活必需品等を備蓄し、災害に強いまちづくりを推進する。また、これまでに整備した資機材を活用した防災訓練を年２回以上は実施することを目標とする。	【R7成果目標設定の考え方】 宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画に基づき設定した。
6	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数：230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者：80人	【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会等の活動を支援し、令和13年度までに市民向けの意向醸成イベントの来場者数及び地権者向けの意見交換会の参加者数について、令和7年度の成果目標の10%以上増を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同事業）	H24 ～ R13	宜野湾市と沖縄県が平成19年５月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	「全体計画の中間とりまとめ（第2回）」の「計画内容の具体化」段階等における行程計画に基づく「目標を定め重点的に取組む項目」に関する検討の深化	「全体計画の中間とりまとめ（第2回）」の「計画内容の具体化」段階等における行程計画に基づく「目標を定め重点的に取組む項目」に関する検討経過や調査結果等の報告	【後年度の成果目標】 跡地利用計画策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」８０%以上	中間取りまとめの段階では、具体的な内容やスケジュールが決まっていないため、跡地利用計画策定ご、跡地利用計画に対する、市民・県民・地権者等からの肯定的な評価が80%以上得られていることを成果目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	③	大山地区事業推進検討調査事業	R7 ～ R9	今後返還予定の普天間飛行場跡地を含めた周辺の広域道路と連携を推進し、西海岸地区としてのポテンシャルに対応した農地と市街地が共存した良好な市街地形成を図るため、大山地区における土地区画整理事業の事業化へ向けた検討調査を行う。	都市計画手続き原案の作成、現況測量、区画整理設計、権利調査、基本計画の作成を行う。	都市計画手続き原案、現況測量、区画整理設計、権利調査、基本計画が調査報告書として作成されている。	【後年度の成果目標】 土地区画整理事業の事業認可後、換地設計等の事業内容に対する市民や地権者等の「肯定的な評価」８０％以上 【今後のスケジュール】 R8：都市計画図書の作成、事業計画案の作成 R9：都市計画決定、事業認可	【成果目標設定の考え方】 事業認可後の段階では、良好な市街地形成を図ることはできないため、検討調査段階の成果として、土地区画整理事業の換地設計等の内容に対する市民や地権者等の肯定的な評価が80%以上得られていることを成果目標とする。
7		地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策を検討し、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・連携協議会の年２回の開催 ・小中学校でのキャリア教育プログラムの実施後のアンケート肯定率80%以上	キャリア教育プログラムの実施後にアンケートをとり、実施する前と比べて、働くことに対する肯定率80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 キャリア教育プログラムの実施について、学校担当者により対応にばらつきがあるため、校長会等での周知活動を含め、全小中学校でのプログラム実施に向けて、取組みを強化し、高校進学後に進路に関する追跡調査を実施し、働くことに対する肯定的回答80%以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 宜野湾市みらいづくり連携協議会において、アンケート内容の結果を分析し、必要な場合は見直しも検討する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受入体制の構築、観光案内サービスの実施、観光誘客イベントへの支援を行う。	（観光誘客） ・クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置 ・イベント（南の島の星まつり、とぅばらーま大会）への補助 （観光客の利便性向上） ・空港にて観光案内サービスを実施	（観光誘客） ・コロナ禍後急増・大型化しているクルーズ船受入体制の再構築(クルーズ船乗船客270,437人） ・イベント（南の島の星まつり・とぅばらーま大会等）の開催 南の島の星まつり観客数 6,750人 とぅばらーま大会観客数　2,250人 （観光客の利便性向上） ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか（80%以上）を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する	【今後のスケジュール】 『第二次石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 観光需要のＶ字回復を目指し、コロナ禍以前の状況に順次戻していけるよう設定した。
1	②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24 ～ R13	各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・スポーツ合宿の誘致活動 プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備、交流戦業務	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数　20団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数　20,000人以上	運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と利用者に安全で快適な場を提供する。	R7目標設定について 過去実績を勘案して算出した。
2	①	クルーズターミナル整備事業	R4 ～ R7	石垣港新港地区旅客船ターミナルにおいて、入国審査等を行うCIQ等施設を整備し、受入体制の強化を行うことで、より一層の離島地域の観光振興を図る。	・クルーズターミナル整備工事（設備）の実施 ・クルーズターミナル外構設計、工事の実施	・クルーズターミナル整備工事（設備）の完了 ・クルーズターミナル外構設計、工事の完了	【R8成果目標】 クルーズ船の年間寄港回数 289回以上/年 【今後のスケジュール】 クルーズ船寄港回数の増加する施策を継続して行う。	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績及び港湾計画改訂資料を参考とした。
3	①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童ゼロの維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・保育士養成校への支援	・待機児童数：0名	【今後のスケジュール】 待機児童ゼロの維持に必要な保育士を確保する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせて実施する。	年間支援対象世帯数：4世帯	支援開始1年後の自立した世帯の割合：75%以上（３世帯以上）	自立への意欲が高いが、改善に係るノウハウを持ち合わせていないため困窮しているひとり親家庭に対して、継続的な支援を行っていく。	Ｒ７成果目標の設定については、支援世帯数４世帯のうち、３世帯の自立を目指すことから、その割合で設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R13	地域特産品産業の振興を図るため域内消費支援や販路開拓支援等を行う	○税関空港活性化運用業務 ・保税蔵置場の運営に係る委託契約 ・石垣島産農林水産物の輸出体制構築 ○販路開拓業務 ・物産展出展、商談会の開催等 ○販路拡大支援事業 ・市内事業者の県内・海外への展示会・見本市・商談会へ参加する経費の一部を助成	・石垣空港保税蔵置場を活用した農林水産物の輸出件数/1件以上 ・物産展の開催および商談会開催 ・商談件数/10件以上 商談成約率/10%以上	【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。	過去の実績を勘案して設定した。
4	①	"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	・優良繁殖雌牛の導入費の補助を行い、島内母牛郡の改良を図り、市場性の高い子牛生産を推進 する。 ・子牛期間に要する濃厚資料の購入費の補助を行い、食用に供される島内産肥育牛の確保及び肥育一貫経営農家の経営安定化並びに生産体制の拡充及び強化を図る。 ・伝染病予防のため、石垣空港及び石垣港離島ターミナルの到着口に靴底消毒マットを設置し、島内への家畜伝染病の侵入を防ぐ。 ・肉用牛生産に係る害虫駆除用の薬剤購入費の補助を行い、飼育環境の向上及び家畜疾病等を予防し、肉用牛の生産性の向上を図る。 ・石垣島産の和牛の海外輸出に係る経費の補助を行い、牛肉の販売先の拡大を行う。 ・ゲノミック育種価評価に係る検査費用の補助を行い、島内繁殖雌牛の育種改良の促進を行う。	①素牛の年間出荷頭数：7,100頭以上 ②素牛の平均販売額：460千円/頭以上 ③肥育牛の年間出荷頭数：800頭以上 ④肥育牛の年間売上高：1,040百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数：0頭を維持	石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	〔R7成果目標設定の考え方〕 令和6年度の畜産状況は、昨今の世界情勢による物価高騰に伴い、全国でセリ価格等が暴落していることから、現実性を重視し、目標設定を変更した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	②	水産振興事業	H24 ～ R13	養殖業の生産量の増加を促進するため、養殖用の種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 　また、鮪漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・養殖用種苗の輸送費支援 ・冷凍餌の輸送費支援	・養殖用種苗の輸送費支援完了 ・鮪漁等の水揚げ量：610トン	【R8成果目標】 　養殖魚類出荷量：5,400尾以上 【今後のスケジュール】 　養殖業の生産量の増加に資する支援を継続して行う。	【R8成果目標設定の考え方】 　種苗購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。 【R9成果目標設定の考え方】 　貝類種苗の購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。
5	①	平和推進事業	H24 ～ R13	平和の大切さを児童生徒を含め市民が理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 ・平和大使として広島・長崎への派遣学習 ・慰霊祭、平和フォーラム等の開催	・コンクールや催事に参加した児童生徒を対象にアンケートを行い、平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業の在り方について検証する ・作文・絵画コンクールへの応募者並びに慰霊祭、平和フォーラム等への参加者数　延べ740人以上	【今後のスケジュール】 　市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 　対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 　参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。
5	②	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、心理専門職による発達相談等を実施する。	心理専門職による発達に係る各種相談の実施	（乳幼児発達領域） ・乳幼児健診（１歳６カ月児・３歳児）等において、発達要フォロー児と判断された児について、１年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合が３５%以上。 （学校教育領域） ・心理専門職等への相談により、育児・発達等に対する不安が軽減されたか（８０%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証。	発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者等が発達相談を受けられるシステムの構築、及び、発達が気になる乳幼児や児童生徒の支援システムの構築を図る。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 ・乳幼児発達領域 過去３年間の実績（Ｒ３＝３４%、Ｒ４＝２４%、Ｒ５＝３６%）を勘案して設定した。 ・学校教育領域 相談、支援を受けた児童生徒の保護者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	③	児童生徒の自律支援事業	H24 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	・子ども自律サポーターの配置：24名	・自分にはよいところがあると思う（自己肯定感）との回答割合：児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合：児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合：児童35%以上、生徒20%以上	【今後のスケジュール】 　きめ細やかな自律を促進する支援により、自己肯定感の向上及び自律的学習習慣の定着を図る取組を継続して行う。	【R7成果目標設定の考え方】 　児童生徒の自己肯定感の高まりや自律的学習習慣の定着が進んでいると考えられる数値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	④	外国語・日本語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。 また、日本語指導が必要な児童生徒が心身ともに安定し充実した学校生活が送れるよう、日本語学習支援員を配置し、日本語の学習支援や別室支援等を行う。	・外国語学習支援員の配置：5名 ・日本語学習支援員の配置：1名	・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合（80%以上） ・対象児童生徒が日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等の困難が改善されたことにより、児童生徒間の対話交流が深まり、学級や学年において国際理解に対する意識が高まった割合（80%以上） 上記2点を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。また、帰国・外国人児童生徒等への日本語学習支援の取組を継続して行う。	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値、日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等の困難が改善されたことで児童生徒間の対話交流が深まり、国際理解が深められたと考えられる数値として設定した。
5	⑤	情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・学校ICT支援員の配置：2名 ・教職員研修会の実施（定期研修会8回/年）	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか（80%以上）を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑥	専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・一般、教職教養、専門教科試験対策講座等の開催	・小学校での教員採用試験合格者数：6人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数：4人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか（80%以上）を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑦	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R13	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	・中学生のカウアイ郡派遣3名の実施	・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内の生徒が、本事業による派遣・交流の報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか（80%以上）を含め、市内の生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための姉妹都市への派遣を継続して行う。	【R7成果目標設定の考え方】 派遣された生徒のうち大多数が視野が広がり、事業報告書を見た生徒のうち大多数が英語や外国語に以前より興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	⑧	石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R8	異文化に触れることで本市の児童生徒の視野を広げるため、本市の姉妹都市である台湾蘇澳鎮の小中学生と相互教育交流を行う。	台湾蘇澳鎮の小中学生と相互教育交流を実施。	異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、派遣した児童生徒並びに保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証。	児童生徒のグローバルな視野を広げるために教育交流を継続して行う。	対象者の内、大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートに基づき検証を行う。
5	⑨	不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターの配置：１１名 ・学校生活支援、復学支援の実施。	・不登校率の減少：0.3%以上	小中学校連携した不登校の児童生徒に支援を行うため、年次的に増員し、検証し市内全ての小中学校へスクールライフサポーターを配置する。	過去の実績を勘案して設定。
5	⑩	子ども若者総合相談支援事業	H26 ～ R13	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置し、相談受付け及び支援を実施する。	・臨床心理士配置：1名 ・ﾕｰｽﾜｰｶｰ配置：5名 ・相談窓口の設置 ・相談・支援業務の実施	・本事業で支援を受けた者の数：50名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合：50%以上	支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、臨床心理士とユースワーカーの配置を継続する。	過去の実績を勘案して設定した。
5	⑪	石垣市省エネ推進事業	R5 ～ R7	低炭素島しょ社会の構築、環境負荷の軽減のため、公共施設におけるＬＥＤ照明への切り替えを行い省エネ化推進の取組を実施する。	・健康福祉センター照明のLED化　18か所	・検診ホール水銀灯照明のLED化　18か所の完了	【R8成果目標】 ・LED照明導入後の館内使用電気量年間削減率　25.8% 【今後のスケジュール】 市内公共施設等の省エネ化を図る施策を継続して行う。	【R8成果目標設定の考え方】 既存設備および導入予定設備の消費電力量の差を勘案し、削減される使用電気量の推計値を設定した。 照明のLED化により期待される削減率については、水銀灯（126.56kg-CO2/年）からLED照明（17.41kg-CO2/年）に切替えた場合のCO2排出量を参考に設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	⑫	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R9	歴史の継承及び観光資源として活用して誘客を図ることを目的として、所蔵資料の修復、デジタル化を行い、活用すると共に研究に資する。	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	資料の修復及びデジタル化22点	【R10成果目標】 令和9年度までに修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数1,000人以上を目指す。 【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち、状態の良くないものやレファレンスなどの優先度が高いものから年次的に修復・デジタル化を推進し、資料の保存管理を図る。	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
5	⑬	スポーツ交流事業	R1 ～ R13	県外市町村とのスポーツ交流を実施し、児童生徒の視野を広げることで、将来国際舞台で活躍する人材の育成・強化を図る。	本市の児童生徒を県外市町村へ派遣しスポーツ交流を実施する（1回）	スポーツ交流を通じて児童生徒の視野が広がったかの質問を含めたアンケートを、参加した児童生徒の保護者へ実施し、本事業のあり方を検証する。 （視野が広がったとの回答80%以上）	【今後のスケジュール】 県外市町村の同世代の同じスポーツをする者同士の交流を継続して行う。	【成果目標設定の考え方】 対象者の内大多数の回答として考えられる値を設置した。また、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。
5	⑭	郷土の伝統文化継承事業	R7 ～ R8	三線などの伝統楽器を通して、子供たちが郷土の歴史や文化に対する理解を深めること共に、伝統文化の普及および継承を図る。	・市内小中学校に三線等を整備する。 ・市内小中学校において、三線教室等を開催する。	市内小学校に三線等を整備する。		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1		ひとり親家庭等放課後児童クラブ費支援事業	R4 ～ R12	放課後児童クラブがひとり親世帯等の利用者に対して利用料を減免した場合に要した費用の一部を補助する。沖縄県の利用料減免事業の市負担分(1/4)を市の一括交付金にて賄う。	利用料からおやつ代等の実費負担分を引いた金額(保育料)月上限5,000円とする。	ひとり親家庭等への学童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減化と就労支援を図る。	ひとり親家庭等へのアンケートをとることにより経済的負担軽減や就労の支援につながっているかを確認しつつご意見を聞き今後の事業のあり方について参考にする。
2		てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	R4 ～ R13	観光地としての魅力向上及び地域の文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組みを行う。	①補助工事の完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観支援を修景するための支援 ②地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援	①助成金申請7件(年間) （内　補助工事件数） 赤瓦葺き工事：7件 石積み・石張り工事：5件 生垣等の工事：7件 ②地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)	【今後のスケジュール】 ・地域における景観の向上に関する計画等の策定 ・地域における景観の向上を図るための景観修景のための支援 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援	
3		浦添観光振興事業	H29 ～ R13	本市へ観光客を誘客するため、観光情報発信を継続的に行うことに加え、プロ野球春季キャンプ時のPR及び無料シャトルバスの運行、市内周遊企画を実施する。また、PRイベントを実施し、域外からの誘客を行い、市内経済活性を図る。	・浦添ポータルサイト記事作成PR120件 ・プロ野球春季キャンプファン誘客イベント２回 ・浦添PRイベント１回 ・無料シャトルバスの運行	①浦添ポータルサイトPV数：473,000件 ②プロ野球春季キャンプ来場者数： 31,500人	【今後のスケジュール】 観光PR活動に加え、プロ野球春季キャンプ時のPRを継続的に図っていく。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R13	市内在住又は市立小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会等において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会等に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	保護者に対するアンケートを実施し、「県外大会に参加することで新たな課題や気づきを得られた（視野が広がった）と思う」という保護者の割合が80%以上を成果目標とし、本事業の効果を検証する。	今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて児童生徒の技術向上やより広い視野を持った人材育成を図るとともに、経済的負担の軽減を図る。	児童生徒が新たな課題や気づきを得られたか（視野が広がったか）検証するにあたっては、当該児童生徒を普段から見守る立場である保護者が児童生徒の変化の状況を把握しているものと考え、保護者に対して児童生徒の気づきや課題を聞き取ることで本事業の効果を検証できることから指標として設定した。 数値は、児童生徒の大多数が新たな課題や気づきを得られたといえる数値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5		自然体験学習事業	H24 ～ R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	市立全小学校5年生を対象に、平素と異なる生活環境での集団宿泊活動や沖縄の豊かな自然の中で行う様々な体験活動（登山・野外炊さん・キャンプファイヤー等）を実施する。	自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力（協調性・協働的な態度）が向上したと評価する学校の割合90%以上。	自然体験学習事業を継続して実施する。 アンケートを実施し、児童のよりよい人間関係を築く力（協調性・協働的な態度）が向上したと回答する学校の割合が「９０%以上を維持する。	90%以上の児童の（協調性・協働的）向上。
6		学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	学校教育支援員 ・小学校14名（各校1名～2名） ・中学校8名（各校1名～2名） 日本語教育支援員３名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校：算数　+0.2ポイント以上 ・中学校：数学　+0.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 R7年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査において正答率が小中学校ともに県平均を上回ること、正答率30%未満の児童生徒の浦添市と県の差を減少させ、学力の底上げを図り、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7		課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し、不登校未然防止及び学校復帰を図る。また、個々に応じた体験活動や学習活動、小集団活動等を通じて児童生徒の将来的な社会的自立を目指す。	・臨床心理相談員3名及び教育相談員6名は、課題を抱える児童生徒及びその保護者対応のため、教育相談室「くくむい」を運営する。 ・適応指導員1名は、こども支援教室「いまぁじ」を運営する。 ・自立支援員3名は、あそび・非行傾向、ひきこもり傾向の児童生徒対応のため、自立支援室「ひなた」を運営する。 ・教育相談支援員27名を学校へ配置し、学校現場にて登校支援や別室対応等を行う。	不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校：15.7%以下 中学校：15.3%以下	不登校児童生徒のうち、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校目標値：10%以下 中学校目標値：10%以下	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
8		青少年巡回指導員事業	H26 ～ R13	青少年巡回指導員5名を配置し、青色回転車両にて青少年の問題行動が発生しやすい公園やたまり場等の巡回及び子ども達の安全な登下校を見守る。また学校からの依頼により不登校傾向の児童生徒に対し登校支援等を行う。	・青少年巡回指導員5名 ・毎月第2木曜日は「朝のあいさつ運動」を実施。 ・基本、第3金曜日は「夜間街頭巡回」を実施。	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標：27.9%以下 中学校目標：28.1%以下	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減（全国平均値）を目指す。 小学校目標：26.8%以下 中学校目標：25.8%以下	【令和7年度成果目標設定の考え方】 ・令和元年度より、本項目での調査が開始。 ・過去の実績を勘案して設定していたが、令和5年度より統計方法が変更された。
9		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R10	学校教育の質の向上を図るため、市立の小中学校にICT機器を整備する。	・市立小中学校へICT機器を整備 電子黒板＋PC：普通教室、特別教室 タブレット端末	①児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合（90%以上） ②児童生徒へアンケート調査を実施し、授業での思考力・判断力・表現力の向上を図る活用の項目割合（80%以上） ③児童生徒へアンケート調査を実施し、思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合（70%以上）	【今後のスケジュール】 ICT機器の効果的な活用により、学校教育の質の向上が図られると考える。児童生徒を対象にしたアンケート調査を行い、本事業の効果を検証する。	【R7成果目標設定の考え方】 年度末に市立小中学校の全児童生徒を対象にアンケートを実施して検証する。 ①本事業の効果として最も大きな指標と考え、達成率90%以上の継続を目指す。 ②③本事業を通して児童生徒につけたい資質能力の検証として、思考力・判断力・表現力の向上を目指した活用方法について調査する。
10		浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入：2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・地域交流 ・企業研修 ・報告書作成 南米各国の現地市人会等との意見交換や交流、元研修生たちによる活動報告会等を実施。	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合：90%以上 研修後、現地市人会等において沖縄文化の継承や振興のため、活躍が確認できた元研修生の割合：80%以上		研修の効果を計るため、研修参加者のウチナーンチュとしての意識の変化の割合を指標に設定した。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として設定した。 沖縄振興特別推進交付金を活用した年度以降の元研修生達について、現在の活動状況を指標として設定した。 目標数値については、元研修生達の現在の生活状況も踏まえ、沖縄文化の振興・発展が概ね達成されていると考えられる数値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
11		浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R13	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	・事前研修（ビデオ学習、戦跡巡り等） ・本研修（2泊3日） ・事後研修（研修報告、壁新聞作成） ・日向中学生との交流会（受入） ・浦添市戦没者追悼式 ・事業報告会（浦添市まなびフェスタ） ・パネル展示 ・ピースメッセンジャー認定：10名	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	浦添市の平和行政を推進し、市民の平和意識の高揚を図り、平和社会の構築につながる取り組みを引き続き実施する。	保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。
12		てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R13	地域住民の健康意識の向上及び青少年の健全育成を図り、本市の歴史・文化・地域特性を活かしたウォーキングイベント「てだこウォーク」を活用し、本市をPRすることで地域活性・経済効果を盛り上げ、本市の観光客入域増に繋げる。	沖縄県内最大級のウォーキングイベント「てだこウォーク」にて本市をPRし観光誘客、地域活性を盛り上げる。 ・開催予定日：2月 ・本市の地域特性を活かしたルートを ウォーキングする。	市外からの参加者：3,050人 市内からの参加者：2,800人	引続き、てだこウォークを開催を活用して、経済効果・地域活性化を盛り上げ、本市の観光客入域増に繋げる。	
13		災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R7	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等をしない公共施設３か所に配備する。	備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の配備 ・浦添市内の公共施設3か所	【今後のスケジュール】 今後新たに避難所が追加された場合、該当箇所へ防災倉庫を設置し、避難所生活における必要最低限の備品や消耗品を整備する。 【R7成果目標】 整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練（1回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【R7成果目標設定の考え方】 整備した食糧及び備品等を活用した避難訓練の実施、検証を行うことで住民の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
14		認可外保育施設こどものみらい緊急応援プロジェクト	R5 ～ R9	認可外保育施設におけるこどもの安全を確保するため、給食業務の委託及び賃借料の補助を行い、保育の質の改善を図る。	①給食業務の委託 5施設で実施する ②賃借料補助 8施設で実施する。	１月当たりの「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」について、60時間以上の増加	【今後のスケジュール】 子どもの安全を確保しつつ、各施設ごとでバラバラだった食材料費にかける費用を引上げ、衛生的な環境下で栄養管理された給食の提供により子どもの健やかな成長を支える。 また、本事業実施期間で、運営費圧迫の大きな原因である保護者の利用料や給食費について、段階的に引上げについての理解を求め、運営の安定化を目指す。また、業務のICT化など業務改善の取組も行う。	【R7成果目標設定の考え方】 本事業において、保育従事者の業務負担の軽減や賃借料への支援を行うことによって、実際に増えた「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」の分だけ、子どもの安全性が向上されるとの考えで設定した。アンケート等で検証する。
15		ありんくりんクリーン事業	HH24 ～ R13	グスク時代の古城である「浦添城跡」や歴史の道「中頭方西海道及び普天満参詣道」、信仰の場である御嶽や井泉、歴史的人物の墓等を適切に保存し、貴重な文化遺産を後世に継承するとともに、観光資源として活用するため、これらの文化財の環境整備を行う。	・文化財の清掃：1箇所 ・文化財の除草等環境整備：11箇所	文化財が適切に保護されているか、観光地としての安全・快適な景観形成を図れたか（85%以上）など、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	清掃や除草等の環境整備を行い、文化財を適切に保護しながら、観光地としての魅力向上を図る。	見学者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
16		悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R11	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展の充実化や関連講座の実施、開館35周年の特別企画展等を実施する。	・常設展年3回の展示替え ・開館35周年展開催 ・作品撮影	・常設展観覧者数目標：年7,000人台 ・企画展開催　年1回以上 35周年展観覧者目標：2,000～3,000人台	作品の購入・修復の実施で常設展示の充実を図り、魅力ある企画展の実施により、年間常設展観覧者数の目標達成に向け取り組む。	令和7年度成果目標の設定：過去の実績を参考に設定した。
17		浦添市観光振興計画改定事業	H28 ～ R7	観光分野の経済効果を拡大し、市全体の経済活性化につなげるため、令和６年度の調査・分析結果を反映させた具体的な観光施策の展開し、地域資源を活用した観光産業の構築を図る。	浦添市観光振興計画の改定	浦添市観光振興計画の改定完了	【R8成果目標】 改定する観光振興計画の中で、入域観光客数、観光消費額等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6　基礎調査実施 R7　観光振興計画改定	【R8成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
18		うらそえ特産品等振興事業	R6 ～ R13	市内事業者の商品開発機運造成及び売上向上を図るため、新商品開発や既存商品のブラッシュアップ・イメージアップ及び販路拡大を支援する。	7セミナー参加：30事業者 ハンズオン支援：５事業者	セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合：80%以上 新商品開発件数：５件以上	【今後のスケジュール】 商品開発機運造成及び売上向上を図る取り組みを継続して実施し、「ものづくり」の活性化、市内事業者の育成に繋げる。	支援対象事業者のうち、概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
19		産業振興計画策定事業	R6 ～ R7	本市における産業振興の目指すべき姿とその実現方法を示す産業振興計画の策定を行う。	R6基礎調査の内容を基に産業振興計画の策定を行う。	産業振興計画の策定	【R8成果目標】 策定する産業振興計画の中で、産業振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6　基礎調査の実施 R7　産業振興計画の策定	【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた産業振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。
20		結の街施設機能強化事業	R6 ～ R8	スタートアップ企業に対する支援の拡充及び、起業の機運醸成のため、浦添市産業振興センター・結の街の機能を強化する。併せて、老朽化が進む本施設の長寿命化を図る。	実施設計業務の実施	実施設計業務の完了	【R9】 年間支援対象者数：30者 【今後のスケジュール】 R9供用開始	現在の入居企業数を基に設定。
21		牧港補給地区地権者合意形成促進事業	R6 ～ R13	牧港補給地区返還後の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の支援また市民向けのイベント等を開催することにより、地主・市民と行政の連携を強化する。	跡地利用計画に関する勉強会支援、先進地視察、イベントの開催	跡地利用計画への理解度についてアンケート調査を行い、その結果より本事業の在り方を検証する。（肯定的な評価80%以上）	跡地利用計画に示された各分野の方向性について調査研究を行い、地主の考えるまちづくりガイドライン(案)を作成する。	跡地利用計画の周知と理解度を深めることを成果目標とする。
22		道路環境美化事業	R7 ～ R13	観光地としての魅力を向上させるため、観光地周辺の道路及び観光地へのアクセス道路について、道路環境美化を推進し、観光地としてふさわしい景観を創出する。	浦添市道路環境美化整備計画の策定	浦添市道路環境美化整備計画の策定完了	【R8成果目標】 観光地周辺の道路及び観光地へのアクセス道路としてふさわしい道路景観であると感じるか（80%以上）を含め、観光客や市民へのアンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が「観光地としてふさわしい道路景観である」と考えている値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
23		太陽っ子短期留学派遣事業	R7 ～ R13	国際性豊かな人材を育成するため、本市中学生を英語圏への短期留学に派遣する。	短期留学派遣事業の実施	短期留学を通して、参加生徒の国際理解が深まったと評価する生徒の割合が８０％以上となることを成果目標とする。	太陽っ子短期留学派遣を継続して実施する。参加生徒へアンケートを実施し。国際理解が深まったと回答する生徒の割合が80%以上を維持する。	80%以上の生徒の国際理解が深まる。
24		第2次浦添市墓地基本計画策定事業	R7 ～ R7	都市計画、景観計画等に支障をきたす、個人墓の増加防止を目的に、市民意向調査や基地需要調査を実施、浦添市墓地基本計画に定める個人墓地禁止区域拡大防止を推進する。	墓地需要調査（アンケート）実施　　調査分析 各委員会による個人墓地禁止区域拡大の審議	個人墓地禁止区域拡大防止推進	墓地需要調査に基づき、個人墓禁止区域拡大防止を推進することで、個人墓の増加を防ぎ、公営の施設型共同墓の利用促進を図る。	当事業を推進することで、無計画な個人墓の増加を抑制し、施設型共同墓へ誘導することで、都市計画・景観計画の支障となっている個人墓の問題解決を図る
25		災害時応急給水体制強化事業	R7 ～ R7	島嶼県の沖縄県は、南海トラフ地震などの災害時においては全国からの応急給水の支援体制が困難な状況にある。そのため災害時において断水が発生することを想定し、応急給水体制を強化することを目的に、危機管理計画において位置づけられている重要拠点施設や断水地域の避難所への応急給水に必要となる車輌一体型給水タンク車を購入する。	車輌一体型給水タンク車の購入	車両一体型給水タンク車の納品	【R7成果目標】 重要給水拠点施設への応急給水訓練や他事業体との合同訓練の実施。 市民に対しての周知。 【今後のスケジュール】 R7：給水タンク車の購入	【R7成果目標設定の考え方】 災害時の応急給水体制強化が目に見えて実感できるよう、災害を想定した訓練や市民への周知を目標とした。
26		中国・泉州市文化交流展事業	R7 ～ R7	浦添市の友好都市である中国・泉州市の文化芸術歴史を紹介する展覧会を開催、芸能実演などを実施することで文化交流を図るとともに、観光資源としても活用し浦添をアピールする。	展覧会、催事の実施	展覧会、催事の実施 ・交流展来館者数　　2,000人 ・関連イベント来場者数　1,000人		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
27		浦添市てだこホール機能強化事業	R7 ～ R10	開館から18年が経過し経年劣化が露見していることから、文化活動拠点としての機能向上を図るため、施設の空調・照明・音響などの設備等を改修する。また、大ホール・小ホールの特定天井の耐震改修を行い、一体的な施設改修をすることで安全かつ良好な環境を整備する。	基本設計業務の実施	基本設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R8　実施設計 R9　整備工事（小ホール、他） R10　整備工事（大ホール、他） （リニューアルオープン） R10　小ホール、他 R11　大ホール、他 【将来的な目標】 R11利用者数　265,000人/年間	利用者数は、コロナ禍前３年間の平均利用者数を参考値として、後年度の効果が発言する成果目標（指標）を設定した。 (参考)３年間の平均利用者数 ・施設全体：　261,745人/年間
28		浦添市スポーツコンベンション推進事業	R7 ～ R8	スポーツコンベンションの推進を図るため、スポーツ推進計画策に向けた基礎調査及び市民アンケートを実施した上で、審議会を開催する。	基礎調査及び市民アンケートの実施 審議会の開催	基礎調査及び市民アンケートの完了 審議会の開催：１回	【R7・R８成果目標】 R７　基礎調査及び市民アンケートの実施、審議会の開催 R８　審議会の開催 スポーツ推進計画策定 【R9成果目標】 スポーツコンベンション開催件数 合宿・キャンプ：９件	【R7・R８成果目標設定の考え方】 計画策定中のため、定性的な指標を設置した。 【R９成果目標設定の考え方】 計画策定後につき、定量的な指標を設定した。令和５年度実績を勘案した。
29		地域資源復元推進事業	H24 ～ R8	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図るとともに、沖縄の先人たちの英知が刻まれた文化財の保護・継承と整備・活用に努め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組むことにより、市民、県民、観光客の方々に、歴史と文化を日常的に感じることができるまちづくりを推進する。	実施設計の実施	実施設計の完了	【R9成果目標】 ・沢岻イリヌカーを活用したイベントの参加人数 180人以上/年 ・学習会等開催40人/年 ・展示会開催　1回/年 ・リーフレット作成　5000部 【今後のスケジュール】 和7年度　実施設計業務委託 令和8年度　復元整備工事 令和9年度　供用開始	【R9成果目標設定の考え方】 類似のイベント等を参考に設定した。
30		親子通園型発達教室事業	R7 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	1クール4～5組を3ヶ月（12回）として、年12クール48～60組程度の支援を行う	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。		アンケートにより子の特性を知り、保護者の子への関わり方を一緒に考える。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
31		浦添市保健相談センター施設強化事業	R7 ～ R7	保健相談センター施設の塩害・風水害等を防止し、長寿命化を図るため、施設外壁の塗装等による強化を行い、健康増進・保健事業に資する環境整備のため。	当該施設の強化事業として、外壁塗装等工事の実施	施設強化工事の完了	・集団健診10回以上/年 ・結果説明会10回以上/年 （集団健診） ・乳幼児・小児に係る健診50回以上/年 ・講演会・研修会5回以上/年 ・協議会等5回/年 など	過去の実績を勘案し、設定した。
32		地域経済牽引企業創出事業	R7 ～ R13	地域経済を牽引する企業の創出を目的として、成長を目指す市内事業者に対し、付加価値向上に係る集中的な支援を行うことにより、地域における雇用・取引の創出、域外資本の獲得、積極的な設備投資等を促し、地域経済の活性化を図る。	支援事業者数： 5事業者	支援事業者の付加価値額（営業利益、人件費、減価償却費の合計額）の向上 支援開始直前期と比較した付加価値額の成長率：4%増（支援開始から5年以内で成長率20%増を成長目標とすることを想定）	【今後のスケジュール】 市内事業者の事業拡大等の機運造成及び付加価値向上を図る取り組みを継続して実施し、地域経済の活性化、市内事業者の育成に繋げる。	他自治体の事例、沖縄経済の成長率等を踏まえ、概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援員19人の配置 ※学習支援の一環として、ＩＣＴを活用した授業準備等を支援に含む	沖縄県学力到達度調査における平均正答率（県と市との差） ①小学校 -3.0以内 ②中学校 -2.0以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査において、平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。 (県平均正答率との差：０ポイント以上)	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置：9人	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合　8%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個々の状況に応じた支援を効果的に行う。 また、名護市において不登校児童生徒の登校復帰人数の割合12.5%以上を目指す。	【Ｒ６成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員11人を市立小・中学校にシフト配置	①学力調査（英語）の正答率 ・小学校6年生：正答率80% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学２年生英語：－１ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査（英語）において、平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。 (県平均正答率との差：０ポイント以上)	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数：12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合：100%	【今後のスケジュール】 今後も中学生海外短期留学派遣を継続し、保護者へのアンケートで、「帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合：100%」を毎年度の目標とし、国際的な視野を持つ人材を継続的に育成する。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員３人を配置する。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合52% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合93%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。 また、適応指導教室に通級している児童生徒において、学校復帰できた児童生徒の割合85%以上を目指す。	【R６成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校の生徒が各種大会参加による県外児童生徒等との競争・交流を通し児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	県外及び離島で開催される各種大会へ派遣される児童生徒に対し、渡航運賃の補助を行う。 補助割合：1/2	補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会を得られたと感じるか」の項目で80%以上。	【R7成果目標】 保護者対象アンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。 【今後のスケジュール】 多くの児童生徒が成長につながる機会を得られるよう、令和13年度まで継続して支援を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 本事業の目的として「県外児童生徒等との競争や交流を通して児童生徒の成長につなげる」とあるので、その検証としてアンケートに「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」を含めた項目を設定した。
1	⑦	特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内各小・中学校へ特別支援教育支援者を配置：35人	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、満足していると回答した割合90%	【今後のスケジュール】 小中学校における、特別な配慮を要する児童・生徒の支援を行い、円滑に学校生活を送れるように取り組む。 また、名護市における特別支援教育支援者配置事業に対する満足度のアンケートについて、大多数が満足していると考えられる割合100%を目指す。	【R６成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	①	スポーツキャンプ支援事業	H24 ～ R9	スポーツキャンプ受入体制を整えることで、来場者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、スポーツチーム本拠地での名護市PRイベント等を開催する。	①スポーツキャンプ来場者の誘導・安全確保 ②名護市PRイベントの開催 ③プロモーションの実施	市内スポーツキャンプ来場者数 30,325人以上	キャンプ時における、球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み、来場者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通した観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。 観光入込客数（宿泊施設入込客数、観光施設入込客数、イベント来場者数） ○○○人以上 （※令和６年度調査後に、数値を記入）	【R7成果目標設定の考え方】 令和５年度の実績を鑑み設定した。
2	②	名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R7	本市の関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。関係機関等と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。	・プロモーション支援の実施 ・プロモーションイベントの開催 ・情報発信の拡大	観光入込客数（宿泊施設入込客数、観光施設入込客数）○○人以上（※令和６年度調査後に、数値を記入）	【今後のスケジュール】 プロモーションイベントの開催や情報発信を行い、本市観光資源の認知度向上を図り、観光誘客に繋げる。 ・観光入込客数（宿泊施設入込客数、観光施設入込客数） ○○○人以上（※令和５年度調査後に、数値を記入）	【R7成果目標設定の考え方】 令和6年の実績を勘案して設定。
2	③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R7	市内事業者の売上増加を図るため、商品開発並びに市内外への販路拡大及び出展支援を行う。セミナー等の専門家による総合的な支援を行う。	・専門家によるセミナーの開催 ・物産展への出展支援 ・旅中新商品開発支援	①県内外への出展支援及びプロモーション活動：２回以上 ②商談成約件数：15件以上	【今後のスケジュール】 県内外の出展支援やプロモーション活動を行い、市内事業者の売上増加、市商品の認知度向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	④	観光客誘致プロモーション事業	R5 ～ R7	本市観光産業の回復・発展を図るため、観光関連事業者向けセミナーの開催、観光協会サイトの情報基盤の整備など観光協会、市内事業者が連携した、観光客誘致プロモーションを実施する。	・観光事業者の営業活動等におけるスキルアップに関するセミナーの開催 ・観光メニュー開発・広報活動 ・観光協会サイトの観光事業者のデータ活用促進および住民の観光振興への理解促進に向けたデータ・情報基盤の整備 ・観光産業の人材誘致に向けた、就職説明会の開催 ・市内スポーツツーリズム促進に向けたプロスポーツキャンプ招聘活動	・市内入域客数（宿泊施設+観光施設）→R６年実績値以上	本事業にて、観光産業の回復・発展を図るため、観光事業者向けセミナーの開催、観光メニュー開発・広報活動の実施、観光協会サイトの情報基盤整備、就職説明会の開催、プロスポーツキャンプ招聘活動を実施することで、今後も引き続き、観光協会と観光事業者が連携し施策に取り組めるように体制を構築し観光客誘致プロモーションを実施することで市内入域客数の増加を図る。 ・市内入域客数（宿泊施設+観光施設）→R６年実績値以上	【R７成果目標設定の考え方】 R６年度の実績値を参考に設定した。
3		環境再生・活用整備時用	H29 ～ R10	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場として活用する河川に整備する。	・用地取得 ・物件補償 ・橋梁整備実施設計（仮設架台） ・河川整備工事（磁気探査含む）	・用地取得交渉及び合意形成 ・物件補償交渉及び合意形成 ・橋梁整備実施設計業務（仮設架台）の完了 ・河川整備工事（磁気探査含む）の完了	【R１１成果目標】 ①環境学習参加数116人 ②地域の自然を活かした憩いの場として活用できたか（80%以上）を含め、市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4～R１０： 用地取得・物件補償・ 橋梁整備工事・河川整備工事 R１１： 供用開始	【R１１成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
4	①	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R8	農家の経営安定化に向けて、子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入導入支援：18頭以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合108%以上	本事業で導入した子牛のセリ販売価格とそれ以外の販売価格を比較することで、品質及び価格の向上の成果として評価する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した　過

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	①	救命処置強化支援事業	H27 ～ R9	急病や事故、災害等により観光客や市民が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習を実施する。また、市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。	１．救急救命士等の同等の資格を有する会計年度任用職員の採用 ２．各種救命講習の開催（救急法　普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　上級救命講習　普及員講習） ３．まちかど救急ステーションの認定（更新） ４．市内全てのコンビニエンスストアへのAED設置	１．救急救命士等の同等の資格を有する会計年度任用職員の採用･･･３名 ２．各種救命講習において、アンケートを実施し、応急手当が「不安だができる。・できる。」と回答した割合が80%以上 ３．まちかど救急ステーションの認定･･･２件（更新３件） ４．市内コンビニエンスストアへのAED設置･･･前年度までに開店した店舗へ設置及びAEDの取り扱い説明と心肺蘇生法の簡易講習の実施	【令和６年度成果目標】 １．救命処置普及強化支援員を３名採用 ２．各種講習会受講者へのアンケート実施して、「不安だができる・できる」と回答した割合が80%以上 ３．まちかど救急ステーションの認定を２件（３件更新） ４．前年度までに開店したコンビニエンスストアへAEDを設置 【今後のスケジュール】 救命講習を継続し、市民が応急手当を学ぶ環境と応急手当が実施できる市民の育成	１．普通救命講習受講者の最大受講人員30名と指導員が最大指導できる人員10名を考慮して会計年度任用職員を採用 ２．各種救命講習の受講者の大多数が理解できたと考えられる数値を設定 ３．まちかど救急ステーションの認定（更新）は過去の認定件数、更新が必要な事業所を勘案し設定 ４．前年度までに開店したコンビニエンスストアへAEDを設置（ガイドラインを参照）
5	②	ハブ等対策事業	H27 ～ R13	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	ハブ捕獲器の平均稼働数 800器以上	捕獲器設置箇所における咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 捕獲器の年間平均稼働数を高め、咬傷被害件数を減らす。 捕獲器設置依頼数や捕獲実績に応じて人員及び捕獲器の増設を検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催（４回）	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者（指導者）に対して、指導力が向上したと感じたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ③令和８年度の運動部活動加入者数1,368名	①参加者へのアンケート調査（80%以上の良い評価） ②市内中学校部活動加入者数（1,368名） 引き続き参加者やスポーツ関係者のニーズに対応した市民参加型のスポーツ教室等を開催する。	本事業の在り方について、アンケート調査にて検証する。また、児童生徒がトップアスリートによる指導を受けて、スポーツに興味を持ち、参画することで、部活動加入者数が増加することが期待されるため、③の成果目標を設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
7		名護さくらのまち推進事業	R5 ～ R7	本市のシンボルであるカンヒザクラの環境整備として、後継樹の植栽及び既存桜の剪定・防腐処理等を行い、地域ブランドの強化及び観光客の誘客を図る	・後継樹の植栽 ・既存の桜の剪定及び防腐処理等	①さくら祭り来場者数 148,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も本市のシンボルであるカンヒザクラによる地域ブランドの強化を図り、観光客の誘客に繋げる。 さくら祭りの来場者数〇〇人以上。 （新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない過去３ヵ年のさくら祭りの来場者数の平均値が〇〇人であり、本事業で環境整備を行うことで５％増で設定根拠とする。） 令和６年：〇〇人 令和５年：154,728人 令和２年：131,076人 ※令和６年度祭り実施後に、数値を記入	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8		名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R7	名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和３年７月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることやアフターコロナを見据え、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の伸長による観光振興を図る。	土木工事、実施設計、備品購入	土木工事、実施設計、備品購入の完了	【R8成果目標】 年間利用客数244,000名 【今後のスケジュール】 R7：土木工事・実施設計、備品購入	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
9		21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業	R4 ～ R7	これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となる為に誘客施設を整備する。	工事の実施	工事の完了	【R8成果目標】 ・公園来訪者数：415,000人 ・公園来訪者の満足度の割合：90% 【今後のスケジュール】 R6：工事 R7：工事 R8：供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績や、類似施設の実績、アンケートを参考に設定した。
10		名護市総合交通ターミナル事業計画策定事業	R5 ～ R8	名護漁港周辺エリアのまちづくり及び賑わいを創出する取組として、名護市総合交通ターミナルの整備とその周辺エリアの施設配置等を具体化し、対象エリアの魅力の向上を図る。	事業計画の策定	事業計画策定の完了	【R8成果目標】 当該計画の中で、名護市総合交通ターミナル利用者数の目標値を設定し、当該目標値の実現に向けた施策展開を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 本事業において策定する事業計画の中で総合交通ターミナル利用者数を目標値として設定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該計画に基づいた目標値を基に公共交通に関する利便性向上に向けた施策を実施していくことを目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	①	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R9	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、「沖縄らしい風景」を保全・創出し、糸満の魅力的な景観向上を図り、良質な公共空間に向けた取り組みを行う。	・沖縄らしいづ風景の創出することで良好な景観形成を図る。 ・重点地区景観形成への支援（（都市景観形成（屋根瓦等の工事）に係る助成金））	・重点地区整備工事完了 ・助成金による景観形成整備の完了（6件）	R7年度　重点地区整備工事 R8年度　重点地区実施設計 R9年度　重点地区整備工事	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	観光地危険生物駆除事業	H24 ～ R12	観光客や地域住民等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15ヵ所	市内における観光客の年間ハブ咬傷被害0件	【今後のスケジュール】 既存捕獲器の設置個所を再考や、ハブ生息区域調査による新規設置の検討、ハブ出没の連絡がある地域住民から要望があった際の捕獲器貸し出しの継続をし、 観光客に対するハブ咬傷被害0件を目標として安心安全な観光を推進する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	観光地公園環境美化強化事業	R4 ～ R12	観光地及びスポーツ観光の一層の充実を図るため、公園の環境美化清掃を行う。	西崎運動公園 山巓毛公園 みどりの遊歩道	観光地としてふさわしい景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
2	③	プロスポーツキャンプ推進事業	R5 ～ R12	選手及び見学者等が安全・快適に過ごせるよう受入体制を構築する。	プロスポーツキャンプ受入体制構築	プロスポーツキャンプ見学・来場者　15,000人	今後も選手及び見学者等が安全・快適に過ごすためにも受入体制構築の費用として負担が生じる。	過去の実績を勘案して設定した。
2	④	糸満市産業まつり開催事業	R7 ～ R13	本市の産業振興に向けて、産業まつりを開催し、本市の事業所及び地場産品等の糸満市の産業を市内外にＰＲする。	産業まつりへの出店事業者数　３０事業所	来場者数40,000人	【今後のスケジュール】 各事業所の多様なサービスや商品をＰＲができるよう産業まつりへの総出店事業者数を伸ばして行く	本事業の目的である本市産業のPRを通じて、地元事業所および地場産品の優先使用の促進をはかるため、より多くの来場者を確保し、効果的な啓発につなげることが重要であると考え、直近5年間で最大の来場者数が37,238人であることをふまえ、これを上回る40,000人を目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
2	⑤	第2次糸満市観光振興基本計画策定事業	R7 ～ R7	平成28年度に策定した第１次糸満市観光振興基本計画における各施策の取組成果を検証し、その結果と社会情勢、環境の変化等を踏まえ、本市の観光政策を展開していく指針となる第２次糸満市観光振興基本計画の策定を目的とする。	・観光を取り巻く状況の整理 ・本市観光の現状の整理 ・本市観光資源の現状調査 ・市民、観光関連事業者及び観光客に対する本市の観光に関する調査 ・計画作成	糸満市観光振興基本計画の完了	【R8成果目標】 策定する観光振興基本計画の中で、主要観光施設等入館者数 1,520千人、市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数（うち外国人） 102千人など、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R8　施策実施	【R8成果目標設定の考え方】 本事業において策定する観光振興計画の中で観光誘客に係る目標値を決定するため、現時点で第5次糸満市総合計画に基づいた目標値とする。
3	①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R12	学習支援や登校支援等を実施することで、基礎学力の向上と登校復帰を図るため、小中学校へ学習指導等支援員を配置する。	・小学校10校→12人（児童数・ケースによって1校あたり1人～3人） ・中学校6校→8人（生徒数・ケースによって1校あたり1人～3人）	県学力到達度調査の県平均との差 小学校算数：+1.4ポイント 中学校数学：-0.8ポイント	【今後のスケジュール】 ・各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会（年2回程度）も実施し、基礎学力の向上を図る。	児童生徒への学習支援と自立支援を手厚く行う事で、基礎学力の向上と自己肯定感の高まりへと繋がると考え、基礎学力の向上を数値として測るため設定。 毎年児童生徒が入替るため、直近３年の平均値を設定。
3	②	英語指導事業	H24 ～ R12	英語における実践的コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導をサポートする英語指導助手を配置する。	英語指導助手7人を小中学校17校（大度分校含む。）へ配置。 年3回、英語指導助手連絡会を開催。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか（85%以上）を、英語担当教諭へのアンケートにより調査 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語：-2.5ポイント	【今後のスケジュール】 ・年3回、英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	小学校 毎年上昇する数値という捉え方ではなく、全体としてどれほどの興味の高まりを達成したかを指標とした。 中学校 過去の実績を参考に設定した。
3	③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R12	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う（主任担当者1人、補助担当者2人、教育相談員2人）。教育相談に必要な巡回用自動車2台借用。	復帰率：35%（適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率）	【今後のスケジュール】 ・適応指導教室へ人員配置（主任担当者、補助担当者、教育相談員）を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。遠隔授業を取り入れを検討する。	過去の実績を参考に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
3	④	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ R12	児童生徒の障害による学習上又は生活上の支援をするため、小中学校へ特別支援教育支援員を配置する。 また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図るため、教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・市内小中学校へ特別支援教育支援員配置。 小中学校16校：特別支援教育支援員：29人（1校1人～4人） ・教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーター2人を配置。	・支援員の対応について、特別支援教育担当教諭へアンケートを実施→満足度：85%以上	【今後のスケジュール】 ・特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。	特別な支援を必要とする児童生徒の障害の状況はさまざまであり、達成目標として他と比較する数値を設定することは馴染まないため、特別支援担当教諭が特別支援教育支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。
3	⑤	障害児学習環境づくり事業	R4 ～ R12	発達障害を含む様々な障害を持つ児童に支援ヘルパーを配置し、身辺介助や安全面・生活面での支援を行う。	こども園に支援ヘルパーを配置し、様々な障害を持つ児童の支援を行う。 障害児特別支援ヘルパー5人。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度100%を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援ヘルパーの適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各園の特別支援コーディネーターや特別支援ヘルパーへの研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R12	子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員2名任用、小中学校へ派遣、授業支援、技術的支援実施。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか（90%以上）の割合を確認する ・学校職員　情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか（90%以上） を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 ・引き続き、情報教育支援員を派遣する。 ・電子黒板、教師用デジタル教科書・タブレット等の教材が十分に活用できるよう支援する。 ・遠隔授業の実施、新たなICT教育導入を支援する。	過去の実績を参考に設定した。
3	⑦	糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業（電子黒板購入）	R4 ～ R6	液晶型電子黒板を整備し、タブレットとの連携強化及び液晶画面により視認しやすさと手元明るさを確保し、より効率的、効果的にICT教育を推進する	液晶型電子黒板の購入 小・中学校合計で91台購入	・児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）	【今後のスケジュール】 液晶型電子黒板の新しい活用術を検討していく。また職員へ技術的支援により授業においての電子黒板の活用率を上げていく。	
3	⑧	糸満市スポーツ・文化活動派遣費支援事業	R5 ～ R13	県外等へ派遣される小・中学生等に対して補助金を交付して経済的負担を軽減することで、派遣参加を促進し、優れた人材を育成する。	・県外及び離島への派遣に係る費用のうち航空運賃の1/2を補助する。	・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 ・島外での競争及び交流の機会を得られるように、継続して派遣費の補助を行い、移動に係る経済的負担の軽減を図る。 【将来的な目標】 派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がった回答割合80%以上を目指す	【R6成果目標設定の考え方】 ・派遣対象者の大多数が、視野が広がったであると考えられる値として設定した。
4	①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R7	スポーツ観光の一層の充実を図るため、プロチームや社会人チームなどのキャンプの誘致をめざし、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・野球場施設機能強化	・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致	【今後のスケジュール】 ・西崎陸上競技場、球場の芝管理の継続 ・運動公園の機能を強化することにより、プロや社会人キャンプの誘致と更なる利用団体の増加を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	①	母子生活支援事業	H29 ～ R13	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・住宅支援5世帯 ・相談件数500件 ・各種講座（技術力・子育て等）の開催5回 ・子どもへの学習支援12か月	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	当該事業の実績に基づき設定した。
6	①	戦後80年祈念事業	R7 ～ R7	凄惨な沖縄戦の記憶を風化させることなく、沖縄戦終焉の地である糸満市から平和を発信し、沖縄戦の実相・教訓の次世代継承を行うため、戦後80年祈念イベントを実施し、これまで育成した市内中高生を中心とした平和の語り部をイベントにおいて活用し、平和への思いを継いでいく。	戦後80年祈念イベントの実施	戦後80年祈念イベント参加者のべ500人以上 活用した平和の語り部のべ15名以上	【今後のスケジュール】 令和7年度のみの実施	【R7成果目標設定の考え方】 施設規模等を勘案して設定した。
7	①	公共施設予防改修事業（塩害防止）	R5 ～ R7	市の公共施設の塩害を防止し、長寿命化を図るため公共施設の外壁塗装を行う。	外壁塗装工事（中央図書館）の実施	・外壁の剥離件数：0件 ・外壁の亀裂等件数：0件	【R7成果目標】 施設管理者による点検実施による安全安心な教育環境を維持。	【R7成果目標設定の考え方】 公共施設の長寿命化を図り子どもの安全な学習環境を確保する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	①	新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内の食品製造業者や飲食店、工芸作家等の事業者を対象に、新商品開発および販路開拓を総合的に支援するとともに、市産品の情報発信等を行う。	・参加事業者数（30事業者） ・専門家による支援事業者数（10事業者）	新商品開発・販路開拓数（10商品）	【今後のスケジュール】 令和14年には、新商品開発および販路開拓数100商品を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 市内の物産製造事業者や飲食店、工芸作家の数を考慮すると、30事業者以上が参加することで、10商品程度の新商品開発は可能だと考える。
1	②	音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信（10月～12月） ・音楽イベント等の開催（3回）	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数：57,200人	【今後のスケジュール】 おきなわ音楽月間運営業務で実施するイベント全体の集客数を950人以上達成出来るように努め、賑わいの創出を図るとともに観光誘客の増加へ繋げる。 コロナ禍の影響でオンライン配信のみの実施となったR2を除くH29～R4の5年間の平均値を参考に算出。 H29：1,045人 H30：1,174人 R1：1,887人 R3：150人 R4：490人 (H29～R4：計4,746人)/5=949.2人≒950人	【R7成果目標設定の考え方】 R7目標値までの伸び率を勘案して設定した。
1	③	国際交流事業	H24 ～ R12	多国籍住民の相談窓口を開設し、生活上等の困難の改善を図る。 語学講座や交流会、イベント等を開催し、国際感覚をもつ人材の育成を図る。	・多言語生活相談 ・語学講座（英語・中国語・スペイン語） ・多言語交流会（ゆんたく会、英語・中国語・スペイン語・日本語を隔週） ・国際交流イベント	来所者数4,000人	【今後のスケジュール】 施設の認知度も上がってきてる状況を鑑みて成果目標は去年よりも増える見込みで設定。引き続き交流会やイベント等の開催により成果目標の達成につなげていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	④	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのＰＲや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	①エイサーを活用したＰＲ活動 ・エイサーグッズ製作・配布 ・エイサーのまちＰＲバナー等設置 ・市内エイサー団体の県外イベントへの派遣 ②沖縄全島エイサーまつりの充実 ・シャトルバス運行 ・まつり会場の空間演出	①エイサー会館来場者数：25,600人 ②沖縄全島エイサーまつり来場者数：355,000人	【今後のスケジュール】 今後も地域の伝統芸能であるエイサーの保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、エイサーのまち沖縄市及びエイサー会館等エイサーを活用したPR活動を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	観光宣伝事業	H25 ～ R13	内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・ガイド養成講座（10回）、モニターツアー（50回）の実施 ・SNS等を活用した観光広報活動 ・観光ガイドブックの作製、配布 ・観光客受入環境整備委託（観光バリアフリー） ・ICT活用情報発信事業委託	・主要ホテル宿泊延べ人数：354,035人	【今後のスケジュール】 ・観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動を実施する。 ・高齢者や障がい者を含む誰でも本市の観光を楽しんでもらえるよう受入環境を整備し誘客促進を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 R5の実績値に、本市の観光振興基本計画に定める目標（R8年度に388,000人）を達成するための増加率を乗じて設定した。
1	⑥	文化芸能推進事業	H25 ～ R13	本市の伝統芸能を中心とした公演を開催し、文化芸能に触れる機会を提供することにより、文化芸能への関心・理解を深めるきっかけとなり、鑑賞者及び後継者の育成へとつなげる。 また、本市の文化資源の魅力を効果的に発信し、観光誘客の拡大を図る。	①沖縄市文化芸術祭（3回）、 ②大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」での公演（1回）	イベント参加者数 ①沖縄市文化芸術祭：合計5,300人 ②大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」：客席の７割	【今後のスケジュール】 市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する他、イベントの認知度を高め、安定した来場者数を目指す。 将来的なイベント参加者数 5,300人（R6目標）×1.5倍＝7,950人	【R7成果目標設定の考え方】 イベント参加者数はR5年度の実績人数を参考に設定。
2	①	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R13	プロスポーツチームの応援機運醸成による市民のチームに対する愛着醸成や、アウェイツーリズムの推進によるアウェイ観戦者の市内宿泊割合の増加、これらの取り組みによるホームゲーム年間来場者数の増加を図る。	・プロスポーツ応援機運醸成の実施。 ・アウェイ戦誘客促進キャンペーン、プロモーションの実施。	①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数：301,739人 ②スポーツツーリズムコンテンツの活用件数：8件 ③アウェイ観戦者の市内宿泊割合：30%	【今後のスケジュール】 プロスポーツチームのアウェイ観戦者を対象とする「アウェイツーリズム」を推進し、市内宿泊者数の増加等による交流人口の拡大を促進し、地域経済の活性化を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績やイベント日数及び会場規模を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。	・モータースポーツイベントの実施　１件	①イベント来場者数：30,000人	【今後のスケジュール】 モータースポーツの振興を図るイベント等を実施するとともに、貸出用レーシングカートの購入により、モータースポーツに関する理解と機運を高める イベント来場者数：41,370人	【R7成果目標設定の考え方】 R6実績を勘案して設定した。
3	①	緑化景観推進事業	H30 ～ R13	沖縄市の玄関口である南インター前に季節の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。（4回）	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	リュウキュウマツ保全事業	R4 ～ R13	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。	市内公園内のリュウキュウマツ約110本に薬剤注入	薬剤を注入した約110本のマツのうち、約106本（97%）の枯死被害を防止	【今後のスケジュール】 薬剤の効果が約7年となっていることから、市内公園のリュウキュウマツ約1,200本を7年周期（毎年同額程度）で薬剤注入できるよう計画的に実施していく	【R7成果目標設定の考え方】 被害拡大を防止するために、薬剤注入マツの97%を枯死させない数値として設定した。
4	①	こども科学力等育成事業	H24 ～ R13	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントの実施や、学校における出前科学教室や科学クラブを開催する。	・出前科学講座（88コマ）	①参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか（参加児童生徒へのアンケートで、満足度97%以上）	【今後のスケジュール】 ①最終年度（R12)の参加児童生徒へのアンケート：満足度97%以上	【R7成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	①学力調査（中３） ②学習支援教室業務 ③学習支援員（18名） ④ALTコーディネーター（1名） ⑤日本語指導員（3名） ⑥小学校ALT（10名） ⑦中学校ALT（5名）	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校：国との差-1ポイント以内を目指す。 中学校：国との差-5ポイント以内を目指す。 ②全国学習状況調査における設問、小学6年生「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」、中学3年生「１，２年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」における「取り組んでいた」とする回答の割合 目標：小中学生ともに全国平均以上	【今後のスケジュール】 ・引き続き支援員等を配置することにより、全国学力調査の正答率向上と学習意欲の向上に取り組んでいく。 ・令和7年度会計年度支援員配置率100%	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	①心理士（3名） ②保健師（1名） ③就学支援事務（1名） ④特別支援教育コーディネーター（1名） ⑤補助者リーダー（3名）【モデル】 ⑥特別支援教育補助者（37名） ⑦学校支援教育補助者（13名） ⑧適応指導教室指導員（2名） ⑨幼稚園特別支援担当（23人） ⑩幼稚園特別支援担当補助者（13人） ⑪幼稚園特別支援教育補助者（7人）	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 ・教員並びに関係者等にモデル事業への満足度を調査し有効性を確認する（目標値：満足度70%以上）	【今後のスケジュール】 ・特別な支援が必要な園児・児童・生徒や不登校・学力不振の児童・生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。 ・令和7年度会計年度支援員配置率100% ・適応指導教室「すだち」からの学校復帰率（部分復帰、高校進学等を含む）60%	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	④	青少年等支援事業	H25 ～ R12	青少年の健全育成を目的として、児童生徒や若者、その保護者等を対象とした相談業務、個々の状況に適した各種支援活動、夜間巡回指導等の取組を実施するとともに、教育支援センター相談環境整備工事を行う。	①教育相談指導員　7人配置 ②若者相談窓口相談員　2人配置 ③心理士　1人配置 ④青少年指導員の夜間街頭指導 延べ1,760人 ⑤教育支援センター相談環境整備工事（1期）	①支援活動について、対象となる児童生徒の学校・関係機関へのアンケート（目標値：満足度70%以上） ②若者相談窓口での相談対応実人数（目標値：前年度の1.2倍　70名） ③教育支援センター相談環境整備工事（1期）の完了	【今後のスケジュール】 青少年の健全育成を目的として、児童生徒や若者、その保護者等を対象とした相談業務、個々の状況に適した各種支援活動、夜間巡回指導等の取組を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 複雑な背景等により困難を抱える児童生徒の支援においては、支援人数や支援回数ではなく、支援内容が重要であることからアンケートにより成果を確認する。
4	⑥	学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT（校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など）が効果的に活用されるよう支援する。	ICT支援員　7人 （内勤1名含む） ICT推進コーディネーター　2人 巡回支援校数　24校	授業にICTを活用して指導できる割合：85%以上 ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合：85%以上	【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想の推進や児童生徒の情報活用能力の育成のため、ICT機器を効果的に活用できるように、教職員を引き続き支援していく。	【R7成果目標設定の考え方】 文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」を参考にした。
4	⑦	生活困窮者学習支援事業	R4 ～ R13	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生及び準要保護世帯のふたり親の中学3年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	被保護生体の中学1・2年生（定員：20名）及び準要保護世帯のふたり親の中学3年生に対する学習支援等の受験指導を行う。	①学習教室への出席率：85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率：10% ③通学生徒の高校進学率：95%以上	被保護世帯の高校進学率を全国並みの93.7%まで向上させる。	【R7成果目標設定の考え方】 沖縄県学校基本調査及び文部科学省による不登校の定義を参考に設定した。
5	①	就労等支援事業	H24 ～ R12	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種セミナー等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、実践的・専門的なITスキル習得の研修を実施し、デジタル技術に対応した人材の育成を図る。	・就労相談　約4,000人/年 ・デジタル人材育成の研修　30人/年	①就職決定者数：250名 ②職場体験/合同企業説明会/各種セミナー参加者へのアンケートで、職業理解/デジタル技術に関する理解が深まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談や職場体験等の支援を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 ①就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	②	産業集積推進事業	R2 ～ R8	産業集積の取り組みを推進することにより、企業立地や創業効果を促進するとともに、企業による取引や情報交流、連携などの企業間関係の好循環を創出し、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。	・スタートアップ型創業スクール実施回数：4回 ・スタートアップ型創業相談件数（個別相談）：200件 ・スタートアップ型創業機運醸成イベント回数：10回 ・支援先スタートアップの県内外ピッチイベント出場支援　10社 ・投資家や金融機関と起業家の面談実施回数20回 ・新規航路実証実験（1回以上/週）	①創業スクール卒業生：30名以上 ②創業者数：20名 ③スタートアップ企業誘致：5社 ④新規航路実証実験による年間取扱貨物量：10,095トン	【今後のスケジュール】 ・R6年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図る。 短期的な目標としては、令和9年度末時点において、誘致企業数50社、新規雇用者数500人とし、長期的な目標としては、令和12年度時点において、失業率及び市民所得を県平均を目指す。 ・航路の実証実験については、1航路につき概ね3年間を目途に実施し、順次航路拡充に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 ①②③スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組むことを踏まえたうえで、過去の実績や、他自治体の実績を基に勘案して設定した。 ④R8年度の新規航路実証実験における年間取扱貨物量20,000トンの達成に向けて、段階的に貨物量を増やしていくことを考えて目標値を設定した。
6	①	地域防災対策事業	H24 ～ R13	地域防災力の向上を目的に、自主防災組織の結成を促進するため、資機材、倉庫の整備を行う。 また、防災関連公園（3公園）の整備工事を行う。	・防災組織の結成（5組織） ・防災組織資機材（18組織）・倉庫整備（5組織） ・防災関連公園（3公園）の整備工事の実施	①整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	【今後のスケジュール】 自主防災組織の資機材及び倉庫整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。 また、整備した防災資機材等を活用した訓練を各防災組織が1回以上訓練を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。 各防災組織が１回以上訓練するものとして設定した。
7	①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画推進支援事業を行う。	跡地利用整備計画推進支援業務の実施	跡地利用整備計画推進支援業務の完了	【R6年度以降】 当該跡地利用計画素案に対する地権者や市民等の「肯定的な評価」80%以上	【R6年度以降成果目標設定の考え方】 地権者や市民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えれられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
8	①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的として、市民や県民等に対して人工ビーチ部分使用を通して東部海浜地区開発事業のＰＲを行うとともに土地利用等検討業務、事業アドバイザリー業務、マリーナ整備検討業務を行う。 また、当該地区の民間活用を早期に展開できるよう、企業誘致に係る県外企業等ヒアリングを行う。	①人工ビーチ部分使用実施業務実施 ②土地利用等検討業務実施 ③事業アドバイザリー業務実施 ④マリーナ整備検討業務実施 ⑤県外企業等ヒアリング出張（3回）	①来場者等へのアンケートによる認知度（50%以上）向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ②土地利用等検討報告書の作成 ③事業アドバイザリー業務報告書の作成 ④マリーナ整備検討業務報告書の作成 ⑤ヒアリング企業数12件	【数値目標】 ・県外企業誘致件数に関しては、将来的には、各民間活用予定地6件の企業誘致を目指す。 ・事業PRを行うことにより、事業認知度について過年度の平均以上を目指す。 【今後のスケジュール】 国や県の埋立完了時期を確認しながら、県内外企業等に公募条件整理に向けたヒアリング等を実施し、公募条件を整理していく。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度向上、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。 国・県の埋立事業の進捗に応じて、東部海浜開発地区の魅力向上に向けての調査・検討業務などを実施。	【R7成果目標設定の考え方】 ・ＰＲ事業の効果が図られたと考えられる値として、6年間の事業認知度の平均値を考慮し設定した。 ・土地利用等検討業務実施件数で設定した。 ・事業アドバイザリー業務実施件数で設定した。 ・マリーナ整備検討業務実施件数で設定した。
9	①	平和推進事業	H30 ～ R12	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。	沖縄市民平和の日を記念行事開催	アンケートにより、沖縄戦の理解が深まったか（８０%以上）	・これまで開催したイベント内容を踏まえ、様々な世代へアプローチできるような企画をプロポーザル方式により公募する。 ・9月7日沖縄市民平和の日の認知度を向上させる動画を制作し、SNSから発信することにより、年間を通して、平和について考えるきっかけを作る。	本事業の目的から本来は沖縄戦の体験等を次世代へ継承されたかを設定すべきであるが、検証が困難なため、沖縄戦への理解が深まれば次世代へ継承できたと考え、成果目標に設定した。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
10	①	商店街等活性化事業	R1 ～ R13	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成する。 イベント開催に向けての要望や相談等を含め支援し、商店街の魅力を高める。	銀天街プラザの開所日数　254日	交流拠点の来客・相談対応件数　400件	【今後のスケジュール】 銀天街地区のイベント開催に向けての要望や相談等を含め支援を行う。講習会等の実施による人材育成により、商店街の魅力を高める。 R5営業店舗　35／75店舗（47%） R13営業店舗　45／75店舗（60%）	【R7成果目標設定の考え方】 過去の取り組みによって出た課題や実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
11	①	沖縄こどもの国整備事業	H24 ～ R8	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。	・既存獣舎環境整備 ・各施設の整備促進等に向けた現地調査	・既存獣舎環境整備の完了 ・各施設の整備促進等に向けた現地調査の実施	【R7以降成果目標】 令和　7年度：約75万人 令和　8年度：約80万人 【今後のスケジュール】 施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこなう。	【R7成果目標設定の考え方】 夜間開園を実施し、国内外からの観光誘客も想定し、施設整備マスタープランに基づく来園者数を目指す。
12	①	ゼロカーボン推進事業	R6 ～ R13	二酸化炭素排出量の削減を図るため、道路照明を環境負荷の少ないＬＥＤ照明への切り替えを実施する。 また、脱炭素化への転換を促進するため、市民・事業者に対する相談窓口の設置や情報発信等を行う。	①道路照明LED化整備工事 ②相談支援 ③セミナー等開催（6回） ④情報発信	①道路照明LED化整備工事完了 ②省エネ診断の実施事業所数：30か所 ③セミナー等参加者数：330名	【今後のスケジュール】 (道路照明LED化) （R7）：61.6t-CO2削減 （相談業務等） 省エネ診断の実施事業所数：累計240か所	【R7成果目標設定の考え方】 （道路照明LED化） 水銀灯からLEDへ更新した場合の電気使用量差額から換算した。 （省エネ診断の実施事業所数） 相談支援200件/年のうち、省エネ診断を実施した事業所数を設定した。 （セミナー等） 6名×5回+50名×1回×6ブース＝330人

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ	H25 ～ R13	県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの来場者数 ：60,000人	【今後のスケジュール】 県内外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするためとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタを同時開催し、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。	【R７成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	②	豊見城市観光施設環境美化強化事業	R4 ～ R13	観光施設としての魅力的な景観形成を図るため、広場及び道路等の環境美化作業（清掃・剪定・植栽等）を行う。	豊見城市内の観光施設及び周辺道路の環境美化の実施	施設利用者へのアンケート調査等を実施し、観光施設としてふさわしい景観形成と感じるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 施設利用者の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。	【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光施設としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証する。
1	③	文化観光創出事業	H24 ～ R12	平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・ガイダンス施設基本設計（建築・展示）、屋外トイレ実施設計業務の実施。	・ガイダンス施設基本設計（建築・展示）、屋外トイレ実施設計業務の完了。	【今後のスケジュール】 ・ガイダンス施設基本・実施設計(～R8) ・屋外トイレ実施設計・整備工事(～R8) 【R7成果目標】 年間来場者数：2万人	【R7成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	④	豊見城市産業振興計画策定事業	R6 ～ R7	柔軟かつ的確に対応した実効性の高い産業振興施策を実現するため、産業振興計画を策定する。	委員会の開催 基礎調査を基に計画案の構想・骨子の検討 産業振興計画の作成	産業振興計画の策定	【令和９年度成果目標】 策定した産業振興計画の中で、創業支援者数・起業者数に係る目標値を以下のとおりとする。 ・30人 【今後のスケジュール】 R6　基礎調査報告書の策定	策定する産業振興計画の中で目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な産業振興施策を展開する。
1	⑤	創業支援強化事業	R6 ～ R10	特定創業支援事業として実施している個別相談の他に、多様な創業者を掘り起こすことを目的とした創業セミナーを実施する事業者に対し補助を行う。	創業セミナーを毎月開催	創業セミナーの参加者数5名/月 以上	【今後のスケジュール】 引続き創業支援事業者への補助を行い、本市の実情に即した効果的な支援事業となるよう検証を重ね取組を行っていく。	創業セミナーではより多くの参加者が見込まれると想定

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑥	豊見城市観光PR事業	R4 ～ R7	首都圏在住者に対し、近場で沖縄県豊見城市の雰囲気を感じることのできる物産展及びPR展等を実施する。 また、豊見城市イメージキャラクター着ぐるみを製作する。	首都圏にて物産展及びPR展を行う。 着ぐるみを製作する。	実施場所における市ブースへの来場者数 ：10,000名以上(2日間) 市イメージキャラクター着ぐるみ製作	【今後のスケジュール】 全国的な知名度が高い「瀬長島」や「豊崎地区」を筆頭に、豊見城市の観光地や特産品に興味を持ってもらい、豊見城市に行きたい、住みたいと思ってもらえるように県外へのPRを行う。また、市イメージキャラクターの着ぐるみも、活動回数を重ねることで市及びキャラクター自身の認知度の向上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 昨年度イベントでの市ブースへの来場者実績を参考に設定した。
2	①	発達支援保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、公立保育所・認定こども園においては加配保育士を配置、また市内法人立認可保育園等においては受入れ体制の整備ができるよう、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	加配保育士配置数 公立　18名 私立　99名	加配保育士の対応への満足度（80%以上）を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 市内対象児に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数（85%以上）	【今後のスケジュール】 公立保育所・認定こども園において加配保育士を配置、市内法人立認可保育園等において加配保育士にかかる人件費補助を実施し、対象児を預かる施設への支援を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 特別な支援を要する子を抱える保護者の負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	認可外保育施設給食委託事業	R6 ～ R8	認可外保育施設で行う給食提供を、業務委託することで、子どもへ対応する時間を増やし、保育の質の向上につなげる。	給食業務の委託	給食内容と保育の質に関して、認可外保育施設及び保護者の満足度80%以上	【今後のスケジュール】 給食業務の委託を行うことで、こどもの発達段階に応じた食事、アレルギー対応食、１日の栄養価を考慮した献立を提供し、継続して安心安全な給食提供を確保することで、利用者も安心して認可外保育施設を利用することができる。また、給食業務を委託することで、本来そこに費やす時間、労力を保育に還元することができ、保育の質の向上に繋がり、利用者の満足度も向上する。	【R7成果目標設定の考え方】 認可外保育施設及び保護者が保育の質が向上したことが図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置：36人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施：1人	特別支援教育支援員の配置による対応満足度（80%以上）と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にある事から、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。	複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	学力向上推進補助員を12人配置する。 小学校：8人 中学校：4人 全国標準学力検査の実施 小１～中２：年１回 学力検査の実施 中３：年１回	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校：+2.5ポイント以上 ②中学校：+0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。	記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。
3	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	スクールソーシャルワーカー4人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校4校を巡回する。	支援対象ケース改善率：51.0%以上 （改善ケース件数/支援対象ケース件数）×100	スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。	問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。
3	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	学習支援補助員を4人配置する。 こどもサポート教室：2人 中学校：2人 登校支援員を小学校８校に1人ずつ配置する。 不登校対策支援員を教育委員会内に１人配置する。	不登校児童生徒復帰率：20%以上 （学校復帰人数/新規不登校者数）×100	不登校対策としての学習支援員、登校支援員の継続配置により登校復帰ができていない児童生徒の支援を行う。 また、既存支援機関との連携強化を図り、そのキーパーソンとなる不登校対策支援員を配置することにより、登校ができていない児童生徒の社会的自立、学びの保障を図る。	不登校要因によっては長期的な支援が必要な事案もある事から、切れ目なく継続した不登校対策が必要。
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。	外国人英語講師（ALT）を市内4中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師（JTE）を市内8小学校に配置する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査（英語）での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そう思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。	興味・関心度アンケートにおいてマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。	情報教育指導補助員派遣：4人 アクセスポイント整備：2台 電子黒板整備：46台	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上）を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R7年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	⑦	児童生徒等派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市の児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外及び離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費等の一部を補助	対象児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が80%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。	令和5年度以降のアンケート結果割合の平均値が80%以上となるよう継続支援を行う。
3	⑧	児童生徒派遣費補助事業（部活外）	H25 ～ R13	本市の児童生徒及びその指導者がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県内離島及び県外等で開催される大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費補助費の一部（航空運賃の80%）を補助 342名 × 36,000円 1/2 = 6,156,000円 × 80% ≒ 4,924,000円	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒・指導者へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、県外の児童生徒との競争及び交流を増やす機会を支援する。	アンケートを実施し、視野が広がったか（80%以上）調査する。
3	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市立・私立中学校から団員を公募し、選抜した青少年リーダーを海外(ハワイ州)へ派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団体との交流、ホームステイを通して個々の資質向上を図る。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催（1回）	派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティーを育てるプログラム実践していく。	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市内の小中学生等を対象に、早期からの就労に対する意識付けや、将来の職業観を育むため、様々な職業が疑似体験できるイベントを実施する。	年１回の事業実施	就業意識が向上したか（85%以上）を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	事業の実施をとおし、より効果の高い小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	電子情報連携発信　1,025件 地域資料収集作業　7地域 歴史資料の電子化　26,986点 電子地図系コンテンツ作成　5件	webサイトアクセス数　75,130回／年 地域資料共有報告書発行種類　7種類	【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数75,130回/年を目標とし、更なる向上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 成果目標値はR5実績アクセス回数68,300回／年より、10%増を目標値とした。
5	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R13	サッカーキャンプ受入の準備として芝生の維持管理委託を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理	サッカーキャンプ誘致件数：２件/年	【今後のスケジュール】令和８年度以降 指定管理制度導入による維持管理費の削減額を調査・検討し指標を設定する。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。
6	①	豊見城市総合交通戦略推進等支援事業	R5 ～ R7	公共交通不便地域における移動手段の確保及び路線バス等の公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者で組織する協議会の開催支援を行う。	・ラストワンマイル交通における交通手段の導入検討の実施 ・モビリティマネジメント、交通マネジメント施策の実施 ・協議会当の開催支援	市内一周線バスの利用者数 前年度比１%増	【今後のスケジュール】 既存公共交通を補う施策を導入し、移動の選択肢を増やすことでバス利用者の増に繋げ、公共交通利用者数全体の底上げを目指す。 公共交通利用者を増加させることで基幹軸となる交通の必要性を高め、将来的には新たな公共交通システムの導入に繋げる。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 市総合計画の目標値を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	②	新たな公共交通システム導入検討調査事業	R6 ～ R8	本市や西海岸地域の交通渋滞解消のため、新たな公共交通システム（自走式ロープウェイ）の導入に向けた検討調査を行う。	導入基本計画調査の実施（1年目）	導入基本計画調査の実施（1年目）の完了	【Ｒ7成果目標】 新たな公共交通システムの導入に向けては、新たな技術開発等の動向を捉えながら実現に向けて段階的な取組を推進する。 【今後のスケジュール】 R8 導入基本計画調査（2年目） ・鉄軌道の経営収支計画 ・委員会運営など）	【R7成果目標設定の考え方】 導入基本計画調査により、整備効果の高いと判断される区間について、概略設計及び需要予測を行い、本事業のあり方を検証する。
6	③	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R8	補助金により優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合（110%）	【今後のスケジュール】 優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	④	豊見城市学校プール環境整備事業	R7 ～ R8	屋外プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策等のために日よけ設備を設置する。	設計業務の実施	設計業務の完了	【R9成果目標】 児童生徒の熱中症者０人 【今後のスケジュール】 R7：設計業務 R8：設置工事 R9：供用開始	整備スケジュールと事業の目的に基づき、対策事業完了後の成果目標を設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R8	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。さらに、本市にてキャンプ・合宿を実施したチームを活用して本市のプロモーションを行うことで地域経済の活性化を図ることを目的とする。また、受入環境の整備を行い、新規の合宿・大会誘致や定着化を図る。	・うるま市スポーツコンベンション推進協議会の開催・運営（2回） ・新規誘致活動件数　5件以上 ・受入環境整備の完了	新規合宿受入1件 野球以外の継続合宿受入1件 受入環境整備の完了	令和元年度に設立したスポーツコンベンション推進協議会を受入主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組むことで、さらなる経済的効果の拡大に繋げていく。さらに、本市でキャンプを行うプロスポーツチームを活用した本市のプロモーションを行うことで、本市の認知度を向上し、通年を通した観光誘客を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 サッカーチームのキャンプが定着化するための交渉。新規の誘致に注力する。
1	②	モータースポーツ振興推進事業	R4 ～ R9	モータースポーツの推進による観光産業の振興により、地域の活性化を図るため、実証イベントの実施や自走化に向けた取組を行う。	補助事業者によるモータースポーツイベントの開催　1件	イベントの来場者数　2,000人	【今後のスケジュール】 令和7年度の実証イベントの中で、民間開催に向けた課題の整理や必要な取り組みの実施及び検証を行い、令和8年度以降の民間主体によるモータースポーツイベントの実施及び観光誘客を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 イベント来場者数の設定については、R5・R6実証イベントの内容・結果を踏まえ、適切な目標値を設定した。
1	③	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R8	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	・魅力向上誘客業務実施 ・文化観光施設外構実施設計業務	文化観光展示施設(有料区域) 入場者数　R7年度　12万人	隣接する都市公園供用開始 あまわりパーク全体の来訪者 令和10年度の目標：30万人 うち文化観光展示施設：12万人	【実績】 平成25年度　175千人 平成26年度　156千人 平成27年度　148千人 平成28年度　171千人 平成29年度　172千人 平成30年度　183千人 令和元年度　162千人 令和2年度　68千人 令和3年度　62千人 令和4年度　88千人 施設が全面供用した場合、ピーク時と同じ18万人まで来訪者が回復、うち2/3が有料区域の入場者 18万人×2/3＝12万人 公園利用者（無料区域）：18万人

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	④	観光客誘客促進PR事業	R1 ～ R8	うるま市の魅力をPRをするため、県外でのプロモーション・市内イベントの実施・メディアを活用した情報発信を実施し、「観光のうるま」のイメージを定着させ、市外からの誘客促進を図る。	①県外でのプロモーション　3回以上 ②市内イベントの実施　2回以上 ③メディアを活用した情報発信の実施 ④アンケート調査の実施	・SNSフォロワー数、市YouTube登録者数：23,000人以上 ・主要観光施設の入場者数目標値：301,000人以上	【今後のスケジュール】 誘客効果の最大化を目指し、より効果的なプロモーション方法を検証し、展開していく。	
1	⑤	石川多目的ドーム機能強化事業	R4 ～ R8	主に闘牛大会の会場として活用されている石川多目的ドームについて、様々なイベントが開催できる施設への機能強化を図り、年間を通じてイベントの開催が可能となる施設整備を行う。	土地鑑定 用地交渉 用地取得	土地鑑定の完了 用地交渉の完了 用地取得の完了	観光客の受入体制を整備することにより、観光誘客及び経済波及効果が期待できる。	
1	⑥	感動産業特区まちづくりブランディング事業	R7 ～ R9	「感動産業特区」をコンセプトとしたまちづくりをとおして、地域をブランド化するための地域戦略及び県内外向け戦略を具体化し、地域住民や事業者等の意識醸成と行動誘発を促進することで魅力的なまちとしてのブランディングを図る。	・ブランディング戦略の作成 ・既存ロードマップの具体化	・ブランディング戦略の作成 ・既存ロードマップの具体化 ・地域戦略（インナーブランディング施策）の実施 ・感動産業特区ファン登録人数　100名以上 ・主要観光施設の入場者数　301,000人以上	・作成されたブランディング戦略に沿って地域住民・事業者・関係団体と行政が一体となった取り組みを推進 ・ブランディング戦略に基づいた地域戦略（インナーブランディング施策）の実施、各種プロモーション事業との連動	
2	①	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R13	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウス設置、農業用機械の導入、生産農家４戸	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入の完了	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める。	【R6成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を主にして、ない品目は実績値を参考に設定する。 （参考） Ｒ３：ミニトマト　5,000kg/10ａ キク類　37千本/10ａ Ｒ４：ゴーヤ　5,000kg/10ａ 小麦　218kg/10a

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	病害虫防除資材購入補助金	R4 ～ R8	事業実施主体による市内農家の病害虫防除に係る資材の購入経費補助事業に対して補助金を交付する。	病害虫防除資材の適正な利用を促すための補助事業を実施する。	病害虫の適期防除により蔓延予防を図る。	病害虫のまん延防止・被害軽減のため、適正防除により、病害虫まん延を防止する。	【R7成果目標設定の考え方】 本県は、亜熱帯気候の特性から農作物における病害虫が周年発生し、その発生模様は、多様なものであり、近年新たな病害虫発生が確認されるなど、新たな問題も生じており、これら病害虫のまん延防止・被害軽減のためにも適正防除の確立が課題となっている。そのため、適性防除により病害虫まん延を防止して、安定出荷できることで沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「安定的・持続的な農林水産業の推進」が出来るようになる。
2	③	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R13	島の５割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る	津堅島農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施 ・堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部補助。	津堅島農業支援業務の完了	【R7成果目標】 津堅ニンジン反収1.5ｔ/10a 【今後のスケジュール】 津堅ニンジンを含めた栽培に係る支援を実施し、津堅島における農産物の増産に取組む。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	うるま市循環型農業促進事業基本計画改定事業	R7 ～ R7	既存の計画における目標値の達成度等の現状把握や進捗状況を評価するとともに、昨今の社会情勢や課題等を考慮し、かつ各種上位計画や関連計画に準じた最適で実行性の高い計画への見直し及び改定を行う。	循環型農業促進事業基本計画の改定	循環型農業促進事業基本計画の改定完了	【R7成果目標】 改定した循環型農業促進事業基本計画に基づき、新たな目標値を設定し、当該数値を目標とした循環型農業施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R7　現計画の改定 R8　各循環型農業施策の展開	【R7成果目標設定の考え方】 本事業において、新たに目標値を設定し、目標の達成に向けた循環型農業施策を展開していく。
2	⑤	モズク市場拡大及び認知度向上事業	R7 ～ R9	農水産物の高付加価値化と安定的な生産を促進し、うるま市農水産業振興の一層の充実のため、県外消費地へのモズク市場の拡大及び認知度の向上を図り、第１次産業を核にした産業の活性化を図る。		①給食でのもずく提供回数１ヵ月に１回以上 ②児童生徒のもずくへの肯定的意見80%以上 （アンケート実施）		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	①	石川地域まちづくり推進事業	R4 ～ R9	石川IC周辺の交流拠点や交通結節機能の導入可能性調査を実施するとともに、石川庁舎周辺においては、地域住民や県内外の方々の目的地となるエリア開発を通して滞在や人流を生み出し、既成市街地への波及効果により石川地域全体の賑わい創出を図ることを目的に、事業化に向けたアドバイザリー業務委託を実施する。また、石川団地周辺においては、複合施設の整備に向けた基本計画の策定を行う。	・石川IC周辺交流拠点化に向けた事業エリア開発（地権者交渉資料作成等）及び既存公共施設の活用 ・石川庁舎周辺の利活用に向けたトライアル実証イベントの実施、公募書類の作成等 ・石川団地周辺における複合施設の整備にかかる基本計画の策定に向けた庁内検討委員会の開催 ・東恩納地区土地利用基本計画策定業務の実施	・石川IC周辺交流拠点化推進業務の完了 ・石川庁舎周辺利活用推進業務の完了 ・石川団地周辺整備事業基本計画策定業務の完了 ・東恩納地区土地利用基本計画策定の完了	【Ｒ７成果目標】 事業エリア及び導入機能の確定後、事業者サウンディングを踏まえた上で、域内就業者数の創出に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】 Ｒ７ｄ ・石川IC周辺交流拠点化推進業務 ・石川庁舎周辺利活用推進業務 ・石川団地周辺整備事業基本計画策定業務 ・東恩納地区土地利用基本計画策定業務	【令和７成果目標設定の考え方本】 過年度計画で位置付けたプロジェクトの事業化に向けた、個別具体的な各種施策を展開する。
		勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4 ～ R8	R6dに策定予定の「旧与那城庁舎周辺・県道37号線沿道・ロードパーク利活用基本計画」に基づき、旧与那城庁舎周辺・ロードパークにおける事業方式の在り方検討、事業エリアの価値と魅力を高める景観形成に資する伐採・剪定業務を実施する。	・旧与那城庁舎・ロードパークの在り方検討業務による事業方式の決定 ・事業エリアの価値と魅力の向上	・旧与那城庁舎・ロードパークの在り方検討業務の完了 ・令和７年度うるま市与那城地域観光地美化等環境整備業務の完了	【Ｒ７成果目標】 ・旧与那城庁舎・ロードパークの在り方検討業務による民間事業者意向を踏まえた事業（宿泊及び商業施設等）開始面積 【今後のスケジュール】 R8d ・旧与那城庁舎・ロードパーク・県道３７号線沿道の在り方検討業務による民間事業者意向を踏まえた事業（宿泊及び商業施設等）開始面積 ・事業者公募に向けた準備など	【令和７成果目標設定の考え方本】 過年度計画で位置付けたプロジェクトの事業化に向けた、個別具体的な各種施策を展開する。
3	③	企業誘致推進事業	R7 ～ R8	上江洲仲嶺地区や石川地域及び勝連与那城地域等、各まちづくり計画を中心とした本市投資環境について、企業誘致推進役を起用し首都圏企業等へ営業活動する他、関心企業の更なるインセンティブを図るため投資環境ツアーを実施する。 また、昨年度の調査を踏まえて、新たな産業用地の確保に向けた「産業集積促進基本計画」を策定する。	① 投資環境ツアーの実施 ② 開発事業者へのアプローチ ③ 台湾企業等へのアプローチ業務 ④ 産業集積促進基本計画の策定	投資環境ツアーへの参加企業：10社以上 開発事業者へのアプローチ：10社以上 台湾企業等へのアプローチ：３社以上 産業集積促進基本計画：１件（２箇所）	進出検討企業へ上江洲仲嶺地区の整備スケジュール等を共有し、進出企業の確定を行っていく。 また、産業集積促進計画については、基本計画を踏まえて実施計画を策定する。	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	④	中城湾港物流促進事業	R6 ～ R8	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図るとともに、新たな航路を誘致することで、港湾物流機能の向上を図る。	新規航路実証実験　1件以上 その他船社・港運・フォワダー・荷主等による貨物輸送の実証　3件以上	○新規航路実証試験　１件以上 ○東ふ頭を利用する新たな荷主企業の獲得　3件以上	H30年度～R4年度まで実施を行ってきた実証事業については、これまで利用が進まなかった中城湾港において、多数の物流モデルを構築するができ、新たな活用方法が見出すことが出来た。 今後もさらなる港湾に対するニーズの掘り起こし、実証実験をとおして荷物を出す企業や船社、物流事業者に対してポートセールスを行い、中城湾港の利用拡大に繋げていく。	【今後の取組み内容】 次年度は、沖縄県所有の施設との連携や外貿船就航のニーズも調査し、那覇港との住み分け、取り扱い貨物の整理などを行い、効果的な航路・貨物の増加に資する取組みを行う。
3	⑤	市内事業者販売力向上支援事業	H25 ～ R13	市内事業者が主体性を持ち、物産振興及び市内事業者同士の連携強化を図る。また、うるま市農水産業振興戦略拠点施設と連携し、恒常的に市産品が販売ができる売り場の拡大、効果的な出口の確保を目指す。	・事業者連携による物産振興を目的とした活動 ・市産品のイベント出展 ・販売機会の創出 ・県外向け販路拡大に向けた商談会の開催	・新たな恒常的な売り場の創出。（１件） ・市産品PR及び販売を目的とした物産展の開催を1回以上。		
3	⑥	水素まちづくり推進事業	R7 ～ R8	県内民間事業者の取り組みにより、次世代エネルギーである水素の供給体制が構築されつつある中、国際物流拠点産業集積地域の集積する本市における地産地消型のモデルを構築し、立地企業の競争力を高め、「うるまの水素」を活用したまちづくりを推進する。	①　民間利用促進に係る実証計画策定 ②　行政利用の実証 ③　市内イベントでのPR活動	①　実証計画の策定　２件（モビリティ利用、産業利用） ②　行政利用の実証実験　１件 ③　市内イベントでの体験会（仮称）の実施　1回	水素利用の実証を通じた民間への普及が促進され、本市における地産地消型モデルが構築される。	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4		就労支援事業	H24 ～ R13	市内および近隣市町村の高校生等へ雇用吸収力のある 中城湾新港地区立地企業を中心とした企業見学バスツアーを実施し、「うるま市で働き、暮らすこと」へのイメージを具体化し、企業への興味関心やマッチング機会の創出を図る。また、県内外の高専及び大学生等のインターンシップ受入を支援・拡大することで就業機会を拡大し、市内企業の人材確保に繋げることを目的とする。	①市内及び近隣市町村の高校、専門学校（高専）等の生徒を対象に中城湾新港地区バスツアー事業の実施 ②高専及び大学生のインターンシップ受入を行う事業者に対し、学生（県内外の高専及び大学生等）がインターンシップを実施する際にかかる宿泊料等を補助。	①学生の訪問企業への興味・関心が湧いた･･･80%以上（バスツアー） ②参加企業の満足度･･･ 70%以上（バスツアー） ③就業先の選択肢に入った･･･80%以上（インターンシップ参加者）	【今後のスケジュール】 市内を中心とした高校生等に市内企業へのバスツアーを実施。就業意欲の向上・ミスマッチの解消・離職率の低下を図る。 県内外の高専及び大学生等のインターンシップ受入を支援・拡大することで就業機会を拡大し、市内企業の人材確保に繋げることを目的とする。	
5	①	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R13	スポーツを通した人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加入率等の改善を図る。	外部指導員の配置　20名	・生徒の満足度（部活動で技術力が上がったと実感できた等）　80% ・顧問の満足度（指導力の向上や負担軽減）80%	部活動加入率等の向上	
5	②	ICTを活用した課題解決型学習事業	R2 ～ R13	オンライン上での課外活動やオフラインでの探究型学習などを通し、協働し課題解決や価値創造に取り組める人材育成及びIT人材の育成を目的にICTに触れる機会を創出する。	・参加児童生徒数　50名 ・学習プログラムの開発　2件	参加児童生徒アンケートにおいて、 ・あなたは、いろいろと調べて、新しいアイデア（考え）を考えられると思いますか。→「はい：80%以上」 ・パソコンやインターネット（ICT）を使って学ぶことは楽しいと思いますか。 →「はい：80%以上」		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	①	教育ICT支援員派遣事業	R3 ～ R9	ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上や情報活用能力の育成環境を整えるため、ICT支援員を各学校に派遣し、授業等でのICT機器の活用支援を行う。	ICT支援員の配置 学校支援回数	児童生徒及び教員へのアンケート調査 【児童生徒】 ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか⇒「思う：80%以上」 【教員】 ICT機器を活用し、児童生徒の学習意欲を高める授業づくりができていると思うか ⇒「思う：80%以上」		
6	②	学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	現状を改善するため支援員配置やデジタル教材等ICTを活用し、個別最適な学習を提供することで学力の向上を図る。	・学習支援員配置人数　25 名 ・すらドリル導入　小学校 ・スタディサプリ導入　中学校	・全国学力・学習状況調査の結果より ①学習意欲の向上：全国平均同等②自学学習の意識の向上：全国平均同等 ③学びの定着：平均正答率全国水準		
7	②	文化財環境整備事業	R6 ～ R10	市内文化財の環境を整備し、価値を保全することで、安全な文化財への来訪を可能にし、価値の周知と地域資源としての活用を図り、活用し続けられる文化財としていく。	・調査測量業務の実施 ・工事の実施設計業務の実施 ・移設工事の実施 ・工事監理業務の実施	文化財の測量調査：２件 移設工事の完成：1件	・歴史価値を周知し、市民に価値と保存の重要性を認識されたのち、指定文化財の手続きを進める。 ・文化財や記念碑を活用し、地域の方々の保存管理や市内小中学生に向け、災害の歴史や防災教育で活用し、地域振興を図る。	【R8成果目標設定の考え方】 文化財が所在する地域住民の文化財的価値の認識が、文化財の保存に直接関係するため成果目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
8	①	ひとり親家庭生活支援事業	R4 ～ R12	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の生活・学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。 　また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	①居室借上数（10部屋） ②技術力向上支援 （12日間） ③家計簿管理支援 （120回） ④支援世帯に合った個別支援　（50回） ⑤児童生徒の生活・学習支援 （小学生週6日　15名） （中学生　週3日×2クラス10名　合計20名） そのうち　中学3年生5名については1月～2月　補講有 ⑥高等学校卒業程度認定試験受験者支援 週3日開所　定員5名	①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合（100%） ②就労スキルアップ講座資格取得者（15名） ③学習習慣の定着度（90%） ④高等学校卒業程度認定試験合格（2名）	・支援が必要な家庭への周知活動を工夫し、強化する。 ・支援世帯の年齢層、世帯構成に合わせた支援計画を作成する。 ・県母子会やハローワーク等と連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向けた支援を行う。 ・児童生徒の生活・学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 ・高等学校卒業程度認定試験を受験するひとり親の学習支援を行う	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を踏まえ、ひとり親の自立を促すための指標を設定した。
8	②	教育相談事業	H24 ～ R12	与勝・具志川地区、石川地区相談室に相談員を配置し、児童生徒・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	教育相談員（6人）	相談件数実績に対するケース終結の割合を34%以上を目標にする。		
8	③	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会生を高めることを目指す。	適応指導教室指導員配置数（6人）	体験活動に参加することができた割合93%以上 中学校３年生の卒業後の進路決定割合86%以上		
8	④	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R13	問題を抱えた児童生徒とその置かれた環境の改善のため、関係機関と連携し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	・市立中学校校区ごとにスクールソーシャルワーカーの配置（12人）	・(不登校含め）課題の改善に向けて変容が見られた割合45% （改善件数／支援対象者数）		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
9		地域防災力強化事業	H25 ～ R8	災害時において、いち早く活動できる自主防災組織の活動強化のため、災害のしくみや、実践的な知識と技能を学ぶため、防災士の資格取得支援や防災資機材の点検及び整備等の活動支援を行い地域の組織力の醸成を目的とする。	①防災士資格取得講座案内数 全市民対象（40人） ②防災資機材支援対象団体調整 13団体 ③防災活動支援対象団体調整 10団体 ④防災教育講座開催に向けた委託先との調整 ⑤災害被災地視察先調整 ⑥自主防災組織結成 ⑦中城新港地区避難行動計画策定調査	①防災士資格取得者数 ４０人（累計92人） ②防災資機材支援補助 13団体(累計40団体) ③防災活動支援補助 10団体(累計55団体) ④防災教育講座開催数 1回（参加者100人以上） ⑤災害被災地視察 1回（東海方面検討） ⑥中城新港地区 １団体 （平常時に約7,000人がいる地区） ⑦約270事業所、約7,000人が避難する行動計画を策定	防災士の充実と防災資機材の充実、避難行動計画、避難訓練の実施につなげ、さらに、防災士を中心に「防災士連絡協議会（仮称）」を設置し、災害に強いまちづくり、人づくりの構築を目指す。	防災士の養成支援については、可能な限り増員を目指す。 防災資機材のみならず、避難場所としての機能構築（避難環境、食料備蓄、水の確保、プライバシー保護環境の構築等）も視野に防災環境の充実を図っていく。
10	①	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R7	市民や観光客など誰もが快適で使いやすい交通環境の実現を図るため、新たな交通システムの構築に向けた調査検討を行う。	・公共交通基礎調査 ・公共施設間連絡バスの路線・ダイヤ見直し ・公共施設間連絡バス車両購入（5台）	・公共施設間連絡バスの路線・ダイヤ見直し完了 ・公共施設間連絡バス新規車両での運行実施	【R8成果目標】 利用者数：28,935人以上／年 【スケジュール】 R7　路線・ダイヤ見直し R8　本格運行	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
10	②	うるま市総合食育センター整備事業	R5 ～ R8	早世割合が非常に高い本市において、学校給食センター機能と、食育交流の推進拠点としての機能を有した総合食育センターを一体的に整備し、住民の健康増進の充実を図る。	建設工事の実施	建設工事の一部完了	【R9成果目標】 ・バランスの良い食生活の認識が深まった割合 80%以上（受講者アンケートより）	【R9成果目標設定の考え方】 食育センター整備事業完了後における、本施設を利用した者のうち大多数の認識が深まったかを図る値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	地下水保全調査事業	H29 ～ R7	本市の唯一の淡水資源である地下水の保全を行う。	令和９年度の伊良部浄水場再稼働に向けて、既存水源井戸の適正揚水量を把握し、適切な地下水管理の基礎資料を作成するとともに、水道水源保全地域におけて、水理地質構造を把握し、新たな水源候補地の探索及び適切な地下水管理の基礎資料を作成し、今後の地下水保全につなげていく。	水道水源流域水理地質構造精度向上及び伊良部島適正陽水量の資料作成。	【今後の展開】 定期的に地下水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。	調査結果を基に検討していく。
1	②	地下水質モニタリング調査事業	R6 ～ R10	本市の唯一の淡水資源である地下水の水質管理を行う。	１）地下水質に含まれる有機フッ素化合物類及びネオニコチノイド系農薬類の汚染状況把握のために、水道水源流域内にて、地下水及び浄水の水質検査を行う。	１）有機フッ素化合物類及びネオニコチノイド系農薬類検査委託業務の完了。	【今後の展開】 定期的に地下水質の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。	１）調査結果を基に検討していく。
2	①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路の環境美化（除草・清掃）を行う。	観光地アクセス道路の環境美化の実施：32路線	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、ｱﾝｹｰﾄ調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観形成が図られていると感じた値として80%以上を設定し、ｱﾝｹｰﾄ調査の数値を基に本事業のあり方を検討する。
2	②	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R12	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光地公園12箇所の環境美化実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	賑わいのまちづくり事業	H28 ～ R7	中心市街地活性化を図るため、イベント等の開催の利用、まち歩き観光の休憩利用など、市民・観光客の交流拠点として賑わいの創出が可能となる広場整備を行う。	公園整備	公園整備	【R8成果目標】 イベント等開催（宮古島夏祭り1回、フリーマーケット12回） 【今後のスケジュール】 R7：整備工事 R8：供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 事業の目的である、広場に隣接する商店街等と連携を図りながら、回遊及び賑わいの場としての誘客の拠点作りを行う。 イベント等開催数については、年1回の宮古島夏祭り、月1回のフリーマーケット12回を成果目標として設定した。
3	①	持続可能な観光地域づくり推進事業	H24 ～ R10	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する。	①観光ＰＲイベント等への参加 ②新規航空路線就航に向けた ＰＲ活動 ③観光マネジメント体制構築業務	観光客の満足度69.9%	プロモーション活動や官民連携した持続可能な観光地づくりを継続的に実施し、令和10年度の観光客の満足度75%を目指す。	第２次宮古島市観光振興基本計画で策定している目標値を達成する。 ・これまでの実績及び観光振興基本計画の目標値より設定。 【実績】 H27：60.6% H28：65.9% H29 :65.9% H30 :62.9% Ｒ１ :69.8% Ｒ２ :62.2% Ｒ３ :66.9% R4 :67.5%
3	②	観光循環バス自走化実証事業	R4 ～ R7	観光客受入体制としての公共交通強化のため、交通事業者や観光関連事業者等が連携・協働した民間主体による市内観光循環バスの自走化運行を実現する。	採算性の改善による民間主体の自走化へ向けた試験運行。また、観光関連事業等との意見交換および自走化検討委員会を実施し、本格運行にかかる役割を検討した上で、運行体制の構築を行う。	事業採算性の改善を図るため、過年度実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行をした上で、本格運行を実施するルート・ダイヤの選定を行う。	事業採算性を踏まえたルート・ダイヤの選定を行い、完全自走化を目指した取り組みを行う。 事業の最終目標として、1時間間隔で、10本/日(2ルート)の路線バス運行を行う。	【Ｒ７成果目標設定理由】 ルート・ダイヤの選定について、利用者及び関連事業者(各観光関連施設等)へのアンケートやヒヤリングを行い、本事業の課題を把握。また、バス路線の採算性を検証し、今後の事業展開へ繋げる。
4	①	八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業	R4 ～ R9	国指定文化財（名勝及び天然記念物）となっている八重干瀬の国定公園等への指定を目指すため、八重干瀬とその周辺地域について自然資源の現況を把握し、保全活用体制の整備を図る。	自然環境調査の実施 R6年度成果の公表 保全体制構築検討	①約3.9万haの対象地域のうち、約10m以浅の海域及び隣接沿岸域について、魚類・海藻類等及び池間湿地等を主とした生物群集特性を明らかにする。 ②Ｒ6年度業務の成果について、市民等を対象とした報告会を２回開催する。	【今後のスケジュール】 国立公園等指定にふさわしい自然環境特性を明らかにするため、Ｒ６年度の詳細調査をＲ７年度においても継続する。 また、Ｒ６年度成果を公表しつつ、国定公園指定に向けた啓発、保全体制構築検討を行う。	八重干瀬及び周辺地域が国定公園等に指定されるよう、その自然環境特性を明らかにするとともに、保全体制を構築する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	②	宮古馬ステップアップ事業	R7 ～ R10	・宮古馬の馴致・調教及び見学案内 ・宮古馬活用施設の基本、実施設計 ＊活用場所は、旧福嶺中学校運動場を予定。	宮古馬への乗馬、引馬ができるようになるための調教を進め、一般のひとであっても、馬、引き馬ができるようにする。また、活用の場としての施設整備の基本、実施設計を行う。	①宮古馬放牧場にいる雌馬の馴致・調教し、引き馬が可能な馬を３頭以上にする。 ②放牧場への観光者数：550人	令和10年度までに、一般の人を乗馬、引馬までできるように８～10頭の馬を仕上げる。	令和7年度、8年度に関しては、宮古馬の馴致・調教を主軸に活動するため、放牧場の開園時間を現在の半分程度に短縮となる。 そのため、馴致・調教の成果として、引き馬が可能な馬を３頭を目指す。 また、馴致・調教に時間を要するため、現在の半分程度の開演時間となるため、令和５年度実績（1,103人）を参考に、およそ50%の550人と設定した。
4	③	宮古島市歴史文化活用推進事業	R5 ～ R9	宮古島市には苧麻績み文化や埋蔵文化財などの分野において、宮古島市独自の文化の形成が認められる。本事業では、これらの独自の文化の魅力の発信を行い、市民及び観光客へその歴史文化の周知と活用の促進を図る。	・歴史文化資料館の苧麻績み展示室における展示資料の製作 ・歴史文化資料館の利用促進及び文化講座の開催 ・『綾道-自然・湧水編-』の制作・発刊 ・資料館のトイレ整備	宮古島市歴史文化資料館の入館者数3,000人	歴史文化資料館の館内案内や文化講座などを継続して行い、利活用を促進し、市民や観光客への利用の拡大を図り、地域の歴史文化の魅力発信を行っていく。	歴史文化資料館では、本事業とは別に埋蔵文化財の常設展示や企画展なども開催する。
4	④	宮古島市総合博物館デジタル・ミュージアム推進整備事業	R5 ～ R8	宮古島市総合博物館における継続的なデジタルアーカイブの構築、公開、継続的な運用のための基盤を整備する。これに加え、博物館資料のデジタル化を行い、公開用コンテンツを作成、公開する。令和６年度は、令和７年度の公開・運用に先立ち、①データ整備とコンテンツ作成、②これらのデータを管理・公開するためのシステム導入、③公開のための具体的な運用方法を決定する。	①検討委員会の開催及び委員会における協議の結果に基づくデジタル・ミュージアムの具体的な運用・公開方針の決定。 ②データ作成・システム管理用PCの購入	①検討委員会の結果に基づく本格公開へ向けた機材等の予算確保や、具体的方針の明示（議事録の作成と取りまとめ） ②必要機材の導入完了。	【R7成果目標】 事業計画の遂行、検討委員会を通して決定した具体的方針の周知。 【今後の展開方針】 R7年度事業の結果をもとに、R8年度の本格公開にむけた具体的な取り組みを推進する（公開用機材の導入、コンテンツの作成等）。	成果指標となる数値は、来館者については既出の計画を、デジタル・ミュージアム利用者数についてはこれまでの来館者の平均から、アンケートは客観的に多数ととれる比率から、それぞれ具体的な数値をもとに設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	⑤	宮古方言保存継承事業	R7 ～ R10	宮古方言は、ユネスコの消滅危機言語の一つに認定されており、その保存継承が重要な課題となっているが、市民が宮古方言を知り興味を深めるために手に取ることのできる資料は極めて少ない。大正時代に宮古島方言を研究したニコライ・ネフスキーが遺した「宮古方言ノート」は、宮古方言が丹念に採録された第一級の資料とされるが、現在入手可能なのは手書きで一部判読困難な複写版とポーランドの研究者が刊行した解読版があるのみで、いずれもロシア語や英語などの表記が多いため市民一般の利用に供することができない。そこで「宮古方言ノート」の複写版及び解読版をもとに必要な注釈等を加えた日本語翻訳版を刊行するとともに、関連シンポジウムや講座等を開催することで宮古方言の保存継承に資する。	「宮古方言ノート」日本語版の編集作業着手、宮古方言保存継承に関するシンポジウム・講演会の実施（年1回）	①ニコライ・A・ネフスキー「宮古方言ノート複写本」（上670頁・下508頁）のデータ化 ②宮古方言保存継承に関するシンポジウム１回(参加者７０名以上) ③宮古方言に関するアンケート実施１回「講演の前後で今後の方言伝承に繋がる行動変容の動機付けとなったか」の回答（上昇率５％）	ニコライ・A・ネフスキー「宮古方言ノート複写本」（上・下）のデータ化(R7年度) 「宮古方言ノート」改訂版(日本語版)編集（R7~R9年度） 「宮古方言ノート」日本語版刊行（R10年度） 宮古方言保存継承に関するシンポジウム（R7~R10年度） 講演会の開催宮古方言に関する理解関心度意識調査（R7,R10年度）	「宮古方言ノート」日本語版刊行（R10年度）刊行のためのケジュールに合わせて作成した。 ①ニコライ・A・ネフスキー「宮古方言ノート複写本」は、上巻670頁・下巻508頁あるため、R7年度中にデータ化する ②③方言保存継承意識向上のため、シンポジウムを開催するとともに、市民意識の初期値を把握する。
5	①	地産地消による地域内経済循環システム構築事業	R4 ～ R8	市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ムーブメントづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。	コーディネート機能構築 ・地産地消コーディネータ実証 ・流通の仕組み検討 地産地消ムーブメントづくり ・地産地消応援PF試験運用（発表機会を想定） ・情報発信（SNS・Web・その他） ・イベント 地域経済循環分析 ・家計調査 ・PDCAの仕組みづく	学校給食における地産食材利用率の向上（25%以上）	【今後のスケジュール】 学校給食及びその他の飲食、小売、ホテル等への地産食材の利用率向上を図り、地域内経済循環を高めていく。併せて、地域内経済循環分析の仕組みを構築することで、事業や民間の取り組み効果を見える化する。	【R7成果目標設定の考え方】 学校給食における地産食材利用率がR2：11%からR3：17.6%、R4：17.7%、R5：23.5%に向上しており、R7は、25%以上を目指す。
5	②	"宮古島産の牛"生産推進事業	R22 ～ R31	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う。	優良母牛更新 80頭/年	・素牛の年間出荷頭数：3,780頭 ・平均販売価格：442千円	宮古島産牛の供給量増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	・直近6ヶ月(R6.4月～9月)の出荷頭数の平均315頭×12ヶ月＝3,780頭 ・平均価格：482千円

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施：23 回 （普通救命講習Ⅰ/14回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/６回） ・出前救命講習会の実施：随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	①救命講習会受講者数 1600人以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか（80%以上）を含め本事業のあり方を検証する。	住民からの要望もあり、定例講習会を３時間コースの普通救命講習会を減らし、８時間コースの上級救命講習会を増やし、質の向上を図る	平成28年度から令和５年度（コロナ禍を除く。）までの実績を平均し設定を行った。
7	①	選手派遣支援事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒の大会派遣（県内・県外）	児童生徒が広い視野を持てたか保護者に対するアンケートにより、満足度調査を行い、本事業のあり方について検証する。目標：満足度80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	
7	②	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび学習支援員を配置する。	・社会福祉士配置：1人 ・スクールソーシャルワーカー配置：4人 ・問題行動学習支援員配置：10人	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の増加を目指す。	【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	
7	③	学校ICT機能強化整備事業	H6 ～ R9	「個別最適な学び」・「協働的な学び」の推進を図る上で、機能強化として校内ネットワークへの接続や学習者用端末と連携が可能な電子黒板や書画カメラなどを整備する。	学校ICT機能強化に必要な機器の整備。	学校ICT機能強化に必要な機器の整備。	R7:機器整備（125台） R8:機器整備（100台） 【R9年度成果目標】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（授業中にICTを活用して指導する能力） 83pt以上	【R９成果目標設定の考え方】 現状値として、本市は79.6ptと高い数値で推移しているため、各年度で1pt増加させることを目指し83pt以上と設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
7	④	全国離島交流中学生野球大会補助事業	R7 ～ R7	全国の離島中学生が一堂に会してトーナメント戦を行う軟式野球の大会。参加チームはトーナメント形式で優勝を目指し、負けたチームも交流試合を行う。離島交流を目的とした開会セレモニーあさよならパーティー、プロ野球選手による野球教室が行われるなど、様々なイベントも開催される。	第16回全国離島交流中学生野球大会の開催	地理的環境から島外との交流機会の少ない全国の離島中学生が一堂に会し、野球を通じて「島」と「島」の交流を図る。また、新たな人間形成や健全な青少年の育成を促進することで、将来を通じて離島地域の振興に寄与することを目指す。 他の環境の生徒と交流することで、郷土愛、他の離島への興味関心を考える場となったと答えた参加生徒の割合、満足度調査を行い、本事業のあり方について検証する。目標：80%以上	第17回大会開催においても、本市から参加をすることで、「島」と「島」の交流を図る。	アンケートにより交流事業の効果を可視化することで、事業の検証や今後の展開について検討することが可能。 本市を除き26の市町村から23チームが参加が来島するため。 参加予定チーム：25チーム 1チームの構成人数：21（選手18名、監督・コーチ・審判員　各1名） その他関係者（プロ野球選手・保護者・各自治体帯同職員等） 過去大会参加チーム数 第15回（壱岐）：23チーム 第14回（奄美大島）：25チーム
8	①	宮古島市ひとり親家庭生活支援事業	R5 ～ R9	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等を原則1年間行う	３世帯への支援実施	本事業により自立に向けて生活改善した世帯の割合：１００%	今後も同支援を継続し、ひとり親世帯の自立を図る。	最大3世帯への支援を予定しており、うち3世帯の自立を目指す。
9	①	宮古島市斎苑火葬炉増設事業	R7 ～ R8	2040年をピークに火葬需要の増加が見込まれているが、宮古島市は近隣市町村との相互補完が困難であり、域内での完結が求められる。また、近年内に大型の修繕を予定しているが、修繕中に長期間の減炉が発生し、火葬を逼迫する恐れがある。従って、現在の宮古島市斎苑の体制では健全な火葬場運営が行えなくなる為、新規に火葬炉の増設を2年間計画で行う。 令和7年度においては、令和8年度の火葬炉建設に向けた実施設計及び必要備品の手配を行う。	火葬炉実施設計の実施 火葬炉備品の手配	R9年度当初の稼働に向けた実施設計の構築 計画的な備品の製造手配	～R8年度 火葬炉3号炉の整備完了 （R9年度） 3号炉の稼働開始 健全な受け入れ体制の整備。	火葬炉を増設し施設の処理能力を上げることで、市民の火葬待ちの発生を抑制する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理（利用による損傷に強くする）	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数：３チーム以上	サッカーチームのキャンプを継続的に３チーム以上誘致できるよう目指す。 【今後のスケジュール】 芝生の良質な状態を維持・管理し、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定
1	②	デジタルアーカイブ事業	H30 ～ R13	観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・歴史資料のデジタル化、資料情報の充実化及び新規資料の公開　5,000点	・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数　延べ19,000人以上 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の閲覧数133,000ｐｖ以上	将来的な目標として、下記の達成を目指す。 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数　延べ25,000人 ・閲覧数180,000pv 【今後のスケジュール】 引き続き歴史資料等のデジタル化、公開資料の充実化を図りつつ、情報の周知をおこなうことで成果目標の達成に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 R6の実績（見込み）をもとに設定した。
1	③	南城市歴史文化発信事業	R4 ～ R11	南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通した地域振興を図るため、歴史文化発信拠点を整備する。今年度は収蔵庫の造成工事、基本・実施設計等を行う。	・収蔵庫建築工事 ・収蔵庫建築工事監理	・収蔵庫建築工事の完了 ・収蔵庫建築工事監理の完了	【R12成果目標】 年間来館者数　18万人	【R12成果目標設定の考え方】 斎場御嶽過去3年の平均来場者数を参照
1	④	観光地美化等環境整備事業	H28 ～ R8	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、東海岸を望む道路沿線や景勝地の環境美化作業を行う。	環境美化作業の実施	環境美化作業による草木処分量：83t/年	高台からの眺望、異動景観の創出範囲 総延長：4,610m 【今後のスケジュール】 定期的に環境美化作業を実施し、魅力的な景観形成の維持に務める。	【R7成果目標設定の考え方】 伐採可能量を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑤	尚巴志ハーフマラソン大会を核とした地域振興事業	R5 ～ R8	県内屈指の人気スポーツイベントとして定着している尚巴志ハーフマラソンの観光連携、ＤＸ推進を図ることで、関係人口増加や地域経済の発展につなげる。	・大会を軸としたツアーの造成 ・県外・国外での誘客活動実施 ・市内事業者との連携 ・後夜祭の開催 ・大会イメージや尚巴志王のキャラクター活用	・大会と市内観光資源を融合させたツアーの造成ツアー数１件 ・県外・国外での誘客活動　各1回以上 ・市内事業者との連携　5事業者以上の参画 ・後夜祭の開催　参加者30名以上 ・大会イメージや尚巴志王のキャラクター活用　5回以上	【R8成果目標】 年度内はツアー造成に取組み令和8年度大会での県外・国外申込者655名を目指す。	【R8成果目標設定の考え方】 計画策定時の令和5年度（第20回大会）において県外・国外の申込者は437名であった。 県外プロモーション強化と地元事業者等と連携した受皿整備により50%アップを目指しウェルネス市場を開拓したい。
2	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立８小学校へ９名配置 ・市立４中学校へ４名配置	・小学校：児童生徒理解度調査の算数の満足度８０%以上 ・中学校：沖縄県学力到達度調査における中学１年生の数学の県と本市との平均正答率の差＋０．５ポイント以上 （※過去３か年平均）		
2	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	各公立認定こども園・公立小、中学校において特別教育支援員を配置し、個々の実態に応じた適切な対応を行う。 ・市内公立１認定こども園：13名配置 ・市内8小学校：28名配置 ・市内4中学校：6名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象について審査会において審議を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
2	③	ICT支援員派遣事業	R3 ～ R8	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	市内13小中学校にICT支援員3人を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が70%以上	教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が継続的に70%以上を達成できるよう目指す。 【今後のスケジュール】 効果的に、ICTを授業に活用してもらうため、ICT支援員を継続的に派遣する。	【R7成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	④	不登校児童生徒支援体制強化事業	R4 ～ R10	不登校児童生徒に対する支援体制を強化するため、校務支援システムの運用、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。	適応指導教室の運営 校内自立支援室の運営 不登校支援員の配置	適応指導教室の運営完了 校内自立支援教室の運営完了 不登校支援員の配置完了	【R10成果目標】 児童生徒の不登校率：小学校1.0%、中学校2.0%以下 学校と適応指導教室、校内自立支援教室及び不登校支援員が連係して児童生徒にあった不登校支援を行っていく。	【R10成果目標設定の考え方】 事業採択時の不登校率から改善が図られたと考えられる値を設定した。（R3年度不登校率：小学校2.1%、中学校4.0%）
3	①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R8	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	優良母牛導入頭数：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：117.1%以上	【今後のスケジュール】 今後も発育能力の高い優良繁殖牛を継続して導入し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳よ牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数：50頭	乳用牛1頭あたりの生産乳量：7,988kg以上（年間） 乳質（脂肪率）：3.87%以上	【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図る。	【R７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	循環型農業機械導入事業	R7 ～ R8	安定的な循環型農業を目指すために必要不可欠である専用機械を導入する。	循環型農業に係る専用機械の発注 ・飼料用さとうきび専用小型ハーベスター（裁断チョッピング部改造含む）１台	循環型農業に係る専用機械の導入 ・飼料用さとうきび専用小型ハーベスター（裁断チョッピング部改造含む）１台	循環型農業に係る機械導入を行い、飼料用さとうきび圃場の拡大や荒廃農地の解消に努める。	【R9成果目標設定の考え方】 過去3年間の圃場増加実績平均を基に10%上回る量を設定した。 ・飼料用さとうきび圃場 R3：0.26ha R4：0.59ha R5：0.85ha 3年平均0.57ha×1.1≒0.63ha
4	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R13	南城市の歴史・文化について調査研究を行い、冊子や学習会等で普及し、その継承を図る。	・『年報』刊行 ・学習会等の開催(2回)	学習会等への参加延人数　150人以上	【着地点】 学習会等の参加延人数累計（R5年度～R13年度）900人以上 【今後のスケジュール】 市の歴史・文化の調査研究及び成果の普及を継続し、その継承を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	①	南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業	R5 ～ R7	地元農畜水産物の高付加価値化に向けた加工品の製造・販売を行う利用促進拠点機能を有する観光交流施設において、市民・観光客の憩いの場を整備するため、ランドスケープの設計を行う。	・ランドスケープの実施設計	・ランドスケープ実施設計の完了	【R9年度成果目標】 観光交流施設来訪者○万人 産業人材として育成した人数○万人 【今後のスケジュール】 R7年度　ランドスケープ実施設計	【R9年度成果目標設定の考え方】 後年度成果目標の設定については、R6年度にマスタープランを策定する際に決定する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	電子黒板等ICT機器機能強化整備事業	R7 ～ R7	村立小中学校の教室に液晶ディスプイレイ一体型電子黒板を整備し、授業におけるデジタル教科書の活用、及び情報モラル教材の提示、GIGAスクール構想にて整備された学習者用端末の効果的な活用等、授業でのICT活用の促進を図る。	液晶ディスプイレイ一体型電子黒板の整備を行う。	児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板を活用した情報モラル等の授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業実施により、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。
2	①	国頭村エコツーリズム推進事業	R7 ～ R9	国頭村は世界自然遺産に登録された「やんばるの森」を有しており、豊かな自然を活用した森林・エコツーリズムを推進することによる観光・リゾートの振興を目指している。 本事業では、世界自然遺産地域における適正利用の推進ならびに、誘客周知・PRを図ることによる持続可能な観光振興による地域活性化を図る。	ガイド養成用テキスト制作業務の実施 ガイド・利用者へのアンケート実施による意識調査の実施 ガイド向け講習会の実施 先進地視察の実施	ガイド養成用テキスト制作業務の完了 ガイド・利用者へのアンケート実施による意識調査の完了 ガイド向け講習会の完了 先進地視察の完了	【R7年度の成果目標】 ガイド養成用テキスト制作業務の完了 ガイド・利用者へのアンケート実施による意識調査の完了 ガイド向け講習会の完了 先進地視察の完了 【今後のスケジュール】 R8 ガイド養成、効果検証業務の実施 R9 ガイド養成、周知・PR業務の実施	【R8成果目標設定の考え方】 当事業で設定した目標値に向けた観光振興を実施していくことを成果目標として設定した。
3	①	国頭村移住・観光等PRイベント事業	R7 ～ R7	県外で実施される観光・移住等のイベントにて国頭村をPRするため体験型ブース制作や現地での国頭村の広報を実施することで沖縄県北部地域である国頭村での観光及び移住の振興を図る。	県外で実施される観光・移住等のイベントに体験型ブースを出展し国頭村PRをする。	移住：年間人口純増：２０名以上 観光：国頭村4施設のR5実績150%増加	【今後のスケジュール】 移住・観光等のイベントに引き続き参加し成果目標達成に向けて取り組んでいく。	【R7成果目標設定の考え方】 移住：第２期 国頭村人口ビジョン・総合戦略を参考に設定 観光：国頭村4施設のR5実績150%増加
4	①	やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R9	世界自然遺産の認定を受けたやんばるにおいて、在来種への影響が大きい外来種の防除や希少な動植物の密猟等を未然に防ぐ取り組みを実施する。	・村営林道における林道パトロール及び外来植物等の対策の実施 160回	・村営林道における林道パトロール及び外来植物等の対策の実施 160回 ・村内観光施設内の外来植物の減少率 A=70%以上 。村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	【今後のスケジュール】 R7村営林道防除等の業務	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	①	国頭村公共施設低炭素化推進事業	R6 ～ R9	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公共施設等の照明機器を省エネタイプのＬＥＤ照明に切り替える。	調査設計業務の実施 LED照明切替工事の実施	R7年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減●●kg-Co2/年	【今後のスケジュール】 順次、公共施設等のLED照明への切り替えを行い、二酸化炭素の排出量を削減する。	【R7成果目標設定の考え方】 R7年度中に切り替えるLED照明の基数から二酸化炭素の削減量を算定。
6	①	観光施設機能強化事業	R4 ～ R7	観光施設等の利便性と魅力を高め、観光客の満足度を向上させるとともに運営効率の向上、持続可能な運営、地域経済の活性化を図る。	①観光施設等Wi-Fi整備事業の実施 （・楚洲あさひの丘・やんばる学びの森キャンプサイト・国頭村森林公園宿泊施設等・かいぎんフィールド国頭・かいぎんスタジアム国頭・くにがみ鏡地パークゴルフ場）	①観光施設等Wi-Fi整備事業の完了 （・楚洲あさひの丘・やんばる学びの森キャンプサイト・国頭村森林公園宿泊施設等・かいぎんフィールド国頭・かいぎんスタジアム国頭・くにがみ鏡地パークゴルフ場）	【R8成果目標】 楚洲あさひの丘宿泊者数：583名 やんばる学びの森キャンプサイト宿泊者数： 国頭村森林公園宿泊者数：	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	①	国頭村交通不便地域における２次交通実証事業	R5 ～ R7	国頭村地域に訪れる観光客の２次交通に係る利便性を確保するため、持続可能で安定した２次交通の導入に向けたデマンド型のコミュニティバスの実証実験を行う。	・乗客へのアンケート調査（4～2月） ・実証実験の実施（4～2月）※無償で運行 ・実証実験の評価（3月） ・地域公共交通会議の開催2回（10月・2月）	一日当たりの乗車数 13.7人	【今後のスケジュール】 R7年度 ・乗客を対象としたアンケートの実施 ・運行路線の検討 ・実証実験（通年）の実施・効果検証 ・実証実験から自走化へ計画 ・地域交通会議の開催	【R7成果目標設定の考え方】 実証実験の結果等を踏まえて、目標利用者数を設定し、国頭村地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取り組みの確実な実施につなげる。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
8	①	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R8	冬春季におけるスポーツ合宿の受入件数の増に向け、受け入れ環境の充実を図るため、施設備品の整備を実施することにより、合宿誘致件数の増加及び施設の機能強化を図る。	野球場・ふれあい広場グラウンド改修実施設計 野球場ブルペン建築実施設計	野球場・ふれあい広場グラウンド改修実施設計の完了 野球場ブルペン建築実施設計の完了	【R8年度成果目標】 合宿誘致件数　50件以上 （うち、野球競技団体件数7件、陸上競技団体：33件以上） （実績） R5:36件、R4：47件、R3：31件、R2：46件、R1：50件 ・うち、野球競技団体 （実績） R5:7件、R4:8件、R3：5件、R2：5件、R1：4件 ・うち、陸上競技団体 （実績）R5:21件、R4:27件、R3:22件、R2：36件、R１：40件 【今後のスケジュール】 R8年度 ・施設整備の実施	【R8成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
9	①	星空観光推進事業	R5 ～ R7	国頭村が有する自然資源の中でも、新たな観光資源として注目を浴びている”星空観光”の魅力を発信し、さらなる事業推進を図る。	・周知PRの実施 ・観望会実施委託業務の実施 ・案内人養成講座委託業務の実施 ・星空バックアップ映像制作業務の実施	・国頭村森林公園 年間星空ツアー者数：400人以上	【今後のスケジュール】 R7年度 事業の実施 R8年度以降 星空観光の推進	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にした
10	①	国頭村森林公園機能強化事業	R6 ～ R7	森林公園ではトイレ施設が不足しており利便性に欠けている。利用者のサービス向上及び利用者増加を図るためトイレ施設の整備を図る。	建築工事の実施	建築工事の完了	【R8成果目標】 年間利用者数：15,800人以上 【今後のスケジュール】 R7年度 トイレ建築工事の完了 R8年度 供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
11	①	国頭村産品魅力発信・販売力強化事業	R7 ～ R9	国頭村産品の魅力を村外へ発信し、ブランド力を高め、また企業と共同で商品開発をするなどして付加価値を高める等の事業を実施し、販売力を強化を図る。	・村産品の魅力発信、販売力強化事業の実施	村産品の新たな販路の開拓:3件以上 村産品を使用した新たな商品の開発:3件以上	村産品の新たな販路の開拓:3件以上 村産品を使用した新たな商品の開発:3件以上	【R7成果目標設定の考え方】 村が携わった販路の開拓、特産品開発の過去3年間の数を基に設定した。 販路開拓(通年販売) 令和6年度　3件 令和5年度　0件 令和4年度　0件 特産品開発 令和6年度　0件 令和5年度　0件 令和4年度　0件

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	大宜味村観光情報発信事業	H24 ～ R13	観光資源（文化財、自然資源、特産品、体験事業）などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント、PRキャラバン開催支援	産業まつり来場者数　約5,000名 PRイベントの来場者数 約11,000名以上	【今後のスケジュール】 大宜味村の観光資源を効果的に発信し、認知度向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置（二人） ・各保護・捕獲器の設置（ハブ：40台、犬：3台、猫：10台） ・保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施 ・保護した野良猫の譲渡強化を図るため、愛護団体と連携し保護ネコの引き渡しを実施する。	①ハブ咬傷被害：0件 ②ヤンバルクイナの生息率：33.3%以上 ③保護した猫の譲渡：70件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R9	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・護岸整備工事の実施　L＝25.2m	・累計河川工事整備率　85.5% （2,223m/全体延長2,600m）	【R10成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数 500名以上 【今後のスケジュール】 令和4年度　事業中止 令和5年度　整備工事 令和6年度　整備工事 令和7年度　整備工事 令和8年度　整備工事 令和9年度　整備工事・台帳整備 R10　全体供用開始	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	塩屋湾周辺利活用推進事業	R4 ～ R8	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の持続的な利活用に向けた塩屋湾水質改善計画の策定を行う。	・水質改善計画に伴う調査及び詳細設計	・調査業務等の完了	塩屋湾来訪者満足度80%以上 【令和9年度】	塩屋湾を活用する事業者と連携し来訪者へ塩屋湾における満足度を把握するためアンケートを行い、満足度の向上を目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤	大宜味村観光地安全対策整備事業	R5 ～ R9	大宜味村内の観光拠点を整備し、観光周遊ルートを形成することにより、観光客の受入体制を強化するとともに、災害時、安心安全に避難できるよう観光地整備を行い観光地形成に取り組む	災害時、安心安全に避難できるよう観光地整備を行い観光地形成に取り組む	基本計画の策定	【今後のスケジュール】 本村を訪れた観光客が災害時、安心・安全に避難することが出来るよう計画を策定し、調査、整備を行い、観光地形成に取り組んでいく。	【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑥	結の浜海浜公園機能強化事業	R7 ～ R7	環境整備に必要な物品を購入し、安心・安全・快適な公園利用の促進を図る。	物品購入の完了 トラクター1台 ジェットスキー：1台	来場者数 令和8年度：31,120人	【今後のスケジュール】 今後は本事業において整備した備品を指定管理者にて使用してもらう。	【R8成果目標設定の考え方】 大宜味村結の浜海浜整備基本計画を基に作成された企画書の内容に沿って設定した。
2	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・小学校3名（低・中・高学年　各1名） ・中学校2名（1年～3年　2名）	・令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 県平均値をさらに超える2.3ポイント以上 中学校 県平均値に近づく-0.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員による児童生徒への学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査のにおける目標達成へ向け取り組む。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	地域支援員配置事業	H25 ～ R13	不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 （対象：小学校及び中学校）	不登校出現率10%以下	【今後のスケジュール】 今後も継続して地域支援員を配置し、不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らないよう支援を行う。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	生涯学習講座　12回以上開催	講座受講者数：240名以上	【今後のスケジュール】 本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒への県外派遣支援	児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援し、広い視野を持った人材の育成を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。
2	⑤	大宜味村海外短期留学派遣事業	R6 ～ R13	海外での生活や体験または英語学習を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し村内の中高生を英語圏へ短期間派遣を行う。	村内の中高生を英語圏へ 短期間派遣（3週間）	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R13	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	特別支援教育支援員配置数 （全4名） 小学校１校に3名 中学校１校に１名	支援員に対する満足度（８０%以上）を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 学校教職員とスクールソウシャルﾜｰｶｰ等と特別支援教育支援員が情報共有し、連携を取ることで円滑な学習環境を提供することにより学習意欲の向上に繋げる。	【R7成果目標設定の考え方】 対象児童の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	環境保全・ネコ適正飼養推進事業	R4 ～ R9	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、Ｒ4年度に実施した実態調査の結果を踏まえ、R5年度実施した飼いネコの適正飼養及び飼い主不明ネコ・地域ネコの譲渡強化を継続して実施する。	①飼いネコの適正飼養推進 ②飼い主不明ネコ・地域ネコの保護・避妊・去勢手術等の適正管理及び譲渡強化 ④ネコ適正飼養推進検討会の開催	Ｒ6ネコの捕獲頭数45頭	Ｒ6ネコの捕獲数４５頭 Ｒ7ネコの捕獲数４５頭 Ｒ8ネコの捕獲数２０頭 Ｒ9ネコの捕獲数１０頭	R5成果目標を過去５年の実績及び地域ネコを勘案して設定した。 Ｒ5の事業が途中のため、R6以降についても過去の実績及び本事業の継続実施による飼い主不明ネコ・地域ネコ頭数減を勘案し設定した。
3	①	東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	南米２カ国（ブラジル・アルゼンチン）の東村人会の子弟（3世・4世）が村民及び県民との交流を通じて、本村の移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材の育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。	・研修生受入　４人 ・染め物や沖縄料理、三線等の沖縄文化を学ぶとともに村民及び県民との交流を実施。	研修に参加した子弟が帰国後、本村と移住先国子弟との友好親善、沖縄文化の振興に貢献できる人材として、活躍出来ているか（80%以上）を東村人会にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・受入事業を定期的に継続し、相互の情報交換を行いネットワーク向上を図る。 ・相互交流も定期的に継続する。	
4	①	産業支援住宅整備事業	H29 ～ R7	地域産業の推進と後継者・担い手の人材確保を図る為、産業支援住宅を整備する。	産業支援住宅に係る建築工事の実施。	建築工事にの完了	【R8成果目標】 第１次産業従事者入居戸数３戸 【今後のスケジュール】 R7：整備工事 R8：供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 第１次産業従事者が入居・定住することが目的達成と考え設定した。
5	①	東村新規就農者育成センター整備事業	R7 ～ R8	東村の主要産業である農業の衰退を防ぐため、東村新規就農者育成センターを整備し、就農希望者が安心して農業を始められる環境を整え、村内における新規就農者を確保する。今年度は実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の完了	【R10成果目標】 村内における新規就農者数5名 【今後のスケジュール】 R7：実施設計 R8：建築・設備工事 R9：供用開始	【R10年度以降成果目標設定の考え方】 過去40年間の農家戸数の推移から必要な新規就農者数を設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	東村オンライン学習塾支援事業	R7 ～ R13	村営塾を開校し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及びＩＣＴを活用したオンライン学習塾支援を実施し児童生徒の学力向上を図る	オンライン双方向授業：10ヶ月	①「全国学力テスト正解率の上昇率：正解率５％上昇」 ②「利用児童等の満足度：80%以上」	【今後のスケジュール】 今後も東村オンライン学習塾支援事業を実施し、児童生徒の学力向上を図る	【R7成果目標設定の考え方】 沖縄県到達度調査の過去の実績を勘案し設定した
7	①	有銘地域便益施設整備事業	R7 ～ R8	ゲートボール場や健康器具利用者の利便性を向上するために高齢者、障がい者の利用しやすいバリアフリー対応トイレを整備する。	実施設計の実施	実施設計の完了	【今後のスケジュール】 Ｒ８：整備工事 Ｒ９：供用開始 【R9成果目標】 便益施設利用者に対する満足度（80%以上）	隣接施設（ゲートボール場等）の利用者へアンケート調査を実施し、当該事業による満足度を検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	小中学校にそれぞれ特別支援員（有資格者）と特別支援員（無資格者）を配置する。 ・小学校　特（有）4人 　　特（無）9人 ・中学校　特（有）1人 　　特（無）3人	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	
1	②	今帰仁村児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流により、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画を後押しするため、村内児童生徒が各種スポーツ大会等に参加するための県外派遣の費用を支援する。	保護者へのアンケートによる効果検証：（全数実施）	アンケートで「児童生徒の競技参画への主体性が増した」割合：（９０%以上）	○今後のスケジュール 通年で継続的に事業を実施し、県外での経験を積むことにより、児童生徒の主体的な競技への参画を目指す。	・事業利用者（児童生徒）の主体的な競技への参画につながったか、アンケートにより検証する。
1	③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	キャリア教育を通して基礎的・汎用的能力を育み、社会的・職業的自立に向けより幅広い視野と選択肢を見つけ、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。	・各校へキャリア教育コーディネート ・教育ファーム事業 ・プロデューサー育成事業 ・県外インターシップ事業 ・講演会	本事業によって基礎的・汎用的能力が育まれ就業に対する意識の向上が図られたか（向上度９０%以上）を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 キャリア教育を通して児童生徒の基礎的・汎用的能力を身につけ職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。	
1	④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。	・臨床心理士による巡回相談（月1回3時間）を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。	・対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合(67%以上)を含め、特別支援コーディネーターへのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後のスケジュール) ・障害を有する児童生徒が、集団生活や日常生活に対応できるよう教育支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑤	教育相談事業	R2 ～ R13	児童生徒の不登校や問題行動等カウセリングを充実させる。	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。 相談員　２人	・対象となる児童生徒が集団生活や日常生活に対応できるようになったか(80%以上)アンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後の展開方針) ・不登校や問題行動、不安や悩みを持つ児童生徒や保護者の相談を受け集団生活での困難さや日常生活に対応できるよう気軽に相談できる話し相手として対応する。	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑥	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学する中学生２人をハワイ州に、北山高等学校に在学する本村出身高校生６人をジョージア州に２週間ホームステイさせる。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか （90%以上）を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な視野が広がった生徒が成長し、今帰仁村の次世代を担う人材となる。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の保護者がより、国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証をする。
1	⑦	人材育成事業	H24 ～ R13	島国沖縄県にとって、県外は「異文化」であり、異なる環境で生活している児童と交流を行うことにより、村内児童の視野を広げ教養に対する意欲を高めることで、人材育成を図る。	小学生を対象に、県外児童との交流事業を行う。 派遣児童数：36人	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がった(90%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、児童の視野を広げ、人材育成を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。また、併せて観光客の安全確保のため危険生物等の除去を行う。	・今帰仁城跡及び村内観光地並びに観光ルートの美化作業の実施。 ・観光地として魅力的な景観形成を図る。 ・危険生物等を除去する事で安全の確保を図る。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか （80%以上） を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。 併せて観光客が訪れる機会の多い海辺やその周辺地域において確認される危険生物等の除去を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてはアンケートにより検証する。
2	②	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R13	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施およびガイド内容の質の向上を図る。	今帰仁村歴史文化センターが主催する講座や研修会への参加などを通してスキルアップを支援する。ガイド内容の質を高めることで、観光客の満足度も向上し今帰仁村の観光産業に寄与できる。	ガイドによる来訪者の案内10,000名	【今後のスケジュール】 来城する観光客等に今帰仁城跡の歴史文化等について正しく理解してもらい、魅力を発信するために、ガイドの知識の上書き、ガイド内容の充実などスキルアップにつながる講座や研修会などに参加しガイド内容の充実に継続して取り組む。	【R5年度成果目標の考え方】 案内者数は過去の実績より算出 H25：実績11,419名 H26：実績12,603名 H27：実績12,782名 H28：実績12,095名 H29：実績12,040名 H30：実績13,614名 R１：実績11,130名 R２：実績5,070名 R３：実績5,407名 R４：目標12,000名 R５：目標10,000名

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントの支援を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり ・今帰仁まつり ・今帰仁ハーリー大会	村内で実施する以下のイベントの運営費等に対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」（11月・2月） ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり（2月） ・今帰仁まつり（８月） ・今帰仁ハーリー大会（8月）	・現代版組踊「北山の風」来場数：1,150人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数：3,000人/日 ・今帰仁まつり来場者：10,300人 ・今帰仁ハーリー大会参加者数:770人	【今後のスケジュール】 新型コロナウイルス感染症で落ち込み気味の村経済の活性化を図るため、村内で開催するイベント等の支援を継続して行う。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	1月～2月に、今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	【今後のスケジュール】 繁忙期においても観光客が安全でスムーズに入場できるよう、交通整理員を配置して安全確保に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 環境客が安全でスムーズに入場することを目的に、交通整理員が配置された箇所において事故が無いことを目標として設定した。
2	⑤	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R12	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川の整備を行う。	河川改修工事の実施。	全体計画における3.2%整備（累積整備率75.9%）	【R13成果目標】 R13　供用開始後 供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【R6成果目標設定の考え方】 魅力的な景観形成が図られたかは、観光客に対するアンケートを実施、大多数が肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
2	⑥	景観形成強化事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備とそれに伴う設計・測量・用地補償等を行う。 ・簡易舗装及び排水路設置工事	予定計画における80%以上整備 ・簡易舗装及び排水溝設置工事 予定総延長 L＝338.3m ・排水溝設置工事(2工区) 予定総延長L=111.4m	【R9成果目標】 魅力的な景観が形成されたか（80%以上）を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。	事業の目的である魅力的な景観が形成されたを検証するため当該事業に関するアンケート調査を、観光客等を対象に実施し効果を測定するものとした。
3	①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H25 ～ R13	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	Ｒ５年度　21頭導入	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	（今後の展開方針） ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 また未導入農家に対しても導入に向け働きかけ村内全域の母牛品質向上を図る。 ・導入全体計画　１８９頭以上（Ｒ４）	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R13	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内1,050ヵ所に設置。	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 ハブの生息域拡大が懸念されるため、今後も引き続き捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目標として設定した。
1	②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R8	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施　　2回	・伝統興行来場者数：742人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し、観光客の誘致を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4 ～ R9	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	町観光協会へ補助金の支出　1件/年	モニターツアーの実施：10回/年	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町認定ガイド養成とスキルアップ研修を実施し、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R3 ～ R13	本県は亜熱帯性気候に属し、年間をとおして至るところで雑草が繁茂している状況である。年間500万人（平成29年度）が訪れる観光立町として観光地や観光地アクセス道路の環境美化を図るため、作業員を配置し年間を通してクリーン作業を行う。	国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R7成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1	⑤	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付＝1115基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか（80%以上）を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑥	本部町観光誘客周遊バス実証事業	R5 ～ R7	二次交通の整備による観光客の移動手段を確保するため、町内の観光施設等を巡る周遊バス運行に向けた実証実験を行う。	周遊バスの運行	周遊バス利用者数　15,400人	【今後のスケジュール】 利用状況の結果をもとに運行改善を行い、周遊バス導入の可否について検証する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2	①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R8	肉用牛生産農家及び農業生産法人が生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、導入牛から採取した優良血統の受精卵を町内農家へ配布し、牛群の改良を促進する。	人工受精及び受精卵移植の実施	受精卵移植の実施　２件以上	【Ｒ９成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格：その他の子牛のセリ平均価格以上	【R9成果目標設定の考え方】 牛群の改良を評価として、生産農家の所得向上に直結するセリ価格の上昇を目指す。従来の子牛のセリ価格を上回るような設定をしている。
2	②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R9	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施 （メイドインもとぶ産品のリスト化） （メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援） （町産品活用推進に向けた販促支援） （県内外物産展等への出展支援）	新規取引契約数　１０件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品ＰＲ及び販売支援を行い、町内事業者のみならず、町外事業者との契約も視野にいれ、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。（毎年度新規取引契約数10件以上） また、将来的には自走化を目標に事業を展開していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校　４校へ配置 ・町立中学校　３校へ配置	令和7年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校　－9.1ポイント以上 中学校　－5.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒（心身の障害及び発達障害）に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 １１名配置 ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ ２名配置 ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ １名配置	・特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	③	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中学生を英語圏へ短期間派遣または県内での宿泊英語学習を行う。	町内の中高生を英語圏へ 短期間派遣（3週間） 県内での宿泊英語学習	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 将来的に最終年度までの保護者アンケートの国際的視野の拡大実感(80%以上)を目標とし、今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4	④	児童、生徒の派遣費補助事業	R6 ～ R13	児童、生徒の県内離島又は県外での、スポーツ及び文化的活動での競争や交流の場を増やし、児童生徒に広い視野を持たせる。	県外で開催される大会等へ参加する児童生徒への派遣に関する補助金支援	派遣後の児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 将来的に最終年度までの保護者アンケートの児童の視野の拡大実感(80%以上)を目標とし、今後も継続的に町内の児童生徒の県外及び県内離島派遣を補助し、児童生徒の視野の拡大を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 補助対象者の大多数の視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4	⑤	本部町内学校ICT機能強化事業	R7 ～ R10	児童生徒の情報活用能力を育成するため、町内小中学校に電子黒板を整備し、併せて体育館施設のネットワーク環境の整備し校内インターネット環境の強化を行う。	上本部小、中学校電子黒板導入、体育館アクセスポイント整備	児童生徒にアンケートを実施。「電子黒板等のICTを使った授業が分かりやすい」という回答が８０％以上	【今後のスケジュール】 今後も町内各学校に電子黒板等の整備を通して、教育の質の向上に取り組み、学習意欲の向上を図ることで町内の子どもたちの学力の底上げを図る。	【R7成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した児童生徒の大多数の理解に繋がったと考えられる数値として設定した。また、教職員等にもアンケートを実施し今後のICT機器の活用方法について検証する。
4	⑥	本部町内学校ICT支援員派遣事業	R7 ～ R13	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、町内の小中学校にICT支援員を派遣する。	町内各学校にICT支援員を派遣する。 小学校　４校 中学校　３校	児童生徒にアンケートを実施。ICTを使った授業が分かりやすい」という回答が８０％以上	【今後のスケジュール】 今後も町内各学校にICT支援員を派遣し子どもたちがICT機器に親しみやすい環境を整備する。また、教師に対してもICT機器の活用を促し教育の質の向上に取り組み、情報活用能力の育成を行うことで町内の子どもたちの学力の底上げを図る。	【R7成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した児童生徒の大多数の理解に繋がったと考えられる数値として設定した。また、教職員等にもアンケートを実施し今後のICT機器の活用方法について検証する。
5	①	低炭素なまちづくり推進事業	R5 ～ R8	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのＬＥＤ照明に切り替える。	照明設備調査設計業務発注　2件	照明設備調査設計業務の完了	【今後のスケジュール】 順次、公共施設等のLED照明への切り替えを行い、二酸化炭素の排出量を削減する。	【R8成果目標設定の考え方】 R8年度中に切り替える予定のLED照明の基数から二酸化炭素の削減量を算定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地危険生物駆除事業（ハブ駆除事業）	H24 ～ R13	観光客や地域住民のハブ咬傷被害防止を図るため、村内各地に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。 今年度はハブ捕獲機を460箇所に設置する。	村内各地へのハブ捕獲機設置数：450箇所	捕獲機設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数：0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲機設置エリアの見直し 1将来的な目標として	
1	②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターに観光案内人を配置する。またナビマップを製作し、観光情報の発信、観光客の利便性の向上を図る。	・観光誘客人の配置 ・観光案内人の配置 ・イベントの開催 ・プロモーションの実施 ・スポーツコンベンション事業 ・情報媒体の整備	①イベント入場者数：11,000人程度 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ250万人以上 ③観光客の利便性が確保されたか（80%以上）を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したＰＲ活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。 将来的な目標値として ①イベント入場者数：11,000人程度 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ250万人以上 ③観光客の利便性について、アンケートを実施し80%以上を維持とする。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 ・イベント入場者数は過去最高のＲ5年度の来場者を参考に会場の容量を考慮し設定した。 ・宿泊客数は過去の実績平均のおおよそ10%増を見込んで設定した。 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	特別支援教育支援員配置事業	R-1 ～ R-1	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率　100% 特別支援教育支援員配置数 幼稚園２園：４人 小学校４校：13人 中学校１校：４人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率：100% ・特別支援教育支援員配置数： 幼稚園4園：4人 小学校４校：10人 中学校1校：3人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、対象となる園児児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする園児児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。 将来的な目標として 対象園児児童生徒の大多数にとって困難の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」	【R6成果目標設定の考え方】 特別支援教育支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、園児児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	学校ICT支援員配置事業	R5 ～ R13	小中学校にＩＣＴ支援員を派遣し、教員がＩＣＴ機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図るとともに学校現場のＩＣＴを推進する。	・ICT支援員充足率：100% ・ICT支援員配置数： 小学校４校：2人 中学校1校：1人	ICT支援員の対応で教員の指導力向上が図られたか（80%以上）を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ICT支援員を継続的に配置し、教員がＩＣＴ機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図るとともに児童生徒のGIGA端末を活用し、学力の向上や人材育成を図る。 将来的な目標として 教員のICT活用指導力向上の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」を維持	【R6成果目標設定の考え方】 ICT支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、教員の大多数がICT活用指導力の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	④	日本語通級指導教室補助員配置事業	R5 ～ R13	外国籍児童の学習や学校生活の対応のため、英語の堪能な日本語通級指導教室補助員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・日本語通級指導教室補助員充足率　100% ・日本語通級指導教室補助員配置数 小学校１校：１人	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか（80%以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 日本語通級指導教室補助員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。 将来的な目標として 対象園児児童生徒の大多数にとって困難の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」を維持	【R6成果目標設定の考え方】 日本語通級指導教室補助員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	恩納村防災事業	H24 ～ R13	大規模自然災害が発生したと想定し各自治会、観光事業所等と連携し、避難訓練及び避難所運営訓練を実施する。又、防災倉庫や備蓄品を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	防災訓練の実施 防災倉庫の設置 備蓄食料等の整備	【防災訓練】 防災士数：3名 備蓄食料（主食）：備蓄率50.52% 備蓄飲料水：備蓄率 9.12%	【防災訓練】（R14予定） 村内事業所（GM会）、観光協会及び村内16自治会で防災訓練をとおし防災意識の向上を図り、村内16自治会に各2名、合計32名の防災士の育成、連携を強化する。 食料（主食）：約29,000食 備蓄率100% 飲料水：94,304ℓ 備蓄率100% 必要資機材等 沖縄県地震・津波被害想定調査結果より	【R6成果目標の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施していくことを成果目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	①	地域特産品等開発支援事業	R5 ～ R13	・地域資源を活用した商品やレシピの開発、販売促進を支援することで地域経済等の活性化を図る。	○開発事業者支援　５社 ○開発された商品の販売促進やレシピ開発に関する企画実施1回、来場者に対するアンケート ○販売促進に関するツールの製作及び関連施設への配布	○開発された商品　５品	【後年度の成果目標】 開発商品5品×8年間＝40件のうちふるさと納税返礼品への登録件数2品×8年間＝16件 【今後のスケジュール】 ○開発された商品の高付加価値化によるふるさと納税返礼品、ギフト商品への展開による消費拡大。 ○企画イベント等の来場者に対するアンケートによる消費者ニーズを事業者へフィードバックすることで新たな商品開発に結び付けることができる。	
5	②	恩納村産業まつり実施事業	R5 ～ R13	本村で生産される農畜産物・水産物・加工品・お土産品・観光物産等を一堂に展示、販売、村内外へPRし、生産者及び事業者の売上向上に資することを目的に「恩納村産業まつり」の開催に係る事業費を実行委員会に補助する。	産業まつりの開催（1回）	○来場者数　計4,500人以上	【今後のスケジュール】 前年度の地域特産品開発支援事業で開発された商品のPRを行う。	
6	①	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業	R5 ～ R13	本村の生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	スポーツ及び文化活動に係る、県外派遣費の補助	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか（保護者アンケート）：80%以上	【今後のスケジュール】 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力の向上心を図るため、スポーツ及び文化活動に係る県外派遣費を支援する。 将来的な目標として 自立や意欲、競争能力が向上したかの児童生徒へのアンケート調査を行い80%以上を目指す	【R6成果目標設定の考え方】 他市町村の類似事業参照

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
6	③	恩納村アメリカホームステイプログラム派遣事業	R5 ～ R13	次代を担う中・高生を民間企業提案のプログラムを活用してアメリカ合衆国へ派遣することで、国際交流推進の担い手となる人材育成を図るとともに、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する次世代の人材育成を図る。	アメリカホームステイプログラム派遣事業への派遣費を支援する。 【派遣人員：8名】 ①通常枠：5名 ②うんな中学校枠：２名 ③準要保護・要保護・生活保護世帯枠：１名	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合：80%以上	【今後のスケジュール】 今後もアメリカホームステイプログラム派遣事業派遣費支援事業を実施しすることで、生徒が異文化に触れる機会を創出し、国際的な視野を持つ人材を育成することを目指すために、派遣される生徒・保護者を対象に行うアンケートで、「帰国後、生徒の国際的な視野が広まった」と感じた割合が毎年80%以上となることを目指す。	
6	⑤	学力向上支援員配置事業	R5 ～ R13	授業における学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力、判断力、表現力等の育成のために、個に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに不登校状態の児童生徒や教室に入ることが難しい支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの特性や興味関心に応じて，個別最適で効率的な知識やスキルの習得、自立に向けた支援を行う。	・学力向上支援員充足率：100% ・学力向上支援員配置数： 小学校４校：４人 中学校1校：１人	各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差５%以内とする。	【今後のスケジュール】 学力向上支援員を今後も継続的に配置し、児童生徒の基礎・基本の学力の定着を図り、学習意欲の向上を図る。 将来的な目標として 各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差５%以内とする。	【R6成果目標設定の考え方】 文科省が全国水準の平均正答率を±５としているため。
8	①	恩納村施設型共同墓新築事業	R6 ～ R6	個人墓の散在化を予防し、土地の有効活用や墓主の負担軽減、景観悪化の防止のため施設型共同墓（納骨堂）を整備する。	施設整備工事の完了。	施設整備工事の完了	【R8成果目標】 利用割合：　30% 空き家からの位牌壇移動：3件 【今後のスケジュール】 R８：供用開始	【R8成果目標の考え方】 今後、各字区長や窓口、ホームページ並びに広報誌などで周知を行うが、これまで個人墓を持っていた人（家族）がお墓を移すことについて抵抗を感じる方は多くいると考える。その間、初めてお墓（施設型共同墓）を持つ（利用する）人の方が多いと考えられるため約30%と考える。 整備後も検証を行い、周知に努める。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	R4 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、テント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアーアーチ、パワーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場・総合グラウンド黒土搬入 ・野球場芝管理	・阪神春季キャンプ見学者数（80,000人）	【今後のスケジュール】 今後も人員配置やプロの競技環境の確保、受入体制の構築に取り組みキャンプ受入による観光誘客を図る. コロナ禍以降、減少している来場者数を毎年10万人程度、継続的に動員するため来場者の利便性及び安全性の向上を図る。 （令和5年度は日本一の効果もあり10万人を越えた）	【R7成果目標の考え方】 コロナ改善の実績とその他のイベント等の来場者数を参考にして設定した。
1	②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を8回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及び活動を4回以上行う。 【事業アーカイブ及び映像制作配信】 過去に開催した事業の写真や映像等の動画配信を3項目行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数（3,214人以上） ・お出かけ公演対象者数（3,347人以上）	【今後のスケジュール】 今後も文化振興及び魅力発信に取り組み、村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保を図ると共に、村外からの誘客を図る。 映像・芸術文化・伝統芸能公演 7,200人（目標） おでかけ公演 6,200（目標） ※具体的数値目標については、H28年～令和2年（新型コロナウイルス感染拡大前）の5年間平均の5%増を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1	③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R13	本村の魅力ある観光資源の発信を目的としたプロモーション活動を実施するとともに、観光プログラムの開発や観光イベントの企画、人材育成の強化など着地型観光の推進に向けた取組を実施する。	・観光誘客プロモーション活動の実施 ・観光プログラムの開発 ・イベントの開催（3回） ・外部専門家（アドバイザー）の招請	宜野座村の観光入客数 （ 23万人 ）	【今後のスケジュール】 観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施し、観光客230,000人以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 アフターコロナを見据え、R5年度の現状を勘案して設定。
1	④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	宜野座村農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント（伝統芸能等） ・会場設営 ・ＰＲチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数（15,320人/2日間）	【今後のスケジュール】 今後も花火の演出やイベントの充実化に取り組み、新規リピーター獲得に向けて観光誘客を図り、15,000人以上の来場者を目指す。	【R7成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑤	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R12	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	美化作業員配置　３名 事務職員配置　1名 雑草対策工事	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか（80%以上）を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も観光地として魅力的な景観形成を図り、アンケートにおける80%以上の満足度を継続出来るように事業実施に取り組む。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。
2	①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導を等を行う。	【学習支援員配置数】 ・松田小学校　2人 ・宜野座小学校　4人 ・漢那小学校　2人	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 小学校 5年・6年（算数）	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	【学習支援員配置数】 宜野座中学校　5名 （国語・社会1名、数学2名、理科1名、英語1名、）	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 中学校2年（国語・数学・英語）	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。（差0ポイント以上） 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者が安心・安全に園児を預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、村立３幼稚園において預かり保育を実施する。	・預かり保育員配置数 松田幼稚園　２名 宜野座幼稚園　４名 漢那幼稚園　２名	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか（８０%以上）を含め、対象園児の保護者へネットアンケートを実施し、本事業の在り方を検証。	【今後のスケジュール】 今後も幼稚園（幼稚園教育課程）と連携した保育や保育の質向上に関する研修取り組み、保護者が安心・安全に園児を預けることができ、育児における負担感の軽減を図る。	【R7成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が「安心・安全に園児を預けることができ、育児への負担感が軽減された」と考えられる数値として設定した。また、対象園児の保護者へアンケートを実施し、本事業の在り方について検証を行う。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に、中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	中・高校生6名を英語圏へ派遣	帰国後、保護者へアンケートを実施し、生徒の国際的な視野がより広まったか(８０%以上）を中心に、本事業のあり方を検証する。また、研修生OBへ追跡調査として、アンケートを実施し、本事業のあり方の検証を行う。	【今後のスケジュール】 今後も中高生を派遣し、広い視野をもった人材を派遣していく。	【R7成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる数値として設定した。また、研修生OBが事業に参加した経験が、現在どのように活かされているかも併せて、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	有機の里宜野座村確立事業	R4 ～ R12	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	①栽培指導回数　（４８０回） ②生産販売目標　（１１６ｔ）	①エコファーマー認定数　（　３名） ②エコ農産物販売目標　（１１６ｔ）	エコ農産物の生産拡大を図るため、継続して栽培指導及び販路拡大を行っていく。	【Ｒ６成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	作業員配置1名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去、解体 ・不法投棄防止看板の設置	・観光地における不法投棄件数：０件/年	【今後のスケジュール】 今後も不法投棄を減少させ、景観向上を図ることで、観光振興につなげていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R13	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。	・観光各所のパトロール：12回/月 ・ハブ捕獲器設置：村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除	観光客及び住民のハブの咬傷件数：０件	【今後のスケジュール】 今後も引き続き、来村者が安心して観光できるよう危険生物の駆除等を行っていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	①	宜野座村企業誘致促進事業	H28 ～ R13	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	①県内外のＩＴイベントへのＰＲブースの出展。 ②宜野座村への招聘セミナー及びワーケーションの実施。	①県内外のＩＴイベントへのＰＲブースへの来場者数。200名 ②宜野座村への招聘セミナー及びワーケーションの実施。 10名/5社	【今後のスケジュール】 過去に事業にて接触した企業へも積極的にフォローアップ営業をかけながら、成果目標達成に向け取り組みを行っていき一社でも多くの新規進出企業の獲得につなげていく。施設入居率を70%を目指していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	①	世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R13	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び、村民との交流を行う。	宜野座村出身者海外移住者子弟４名を招聘し、３ヵ月間の研修を実施する。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含めアンケートにより本事業のあり方を検証するとともに村人会へのアンケート調査も追加して本事業の成果を量る。	【今後のスケジュール】 今後も子弟研修生4名の受入を行い、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図る。また、事業実施中には、子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、研修生や村人会へのアンケート調査により検証する。
7	①	小中高キャリア教育支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 ・グッジョブ連携協議会の開催（2回） ・周知広報等の取組み（SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施）	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、産学官が連携して各学校のニーズにあったキャリア教育を支援し、児童生徒の就業意識の向上に取り組む。また、児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合80%以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
8	①	宜野座村新しい地域公共交通導入検討事業	R5 ～ R9	公共交通実証実験を行い、宜野座村内に居住する交通弱者の移動手段の需要を把握する。	実証実験実施による調査・分析及び地域公共交通計画策定に向けた調査	・交通弱者利用登録者累計 270名以上 ・実証実験実施による調査・分析及び地域公共交通計画策定に向けた調査の完了 主な調査内容 住民意向調査　約2,800世帯 アンケート回収　約280世帯 利用登録者OD調査　30名	【令和8年度以降方針】 ・令和８年度：事業の見直し及び改善、無償運行による実証実験、地域公共交通計画策定・分析・課題の整理、実証期間の検討 ・令和９年度：有償運行による実証実験、分析・課題の整理、５年間の実証実験を実施した結果の総括、実証期間の検討、本格導入可否の決定	【R7成果目標設定の考え方】 実証運行により、本村特有の課題を調査・分析し、計画策定の準備を行う。
9	①	防犯灯脱炭素化推進事業	R5 ～ R10	環境に優しく、脱炭素化に寄与するLED	城原区42台の既設防犯灯をLED照明器具へ切り替える。 （村内水銀灯および蛍光灯光源箇所を優先とする）	年間CO2排出量を脱炭素化工事前と比較して約6割削減	宜野座村内の防犯灯の脱炭素化を推進する。 【R8年度】城原区7台、福山区8台、松田区約170台、宜野座区　約170台 【R9年度】漢那区約200台、松田区82台、宜野座区34台 【R10年度】惣慶区152台、漢那区6台、福山区約80台　宜野座村約70台	R4年度に行った「宜野座村防犯灯省電力化実施設計」を基に算出した。 当該年度に工事が完了する翌年度に効果が発言するため、定量的な成果目標は翌年度以降に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	芝生の適正管理やグラウンド整備、受入体制の強化等により、プロ野球、プロサッカーキャンプの継続受入を図る。	プロ野球チームやプロサッカーチームの春季練習場として使用されている金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター及び金武町ベースボールスタジアムの芝管理やグラウンド整備により競技環境整備を強化することで、今後も継続してスポーツキャンプの受入れを図る。また、受入れ時の警備体制の強化や衛生環境を向上することで、受入れ体制の強化を図り、当該箇所への誘客を円滑にすることを目的とする。	プロスポーツキャンプを継続して受入れるための環境整備	【今後のスケジュール】 引き続き前年度と同様なプロチームの受入を行い、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	【R7年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	金武町観光振興等推進事業	R1 ～ R8	①観光誘客を図る。 ②イベント・観光物産PRによる認知度向上を図る。 ③滞在時間・日数の延伸を図る。	①イベントの開催：(1)ハーリー大会（6月：1日間）（２）たんぽフェスタ（7月：1日間）（3）ビーチサイドイベント（7月：１日間、11月：1日間　2回）(4)新開地フェスティバル（12月：2日間、2月：1日間 2回） ②観光物産PR等の実施：　(1)県内観光物産（7月・10月・1月：5日間　3回）　県外観光物産展　東京（5月：2日間）　山形・岩手（８月：１日間）埼玉・岡山（11月：1日間）（２）PRツールの作成・配布	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指す。	【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。	【R7年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3 ～ R7	金武町ベースボールスタジアムを活用した観光客誘客及び利用者の増加を図るため、周辺環境整備（外周道路整備・間知ブロック設置）の機能高度化を実現する。	○周辺環境整備工事（外周道路整備・間知ブロック設置）の完了	○周辺環境整備工事（外周道路整備・間知ブロック設置）の完了	【R８成果目標】 誘致団体数：６団体 【今後のスケジュール】 引き続きプロキャンプの継続した誘致、利用者及び観戦者の増加に取り組む。	【R８成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R13	雇用の拡大を図るため、求職者等に対する職業相談等を行う。また、求職者及び町内事業所の従業員のスキルアップのための各種講座を開催。児童・生徒の就職意識向上を図るため、キャリア教育を行う。	求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。 ①各種講座・講習 13回 ②キャリア教育　　8回 （小学校３回、中学校５回） ③合同企業説明会１回	①就活支援センターで就職活動した利用者へのアンケートを実施し、「就職活動に役立った」旨の回答割合が80%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心がわいたという回答が80%以上	【今後のスケジュール】 次回の国政調査までに、本町の完全失業率を沖縄県の完全失業率より下回ることを目指す。	【Ｒ７年度成果目標設定の考え方】 ・本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・資格取得率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。
2	②	観光地周辺環境美化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。	観光地へのアクセス道路及び公園（観光資源）の環境美化実施	本町が観光地としてふさわしい景観であるか（80%以上）を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 対象路線（26路線）を3回/年作業を実施する。 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	小中学校学習支援事業	H24 ～ R13	児童・生徒の学力（英語）の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	小中学校学習等指導員配置数　7名 （内訳） ○日本人英語指導員 小学校：2名 ○外国人英語指導助手 小学校：2名 中学校：2名 ○英語コーディネーター 教育委員会：1名	児童・生徒にアンケートを実施し英語の授業は楽しかったと回答した割合が90%以上	【今後のスケジュール】 引き続き小中学校へ日本人英語指導員及び外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置し、サポートしながら児童・生徒の英語への関心を高める。	【R7成果目標設定の考え方】 アンケートの結果（R5）を踏まえ設定した。
3	②	特別支援教育支援事業	H24 ～ R13	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面においてのサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置。	特別教育支援員配置数 19名 （内訳） ○幼稚園1名 ○小学校14名 ○中学校4名	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか（80%以上）を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員の配置をし、個々に応じたサポートを行う。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	③	金武町ハワイ短期留学派遣事業	R2 ～ R13	中学生・高校生（10人）及び引率職員（1人）をハワイへ派遣する。	○町内在住の中学生・高校生（10人）及び引率職員（1人）をハワイへ派遣 ○「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発刊（帰国後）	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか（80%以上）を含め、生徒へのアンケートにより、本当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き海外において異文化等を体験できる機会を確保し、人材の育成に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な広い視野が持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3	④	学校ICT教育推進事業	R6 ～ R10	双方向型のよりわかりやすい授業実施のため、既存のプロジェクター型電子黒板からテレビ型電子黒板に機能強化するとともに、ＩＣＴ教育支援員を派遣し、児童・生徒の学習習熟度の向上に寄与すること目的とする。	テレビ型電子黒板の整備 10台 ICT教育支援員配置数 ２名	児童・生徒にアンケートを実施し、テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかったと回答した割合が80%以上 教員にアンケートを実施し、ＩＣＴ教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと回答した割合が80%以上	【今後のスケジュール】 R7　電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 R8　電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 R9　電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 R10　電子黒板10台更新 ICT教育支援員2名配置 ※年度ごとにアンケートを実施し、その効果を確認する。	【R7成果目標設定の考え方】 テレビ型電子黒板へ更新したことにより既存のプロジェクター型電子黒板よりも画面の明瞭さが改善され授業がわかりやすかったと回答した割合が80%以上とした。 ICT教育支援員を配置したことによりICT機器を授業に活用できるようになったかどうかを計るため、習熟度が上がったと回答した割合が80%以上とした。 80%以上の設定については、概ね肯定的な意見としての数値を設定した。
3	⑤	教育相談ネットワーク事業	R7 ～ R13	何らかの不安や緊張感などから登校したいけど出来ない児童・生徒を支援するため、教育相談員及びスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置	教育相談員1名　配置 スクールソーシャルワーカー1名　配置	30日以上欠席した児童生徒で学校が不登校としたもの 不登校出現率：3.5%以下	【今後のスケジュール】 教育相談員及びスクールソーシャルワーカーを適宜配置し、家庭における問題の相談・解決や不登校の児童生徒の解消に努める。	【R7成果目標設定の考え方】 R4年度及びR5年度の町立学校の不登校の状況を勘案し、今後の取り組みに向けての目標として設定した。
4	①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業	H29 ～ R13	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	受入人数：３人 研修期間：８月～１２月の間 研修報告（閉講式）：１回	研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き伝統芸能等の文化教養の継承及び人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材を育成し、本町との交流への活動参加人数を前年度比１００%以上にする。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 各国金武町人会の会長及び役員等へアンケートを実施し、当該事業のあり方を検証できるものとしている。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R13	本村に生息するハブによる健康被害から村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 ・捕獲器25基設置 （週1回の巡回） ・村民や観光客への注意喚起	ハブ咬傷による健康被害0件	【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備や注意喚起を継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手１名分の運賃補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
3	①	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を購入し、花の島づくりを推進する。	ゆりの植栽 テッポウユリ　52,000球 世界のゆり　38,000球	令和7年度第28回伊江島ゆり祭り来場者数 R7年　20,000人	【Ｒ７成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 （Ｒ7目標　20,000人）	※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H30：26,000人 H31：36,000人 R2　：中止 R3　：中止 R4　：4,500人 R5　：28,000人 R6　：12,300人
3	②	観光地クリーン事業	H27 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 城山周辺、リリーフィールド公園、ミースィ公園、伊江港周辺、ニャティヤ洞、湧出、青少年旅行村、芳魂の塔	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげるべく、観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標(指標)	R7成果目標(指標)	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	③	観光誘客整備事業	H26 ～ R13	県内外のイベントに参加し、本村の魅力を発信することで観光誘客を図る。また、夏場の観光客を呼び込むため観光誘客イベントの実施しや、観光誘導サイン整備を実施し来島者の満足度向上を図る。	・観光インフォメーションの配置 ・県外プロモーション活動 ・観光誘導サイン整備工事	・伊江村の入域観光客数10万人 ・観光客の利便性確保（アンケート満足度80%以上）	【R7年度成果目標】 ・伊江村の入域観光客数　10万人 ・観光客の利便性確保（アンケート満足度80%以上）	【R7成果目標設定の考え方】 本事業の目的である利便性（満足度）が確保されたかどうかを含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上とした。
3	④	ゆり祭り活性化推進事業	R1 ～ R13	村の一大イベントである伊江島ゆり祭りを活性化させるため、祭りイベントの企画・運用及び会場までの無料送迎バスを活用した取り組みを行う。伊江島ファンを増やすことで、根強い魅力ある祭りへ展開することができる。	・４月初旬までにゆり祭りイベント委託業務の発注 ・４月初旬までにゆり祭り会場等送迎バス運行委託業務の発注	令和６年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数より R7年　20,000人	【R7成果目標】 イベント企画・運用及び送迎バス等による来場者数の増 （R7目標　20,000人）	※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H30：26,000人 H31：36,000人 R2　：中止 R3　：中止 R4　：4,500人 R5　：28,000人 R6　：12,300人
4	①	確かな学力を育む学習支援員配置	H25 ～ R13	学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・学習支援員の配置 小学校（2校8人配置） 中学校（１校4人配置）	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取り組みを継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
4	②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	各種大会派遣費の助成：1,550人	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後の展開) 派遣費助成人数(累計) R13年度末時点：約15,500人	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられえる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
5	①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R13	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への習得や就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。	・小学生41名　中学生110名 ・村内企業訪問・村外企業訪問1回 ・職業人講話2回	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	大多数の児童生徒（80%以上）に就業意識の向上が図られるよう展開していく。	【R7成果目標設定の考え方】 自動生徒の就業意識向上が目的であるため、大多数の児童生徒が目的達成したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。

R7活動目標(指標)：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標(指標)：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R7	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	整備工事の実施	整備工事の実施完了	・施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象者のうち大多数が平和学習の促進が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7	①	ICT支援員配置事業	R3 ～ R7	教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図る。 また、教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業や学習教材等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合（80%以上） ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合（80%以上）	【R7年度成果目標】 ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分　かりやすかったと答えた割合が80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図れるよう展開していく。	教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図ることを目的としているため、児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上。 教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上。とする。
8	①	ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4 ～ R7	ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	ひとり親家族等に対して利用料を減免した学童保育施設に対し、補助を行う。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか（80%以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き利用者への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
9	①	伊江村循環型農業促進事業	R4 ～ R7	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行う事で循環型農業の促進を図る。	・ホイールローダー購入	堆肥製造量 R7年　3,000ｔ	【成果目標】 堆肥製造量 R5：2,500ｔ R6：2,500ｔ R7：3,000ｔ	【R7成果目標設定の考え方】 過去３ヵ年の製造量実績の平均値を上回ることを目標として設定した。 【販売実績参考】 R4:2,477t R5:2,606t R6:2,800t（予定）

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
10	①	優良繁殖雌牛預託増頭支援事業	R5 ～ R7	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛（雌子牛・初妊牛）をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。	優良繁殖雌牛（子牛・初妊牛）の計画導入補助：６０頭（年間）	活動目標指数（年間：６０頭導入）の達成 （優良繁殖雌牛を６０頭導入し、繁殖雌牛飼養頭数拡大及び優良遺伝素牛の増加が期待され、子牛市場上場頭数の拡大及び伊江村畜産総合施設の利用促進を図る。）	事業実施前における伊江家畜市場への子牛出荷実績から、事業最終年度の令和７年度に上場頭数の10%増加を目標とする。 （期待される事業効果） ・家畜市場開設時の子牛上場頭数の増加 ・優良血統交配牛の地場増産 ・村内和牛ブランドの確立（伊江島牛） ・繁殖雌牛群の飼養頭数増加 ・「伊江村畜産総合施設」の利用促進	「伊江村畜産総合施設」とは、令和５年４月１日から開設した生産者から母牛及び子牛を受託し、預託管理を実施することによって、生産者が施設預託することにより、自らの牛舎施設に空きスペースが生じ、新たな繁殖雌牛を導入又は保留し、自牛舎の面積はそのままに、総合施設を利用しながら多くの繁殖雌牛を飼養することが可能となっている。 繁殖雌牛預託頭数：３３６頭規模 子牛預託頭数：３２４頭規模
11	①	伊江村山羊振興対策事業	R7 ～ R9	・山羊生産組合の輸送コスト削減を目的に、家畜運搬車を整備することにより、複数頭の山羊を効率的に運搬でき、輸送コストを低減を図る。 ・優良山羊種畜の導入補助を行い、村内山羊生産の拡大や優良種畜の増頭が進み、地域畜産業の振興となる。	・優良種畜山羊（雄・メス）の導入補助：20頭（年間） ・Ｒ８年セリ市場への出荷頭数10頭増（50頭→60頭）	・優良種畜山羊（雄・メス）の導入：20頭（年間） ・Ｒ８年セリ市場への出荷頭数10頭増（50頭→60頭） ・村内農家のセリ平均価格が10%増を目指す。	山羊生産事業を促進するために、優良種畜を導入することにより、繁殖生産基盤の拡大を図ることで、新たな産業としての位置付けと、古くからの沖縄の食文化である山羊生産振興に努める。 事業実施前における年間セリ市出荷頭数の実績から、令和８年度に出荷頭数が20%増加を目標とした。 ・【成果目標】 セリ市場輸送頭数 Ｒ８年60頭 Ｒ９年60頭 R10年60頭 ・前年度までの過去３年間の輸送実績以上の輸送出荷量を達成する。 ・優良山羊導入による村内農家の平均価格を県内平均価格まで引き上げる。	・事業実施前における年間セリ市出荷頭数の実績（R5年度50頭）から、令和８年度に出荷頭数が20%増加を目標とする。 セリ市場輸送頭数 Ｒ８年60頭 ・村内農家セリ平均価格の10%上昇。
12	①	伊江村立聖苑施設機能強化整備事業	R7 ～ R7	本施設の機能が強化されることにより、村民があまねく故人を偲び、心の安らぎを願う魂のふるさととして取り組む	施設全体の機能強化を図り、無煙・無臭で明るい空間を維持しつつ、より環境に配慮した運営を可能にする。さらに、長期的な施設の持続可能性を確保し、施設の信頼性と利便性を向上させることで、住民の安心・安全な生活環境をつくる。	・伊江村立聖苑施設機能強化実施設計業務 ・伊江村立聖苑施設機能強化工事監理業務 ・伊江村立聖苑施設機能強化火葬炉設備工事 ・伊江村立聖苑施設機能強化空調設備工事	・伊江村立聖苑施設機能強　　化実施設計業務 ・伊江村立聖苑施設機能強化修繕工事監理業務 ・伊江村立聖苑施設機能強化火葬炉設備修繕工事 ・伊江村立聖苑施設機能強化空調設備修繕工事	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	危険生物駆除事業	H25 ～ R13	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器300器設置 ・定期的な巡回・管理の実施及び処分 ・餌用マウスの飼育（繁殖）管理 ・危険周知看板100枚の管理	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数：０件	【今後のスケジュール】 咬傷被害場所や、設置箇所における捕獲数等を参考に、設置箇所の変更等柔軟に事業を執行し、個体数の減少、咬傷被害０件を目指す。	
1	②	読谷村スポーツコンベンション促進事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施し、観光誘客を図る。	・各種スポーツキャンプ等誘致活動（３回） ・キャンプチーム本拠地等での観光誘客活動(３回以上) ・キャンプ期間中の集客イベントの実施(1回以上) ・受入体制強化・協議会運営	・スポーツコンベンション受入件数・・・18件以上 ・県外誘客イベントPR観客数・・・48,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数・・・20,000人以上	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ等について、新規及び継続的なチームについて誘致を行い、地域への波及効果の最大化を図るために受入体制の強化も行う。また、県外においてファン層等に向けた観光・物産のPRイベントや一年を通した情報発信を行うことで、村内への誘客を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	③	農村風景環境保全事業	R6 ～ R13	観光地周辺道路等の環境保全（除草・清掃）を行い、本村の魅力ある沖縄らしい農村風景を保全・活用することで、快適で魅力ある観光地づくりを図る。	・除草：農道L=4,850m、防風林帯L=4,850m、沈砂池S=7,500㎡ ・清掃：農道L=4,850m、防風林帯L=4,850m、沈砂池S=7,500㎡	農村環境について、観光地としてふさわしい農村風景になっているかについてアンケート等実施。観光地としてふさわしいと回答した割合80%を目標とする。	【今後のスケジュール】 魅力的な観光地としての農村景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や観光関係団体等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	④	読谷村陸上競技場機能強化事業	R7 ～ R9	読谷村陸上競技場の機能強化により、利活用の向上を図るとともに、スポーツコンベンション誘致の一層の充実を図る。	・実施設計の実施	・実施設計の完了	【R10成果目標】 ①スポーツキャンプ受入数５回以上を目指すとともに、少なくとも陸上チームの受入れを１チーム、プロサッカー若しくはラグビーチームの受入れを１チーム以上目指す。 【今後のスケジュール】 R７：実施設計・機能強化工事 R８：機能強化工事 R９：機能強化工事 R９：供用開始（R9.12月予定）	【R10成果目標設定の考え方】 読谷村陸上競技場の機能を強化させることにより、施設の利活用が向上したことを客観的に評価するため設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するための支援員を配置する。	・村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 ・村立5幼稚園：各1人 ・村立5小学校：各2人 ・村立2中学校：各2人 ※必要に応じて支援人の配置に変更あり ・村立幼稚園、小中学校に26名の特別支援ヘルパーを配置 ・教育委員会に特別支援教育専門員を2名配置	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。
2	②	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。	村内在住の中学生を英語圏へ派遣	【保護者を対象としたアンケート】帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以上	【今後のスケジュール】 継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。
2	③	人材育成施設整備支援事業	R6 ～ R7	本村が「知の拠点」として建築中の（仮称）読谷村総合情報センターに、科学の持つ可能性を引き出す沖縄科学技術大学院大学（OIST）スペースを創設する。	人材育成施設整備費用に係る補助	補助の完了	【R8成果目標】 年間利用者数10,000人 【今後のスケジュール】 R6：実施設計の補助 R7：工事監理・建築工事の補助 R7：供用開始（R7.10月予定）	【R8成果目標設定の考え方】 （仮称）読谷村総合情報センターの目標来客者数を参考に設定した。
3	①	沖縄語（しまくとぅば）保存継承事業	H25 ～ R13	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベース及び辞典などを作成・公開する。併せてそれらを活用し講座や普及・継承活動を実施する。	①HPへ単語・民話・音声の追加・追記と公開 ②辞典作成・発刊（収録語彙数約14,000語、写真、イラスト収録、総頁数約1,100頁） ③講座実施回数80回 ④普及・継承活動実施	①HP総表示回数：9万件以上 ②300部発行。村内学校・各自治会、県内資料保存機関へ配布 ③総受講者人数950人及び講座満足度80%以上 ④コミュニティFMや村広報での周知、自治会や各種団体での周知など20回以上	【今後のスケジュール】 これまで村が長年取り組んできたしまくとぅばや民話資料の収集・保存に関する取組の集大成として体系的なしまくとぅば辞典を令和7年度発刊。 講座は、需要が高まっており、質量ともに向上に努め、しまくとぅばに親しむための普及活動とともに日常的に用いることができるような実践的講座を展開していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ①HPの総閲覧回数。R6年度目標値、推定実績値と同等。 ②村内学校、地域での利活用と資料保存、普及の観点から県内資料保存機関（図書館等）へ配布 ③講座実施回数、受講者数：質量を担保するためR6年度と同等。 ④R6年度と同等。広報活動。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	②	歴史資料の整理活用事業	R4 ～ R13	沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。また、貴重資料や閲覧需要が見込まれる資料から順次デジタル化、データベース化をすすめ公開する。	①村史編集室およびユンタンザミュージアム収蔵貴重資料のデジタル化及びファイリング（1970～80年代民俗学的調査に関する写真など）。 ②戦後村復興に関する貴重資料をHPへ追加、公開。 ③収蔵資料の整理、目録化。 ④収蔵図書（資料）のOPAC構築および公開。 ⑤令和5、6年度作成HP（広報DB、戦後復興資料DB、読谷まつりDB）運用。	①デジタ化写真点数約12,000点。 ②公開資料点数200点。 ③村史編集室およびミュージアム収蔵図書・資料約1万点。 ④OPACへの図書（資料）登録3,000件以上。 ⑤HP総表示回数1万回以上。利用満足度80%以上。	【今後のスケジュール】 所蔵資料の整理を進める過程で貴重資料あるいは資料の閲覧需要が見込まれると位置づけられた資料のデジタル化や公開を順次行う。 今後は構築、公開したデータベースへの資料追加のほか、需要が見込まれる写真資料のデータベース公開などを目指す。 併せて事業の成果を活用した村の歴史・文化の普及、発信にも取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 ・①概算したデジタル化可能資料件数。 ・②概算したHP公開可能資料点数 ・③令和6年度と同等に設定。 ・④試算した公開可能資料点数。 ・⑤令和5、6年度公開HPの総閲覧回数。令和5年目標値8,000回の約1.25倍に設定。HP上での実施アンケートで読谷村の歴史・文化への理解が深まったと回答した割合。
3	③	フィールドミュージアム整備活用事業	R5 ～ R13	グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、世界遺産座喜味城跡へと続く沖縄・読谷村の歴史と魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用することで、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。	基本設計の実施	基本設計の完了	【R９成果目標】 「大湾アガリヌウガン遺跡を訪れた人数：10,000人」 【今後のスケジュール】 【大湾アガリヌウガン遺跡】 令和５年度：用地購入 令和６年度：基本設計 令和７年度：実施設計 令和８年度：整備工事 令和９年度：供用開始 【村全域】 令和９～13年度：フィールドミュージアム整備・活用	【R９成果目標設定の考え方】 「関連施設への周遊起点として、新たな文化観光施設としての活用を図ること」を検証するため設定した。
4	①	読谷村工芸品県外等プロモーション戦略事業	H26 ～ R7	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外へマーケティングやプロモーションを行う。	・県外PR及びテストマーケティング（３回） ・観光客向け県内プロモーション（３回） ・周知用媒体ツール（琉球ガラス・ヤチムン冊子、パンフレット）の作成。多言語版も引き続き作成。	①テストマーケティングによる売上額521,818円 ②読谷やちむん市でアンケートを行い、県外の「初来場」回答者数120人 ③名古屋テストマーケティングによる来場者数1000人	・国内のPRも継続して実施し、認知度向上を目指す。	・WEBやちむん市も観光入れ込みが回復してきたことにより、WEB需要の減少。現地消費増加により生産が追い付かない状況があるため、次年度は実施しない。、

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	①	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1～R7	読谷補助飛行場跡地（大木地区）の土地利活用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	崖地対策工事の実施	区画整理地の開発可能区域増　約1,781㎡	【今後のスケジュール】 今後も引き続き大木土地区画整理事業に取り組み、読谷補助飛行場跡地「大木地区」の土地利活用を促進する。	【R7成果目標設定の考え方】 崖地により影響を受ける区域の面積を用いて設定した。
5	②	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備事業	H26～R11	悲惨な戦争を引き継ぐとともに、ガマという特徴的な自然資源を保全し、均衡のとれた整備・保全により、戦跡・平和学習を核とした総合的な学習の場として新たな観光地づくりを図る。	整備実施設計の実施 土地境界確定測量の実施	整備実施設計の完了 土地境界確定測量の完了	【R12成果目標】 「シムクガマ戦跡・カー森広場を訪れた人数：9,000人以上」 【今後のスケジュール】 令和６年度：基本設計 令和７年度：実施設計及び土地境界確定測量 令和８～10年度：用地購入 令和11年度：整備工事 令和12年度：供用開始	【R９成果目標設定の考え方】 H26年度策定の「楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画」で設定した入込目標を基に設定した。 ※H26年調査時の現在の入込数　約5,800人
5	③	読谷村駐留軍用地跡地「瀬名波通信施設」廃棄物処理事業	H30～R11	読谷村駐留軍用地跡地（瀬名波通信施設）において、令和４年度より県営土地改良事業が実施している。しかし事業を実施するにあたり、土中等から廃棄物が発見され、返還跡地利用が阻害されているため、廃棄物処理を行う。	廃棄物処理の実施	廃棄物処理（12ha)の完了	【R10成果目標】 農用地として利用可能になった面積 42ha 【今後のスケジュール】 廃棄物処理により瀬名波通信施設跡地の工事が円滑に進み、亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興につながる。	【R7成果目標設定の考え方】 県営土地改良事業の施工でできた農用地面積を用いて設定した。
5	④	瀬名波通信施設跡地（非農用地）利用推進事業	R3～R6	瀬名波通信施設跡地の振興及び非農用地の早期着工に取り組むため、開発許可申請の手続きを行い、現在施工中の県営土地改良事業（農用地）との一体的跡地利用（田園都市形成）を推進する	開発許可申請の実施	開発許可申請の完了	【R7成果目標】 整備可能になった非農用地面積　15ha 【今後のスケジュール】 開発許可申請の手続きが完了次第、不発弾探査や整備工事等早期着工に向けて取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 開発許可により、整備可能になった非農用地面積を用いて設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	かんしょ生産振興事業	R5 ～ R7	特産品である紅イモの安定した生産体制を確保するため、かんしょ生産に係る機械を整備する。	農業用機械の運搬車の整備　１台	農業用機械の運搬車の整備完了　1台	【R8成果目標】 R5年度比 ①生産農家数　５%増 ②作付面積　１ha増 【今後のスケジュール】 R5年度：農耕用機械（トラクター）の整備 R6年度：自走式収穫機（ハーベスター）及び高圧蒸気滅菌器の整備 R7年度：農業用機械の運搬車の整備（運用スケジュール） 導入次第順次運用を開始する。	【R8成果目標設定の考え方】 整備した農業用機械を活用したことによる生産体制の確保に対する客観的な評価を図るため、生産農家数及び作付面積を指標に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	観光プロモーション事業	R3 ～ R13	観光誘客を図るため、観光関連イベント等においてプロモーション活動を行う。また、より効果的な観光PRを展開するためプロモーションツールの改訂を行う。	・観光イベントへの出展（８回） ・誘客イベントの実施（２回） ・観光PR動画、ガイドブックの制作	町入域観光客数　587千人 誘客イベント来場者数　6千人	【今後のスケジュール】 今後も魅力的な観光情報を発信し、本町を知ってもらう機会を創出し、成果目標達成に繋げていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	スポーツツーリズム推進事業	R5 ～ R13	プロスポーツチームのキャンプやスポーツ大会などを誘致し、飲食業、地域の特産品などを促進し、地域全体の経済活動を活性化させることを目的とする。	・プロスポーツキャンプの誘致 ・スポーツコミッション連絡協議会の設立。	・プロスポーツキャンプ誘致　1団体 ・プロスポーツコミッション連絡協議会の設立	【今後のスケジュール】 R7-R14 ・受入競技団体の誘致活動 ・スポーツツーリズム連絡協議会活動実施。	
2	①	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学習内容の定着状況に応じた学習支援を行う。	学習支援員の配置数 小学校：6人 中学校：3人	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校：県平均並み、それ以上 中学校：県平均-3ポイント以内 沖縄県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒減少 小学校：正答率30%未満の児童の割合が県平均より低いこと 中学校：正答率30%未満の生徒の割合が県平均より低いこと	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、「県の正答数に満たない児童生徒」へ重点的に支援するとともに、対象者に合わせた補習の内容の工夫や対象者を明確にして関わる職員で共有することで、支援の効果性を高め小学校平均正答率県平均並若しくはそれ以上、中学校：県平均-3ポイント以内を目指す。 沖縄県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒減少を目指す。 小学校：正答率30%未満の児童の割合が県平均より低いこと 中学校：正答率30%未満の生徒の割合が県平均より低いこと	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	英語力強化事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英会話指導員の配置数 小学校：２人 中学校：１人	英語に対する興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、英語に関する意識調査により本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 〈小学校〉 学級担任が授業のなかで英会話指導員（ALT）をモデルとして会話等を例示したり、児童のアウトプットを中心とした授業への転換を強化しアンケートにて英語への関心を８０%高めることを目標とする。 〈中学校〉 授業の中で英会話指導員（ALT）と教科担当教師との会話等を適切に例示したり、生徒のアウトプトの機会を多くする実用的な英語学習の充実の強化を図りしアンケートにて英語への関心を８０%高めることを目標とする。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	③	生徒指導強化事業	H24 ～ R13	居場所づくりや登校支援を中心として、対象児童生徒への支援の充実を図るために小中学校へ生徒指導支援員を配置する。 また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等等とのネットワークを構築するために教育委員会へスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置する。	生徒指導支援員　配置数：2人 スクールソーシャルワーカー（SSW）　配置数：１人	不登校出現率 ・小学校1.9%以下 ・中学校5.7%以下	【今後のスケジュール】 各学校の不登校の実態や要因を把握し、不登校につながっている要因のアセスメントをおこない、要因に合わせた対応をおこなう。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等等とのネットワークを構築し不登校出現率の目標値を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	④	秋田交流学習体験事業	H26 ～ R7	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、講話や授業研究会を通して、教職員の研修を行う。	＜秋田県への派遣＞ 児童生徒：２０人、教員：９人 ＜秋田県からの招聘＞ 教員：３人	①派遣された児童生徒へのアンケート ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたと回答 ②授業改善に関するアンケート ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組んでいると回答	【今後のスケジュール】 招聘教員による公開授業や派遣交流事業の報告会を行い、大館市の取り組みやおおだて型探究授業のよさを共有し、各学校の授業改善を図り、アンケートで「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたと回答を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 ①派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ②大館市で展開されている「子ども達の学び合いを核としたおおだて型探究授業」が、本町の「嘉手納の探究型授業」に生かせるように、授業改善への意識化を図るためにアンケートを実施し、本事業の効果を検証することとした。
2	⑤	特別支援教育支援事業	H28 ～ R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行う。	支援員の配置数 小学校：14人 中学校：6人	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置するとともに研修の内容において、具体的な多様な支援方法について充実を図り、アンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を目指す。	【R７成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	⑥	プログラミング力育成事業	R5 ～ R10	情報通信関連産業と連携し、プログラミング出前講座を放課後時間に実施し、プログラミングの仕組みや思考を体験することによりプログラミング力を養い、プログラミングへの興味関心を高めることで、論理的思考力の習得やＩＣＴに親しむ機会を創出する。	町立小学校と町公共施設にて、情報通信関連産業によるプログラミングの出前講座を125回以上の開催。 町公共施設にて、産業団体によるSTEAM教育講座54回以上の開催。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミング等への興味関心が高まったか（８０%以上）など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証し、講座の難易度などを習熟度をとおして充実を図る。	プログラム思考の習得度、プログラミングへの興味関心が高まったか（８０%以上）など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証し、講座の難易度などを習熟度をとおして充実を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針やさらなる充実のために、ニーズ調査を実施する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	⑦	嘉手納町の沖縄戦資料保存事業	R6 ～ R7	戦後70年以上経過し、戦争体験者が少なくなる中で、戦争の悲惨さや平和の大切さを後世へ伝えていくため、戦争体験者が語る記録映像及びパネル、レプリカ制作を行う。	・19名の映像編集及びDVD制作。 ・レプリカ制作を行う。	・映像編集及びDVD制作の完了。 ・レプリカ制作の完了。	沖縄戦の実相や平和の尊さについての継承を図るため、製作物を活用した企画展や学習会に参加した方の理解度80%以上を目指す。 【Ｒ７】 ・DVD制作 ・レプリカ制作 【Ｒ８】 ・企画展、学習会を開催予定	本事業の効果をアンケート調査により確認する。
2	⑧	嘉手納町史企画展パネル等制作事業	R7 ～ R8	令和８年１月１日に嘉手納町が町制施行50周年を迎えるにあたり、町に関する資料等を改めて収集・整理し企画展等実施することで町が歩んできた歴史を振り返り、その認識を深める。	・パネル制作 ・音源フィルムデジタル化	・パネル制作の完了 ・音源フィルムデジタル化完了	【R7年度】 ・パネル制作 ・音源フィルムデジタル化 【R8年度】 ・企画展開催 ・図録制作及び配布	※R5年度類似事業の実績による
2	⑨	文化振興施設機能向上事業	R7 ～ R7	平成20年度に設置された中央公民館音響設備はアナログ機器となっており、現在のニーズに対応するため音響設備のデジタル化を図り施設利用者の利便性の向上と施設の機能向上を図る。	・音響機器導入一式（音響調整卓、パワーアンプ架、各種スピーカー等）	・音響機器導入完了	【R8年度成果目標】 ・中央公民館ホール利用者数：18,000人 ・利用者アンケートによる利便性調査を実施し、利便性が向上したが８０%以上 【今後のスケジュール】 施設の機能向上のPRを行い、音楽イベント等の集客に努める。	【R8年度成果目標設定の考え方】 ・来場者数については、R5実績1.2万人から約50%の増を見込んでいる。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	①	雇用促進事業	H25 ～ R13	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設　90日	①相談者のうち就職が決まった人数：8人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合：2.4%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった（内定を得た）人数。支援後の後追い調査（年２回）で確認。	【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R13	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の回収及び再資源化（チップ化）の実施	草木の資源化率100%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。 【将来的な目標】 草木の再資源化率　100%を継続して続け、再生可能なまちづくりに繋げる。	【R7成果目標設定の考え方】本事業 によってごみ処理施設及び最終処分場がどの程度長寿命化されたかを計測することは困難であるが、本町から排出される草木が再資源化されることで確実に施設の長寿命化に資することから、排出された草木ごみ全てを再資源化（チップ化）することを指標として設定した。
5	①	避難施設防災機能強化整備事業	R5 ～ R12	沖縄県は島嶼県であり、自然災害による被害も多いことから、町民や観光客等の災害時の安全確保を図るため、防災非常食等の計画的な導入を図る。	町内の避難所等における備蓄品等の必要数量の整備を計画的に行う。 〇食料等の整備 ・備蓄食料　4,090食 ・保存水（2L）　225本 ・保存水（500ml）　8,100本	年１回以上防災訓練及び防災啓発活動等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合：「80%以上」	〇町内の避難所等へ町内避難者及び観光客避難者等の非常食料等を整備 ・備蓄品の更新を年次的に行い、大規模災害等に備える。	備蓄食料等整備計画に基づき設定。
6	①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R10	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	嘉手納町道路照明設備のLED化	R10年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果を設計後に算出し設定する。	【今後のスケジュール】 今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標（3,538,159ｋｇ-CO2）の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進する。	【R10成果目標設定の考え方】 既存照明をＬＥＤ化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	北谷町観光統計調査事業	R5 ～ R13	観光統計データの整備及び効果的な観光振興施策実施を図るとともに、町内観光関連事業者の事業推進に資するため、本町を訪れる観光客の動向等を調査・分析して実態を把握する。	・観光動向分析調査業務の実施	成果報告会への延べ参加者数：40人以上	【将来的な成果目標】 成果報告会への延べ参加者数：100人以上 ※一般社団法人北谷町観光協会の正会員数（R6.12時点）を参考 【今後のスケジュール】 R7～R13　北谷町観光動向分析調査業務の実施	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	第2次北谷町観光振興計画策定事業	R6 ～ R7	本町の観光の現状や課題の分性を行い、今後の観光振興の方向性を示す第2次北谷町観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	第2次北谷町観光振興計画の策定	第2次北谷町観光振興計画の策定	第2次北谷町観光振興計画に基づく各種施策の実施	各種施策の実施において、だれがいつまでに何をの視点により実施の進捗を確認しながら推進する。
1	③	北谷町スポーツコンベンション促進事業	R7 ～ R7	プロ野球キャンプチームの本拠地等でファン層に向けた観光PRを実施し、観光誘客を図る。	(1)公式戦におけるスポンサーゲームの実施 ア　バンテリンドーム内ビジョン及びデジタルサイネージを活用した観光PR動画の放映 イ　始球式及び本町特産品を活用した記念品贈呈式の実施 ウ　本町青年会を活用したエイサー演舞 (2)ナゴヤ球場での観光PR ア　ナゴヤ球場外野フェンスへの宣伝広告の実施 (3)中日ドラゴンズ公式WEBサイト及びSNSを活用した観光PR	愛知県からの観光客数（年）200,000人以上	各月の観光客数を分析し、閑散期をより明確にし、必要なタイミングでの観光PRへと繋げる。	2023年北谷町観光統計調査を基に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	④	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R7	観光客が多く訪れるサンセットビーチの環境改善や機能拡充を実施することで、更なる観光誘客の促進を図る。	R7　改良工事（園路工、照明工、植栽工）	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、照明工、植栽工の竣工。	【R8年度成果目標】 ・サンセットビーチ利用者数 33万人/年 【今後のスケジュール】 R7　改良工事（園路工、照明工、植栽工） 竣工	サンセットビーチ利用者数実績 H25　322,850人（最大数） H26　274,229人 H27　251,480人 H28　208,450人 H29　264,510人 H30　214,590人 R1　278,220人 R2　116,047人 R3　97,388人 R4　138,905人 R5　200,355人
1	⑤	安良波公園整備事業	R6 ～ R8	人気スポットである安良波公園の園路を拡張し、利用する観光客や地元住民らの利用者による混雑を解消することで、安心して利用できる環境を整え、更なる観光誘客を図る。	R7整備工事（園路工、排水工、照明工、植栽工）	整備工事のうち、園路工、排水工、照明工、植栽工の竣工。	【R9年度成果目標】 ・安良波公園利用者数 54万人/年 【今後のスケジュール】 R7　安良波公園整備工事 R8　安良波公園整備工事	安良波公園利用者数実績 H26　454,705人 H27　436,114人 H28　437,921人 H29　407,585人 H30　412,832人 R1　343,001人 R2　205,727人 R3　261,778人 R4　495,854人 R5　463,508人 ※R4利用者数について、R3のインディアンオーク号・バスケットコート改修とコロナ明けのため、過去最大となった。
2	①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R13	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手（AET）を配置する。（隣接する幼稚園兼務） 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を派遣する。	小学校4名（各校1名、幼稚園兼務） 中学校2名（各校1名）	小学校：児童の英語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校：沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差1.2ポイント以上	引き続き英語指導助手を配置する。	【R7成果目標設定の考え方】 小学校：対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校：過去実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ R13	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置：2名	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	日本語指導学習支援員を継続して配置し、日本語指導が必要な児童生徒の早期の困り感解消に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。
2	③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名（計6名）配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	小学校4名（各校1名） 中学校2名（各校1名）	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校　±0.0ポイント 中学校 △1.4ポイント以上	学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（80%以上）を目指す。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	引き続き町内中高生をハワイ州に派遣し語学等研修及び人材交流を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
3	①	特別支援教育支援員派遣事業	R6 ～ R13	町立幼稚園及び小中学校に在籍する特別な支援が必要な幼児児童生徒について、学校生活や学習活動上の支援を行うため支援員を派遣する。	幼稚園　各園1～2名 小学校　各校4～6名 中学校　各校2～3名	特別支援教育支援員の派遣により、学校生活や学習活動における幼児児童生徒の困り感が改善されたとする割合が75%以上等を含め、本事業のあり方を検証する。	支援を必要とする幼児児童生徒の増加に伴い、今後も引き続き特別支援教育支援員を派遣し、対象幼児児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任とする。
3	②	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	R7 ～ R7	多様な能力の育成及び時代の変化に対応する魅力ある学校環境整備の充実を企図する上で、町立小中学校に学校ICT機能強化事業として、校内ネットワークへの接続や学習者用端末と連携が可能な大型掲示装置（電子黒板）を整備し、授業でのICT活用の推進を図る。	学校ICT機能強化に必要な大型掲示装置（電子黒板）の整備。 町立小中学校6校（小学校4校へ107台、中学校2校へ46台）へ154台を整備する。	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 R7:機器整備（町立小中学校） 児童生徒へのアンケートの実施	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として80%以上と設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	北谷城跡活用促進事業	R5 ～ R9	駐留軍用地跡地に所在する国指定史跡「北谷城跡」の公開活用を促進するため、課題の整理や各種調査を実施する。	ドローンによる赤色立体地図の作成を行う（対象面積約7ha）。	赤色立体地図の作成により、北谷城跡の現況が可視化され、今後の周知・活用へ役立てる。	【R9成果目標】 アンケート調査で北谷城跡を「知っている」率80％以上。 【今後のスケジュール】 ・用地境界測量や補償物件調査、土地鑑定評価を行う。	【R9成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80％以上」と設定した。
4	②	縄文発信プロジェクト事業	R7 ～ R11	縄文発信プロジェクトは、町立博物館の常設展示のメインテーマ「縄文の交流」に焦点を当て、企画展や講演会、交流会など行う。北谷の新たな魅力として情報発信することを通して①北谷の新たな魅力である「縄文」の価値観を醸成し、②観光資源としての価値を高め、③地域・事業者との連携を作ることを目的・効果とし、本事業がきっかけとなった新たな価値の創造を目指す。 R7年度は、北谷の交流の歴史の一番古い時代、約5,500年前の沖縄と九州地方等との交流に焦点をあてた企画展や講演会を行う。 北谷の交流の歴史の一番古い時代、約5,500年前の沖縄と九州地方等との交流に焦点をあてた企画展や講演会を行う。	企画展・講演会を行う。	期間中来館者数：4,000名	5年間のプロジェクトとし、北谷と他地域との交流テーマに関する企画展および講演会を開催。最終年度は総まとめとして全国縄文交流会を開催。	年間通しての総入館者数の目標値（25,000人）を上回ることができるよう目標値を設定した。
4	③	北谷の縄文ブランド化戦略実行計画作成事業	R7 ～ R7	新設の北谷町立博物館は地域の歴史・文化・自然に関する資料を総合的に収集・調査研究を行い、情報発信する総合博物館である。なかでも、常設展示室のメインテーマになっている「縄文時代の交流」は、他ではあまり見ることができない北谷ならではの展示となっている。本事業では、北谷ならではの「縄文」を地域資源としてとらえ、新たな地域ブランドとしての地位を確立するための実行計画を作成する。	「北谷の縄文ブランド化実行計画」の作成	「北谷の縄文ブランド化実行計画」の作成完了	本計画を元に様々な施策を展開する予定であり、並行して行うプロジェクト企画などを通してその効果を高める。	基地返還後に見つかった新しい魅力を地域資源としてとらえ、地域ブランドとしての価値を高めつためにはトライアンドエラーを繰り返す必要があるため時間を要す。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
5	①	跡地利用推進事業	H24 ～ R12	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	・桑江第一タンクファーム地区：現況模型の作成 ・キャンプ瑞慶覧（インダストリアル・コリドー）地区：地権者への継続的な情報提供、跡地利用基本計画（素案）作成、地権者合意形成活動	（桑江第一タンクファーム地区） ・現況模型の作成 （インダストリアル・コリドー） ・調査報告書の作成	【R12成果目標】 （キャンプ桑江南側） 跡地利用基本計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80％以上 【R12成果目標】 （桑江第一タンクファーム） 跡地利用基本計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80％以上 【R11成果目標】 （インダストリアル・コリドー） 跡地利用基本計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80％以上	数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80％以上」と設定した。
6	①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R7	町内陸域に生息する生物相を明らかにするとともに、町内の豊かな自然を広く周知するためのクジラトランクキットの製作および観察会を行う。	北谷町陸域生物調査報告書その2およびクジラトランクキットを作成する。	北谷町陸域生物調査報告書その2およびクジラトランクキットを作成を完了。	【R13成果目標】 町立博物館、大型宿泊施設等におけるパネル展示等を行い併せてアンケートを実施し、「保全意識が高まった」80％以上。 【今後のスケジュール】 R6、7年度： 陸域生物調査 町民参加型調査（夏季1回） R8~13年度 調査からわかった内容を活用した企画展示・観察会など R5年度末に完成予定の文化発信拠点において以下3点を念頭に成果を展示公開し利活用を図る。 ・貴重さをPRするとともに保全意識の醸成を図る。 ・観光資源としての価値を高める。 ・町、地元業者等と連携した情報共有 R13年度：第2回大規模モニタリング調査	【R13成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80％以上」と設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
7	①	北谷町平和を愛するまち推進事業	R7 ～ R13	平和の尊さや命の大切さなどの平和思想普及啓発のための平和祈念祭事業 沖縄戦や広島長崎の被爆の実相を次世代を担う若者へ正しく継承していく平和学習派遣事業	1　平和祈念祭イベントの参加者数の増加を図る 2　平和祈念祭特設サイトの閲覧者数の増加を図る	平和学習派遣 1　中高生参加者（9人予定）事前学習、現地学習、事後学習を滞りなく遂行し、平和祈念祭イベントにおいて、学習報告する。 平和祈念祭 1　オープニングイベント及び戦跡めぐりバスツアー参加者数　合計100人 2　平和祈念祭特設サイト（憲法講演会、戦争体験証言含む）閲覧者数　1,000人 3　平和祈念パネル展　来場者数 500人（延べ人数）	R7年度は戦後80年の節目を迎えるため、より一層平和思想の普及啓発を図る	前年度までの実績に基づき設定した

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城まつり」を開催する。	青年エイサーまつり：9月～11月開催 北中城まつり：9月～11月開催	・青年エイサーまつり来場者数：12,200名 ・北中城まつり来場者数：12,200名	【今後のスケジュール】 まつりを通した伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継承して実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	②	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	村内観光情報や特産品の紹介ができるよう、ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションのDXの推進を図る。村内訪問者へアンケートを実施し、観光誘客のためのデータの分析を行う。 また、国外からの誘致も見据えて、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、訪れる観光客の滞在型観光促進ため体験型観光商品の紹介をおこなう。	・主催観光イベント来場者数 ・インターネット上での観光案内の強化 ・観光ガイドモニタリングツアー	・主催観光イベント参加者数：650人 ・観光案内WEBコンテンツの閲覧数：19,546回/月 ・観光ガイドモニタリングツアー満足度80%以上	【今後のスケジュール】 観光誘客のため、SNSやウェブサイトでのプロモーションの強化を図るとともに、観光イベントの実施や観光ガイド等体験商品のPRにより、観光地としての認知度の向上に努める。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	③	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスイベントの開催（1回以上） ・ウェルネスワークショップの開催（1回以上） ・大阪関西万博関連イベントへの出展	・ウェルネスイベントへの総参加者数：70人人 ・ウェルネスワークショップへの総参加者：20人 ・大阪関西万博関連イベントでの商談実績：5件	イベント参加目標：70人 ワークショップ参加目標：20人 商談目標：5件	-
1	④	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R6	村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。	・運行日数：350日以上 ・運行ルート：2ルート	年間利用者数：19,300人	【今後の展開方針】 運行ルート複数案の検討結果等を踏まえ、村に最適な地域公共交通モードを決定する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑤	広域交流拠点施設周辺道路景観美化事業	R7 ～ R11	北中城村内の広域交流拠点周辺道路（村道166号線及び167号線）の環境美化を強化し、魅力的な景観形成を図る。R7年度は植栽桝における防草対策の設計・植樹調査及び 除草業務を行う	・広域交流拠点施設周辺道路における除草業務、及び防草対策における設計・植樹調査業務 ・該当道路における年4回の除草業務	・防草対策における設計業務の完了 ・植樹調査の完了 ・除草業務の完了	【R12成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R7：防草対策業務設計完了 植樹調査業務完了 除草業務完了 R8：防草対策業務実施 植樹業務完了 除草業務完了 R9：防草対策業務完了 剪定業務完了 除草業務完了 R10：防草対策業務完了 剪定業務完了 除草業務完了 R11：防草対策業務完了 剪定業務完了 除草業務完了	【R12成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、土地利用計画(案)の検討を行う。	・関係課協議の実施 ・跡地利用整備計画(案)	・跡地利用整備計画(案)の見直し及び必要に応じ修正	【令和5年度以降】 跡地利用整備計画(案)作成後、当該計画に対する地権者の「肯定的な評価」80%以上	地権者のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
2	②	喜舎場住宅地区跡地利用推進事業	H25 ～ R7	**キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区整備計画案をもとに、返還予定区域の有効かつ適切な跡地利用の検討を行う。**	**・報告書の作成**	**・本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上**	【今後のスケジュール】 今後も喜舎場住宅地区の跡地利用について地権者の意向を確認する。	【R7成果目標設定の考え方】 指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	①	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。また、雇用サポートセンターを設置し、地域に密着した雇用機会の創出を図る。	・ジョブシャドウイングの実施（小学校2校） ・職場体験の実施（中学校1校） ・キッズJOBクラブの実施 ・職業人講話及びフィールドワークの実施（高校1校） ・キャリア教育講演会の実施 ・登録企業の開拓：20件 ・求職者の個別支援：30件	・就業に対する意識が向上したか（80%）以上を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。 ・就業者数：3人 ・職業訓練校マッチング人数：3人 ・相談件数140件以上	【今後のスケジュール】 追跡調査の結果も踏まえ、企業や学校、地域との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。 【今後のスケジュール】 求職者が求める求人企業の開拓を進め、求職者と求人企業のマッチング向上を図る。 本村の失業率（6.5%）を沖縄県平均失業率（5.6%）まで改善を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 ・大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。 ・過去の実績を勘案し設定した。
4	③	水産養殖スタートアップ支援事業	R7 ～ R8	北中城村ではこれまでアーサの養殖が盛んであったが、近年の海洋環境の変化により水揚げ量が減少し、新たな養殖品種の導入や事業の多角化が求められている。この事業は、持続可能な水産資源の活用と地方創生を目指し、技術革新や新たなビジネスモデルの創出を促進することを目的としている。	・新規養殖事業者支援者数：５人以上 ・テストマーケティング：２０社以上 ・プロモーション（試食会等）：１回以上	・新規牡蠣養殖事業者数：５人 ・北中城村産牡蠣の販路：15社	当該事業終了後は漁業組合による自走を目指す。	-
4	②	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R7	耕作放棄地を有効活用し、医食同源の理念に基づく地域づくりや、農福連携を通じた健康長寿社会の実現を目指すエリア整備に向けたマネジメントを行う。	・第二段階、第三段階整備区域のタスク管理表の更新及びタスク管理 ・第四～第六段階（東地区）の事業の具体化検討 ・第六段階（西地区）の事業化に向けた支援検討 ・エリアマネジメント調整会議等推進体制の検討	各段階別事業達成率 ・第一段階（100%）R6完了 ・第二段階（16%）R9完了 ・第三段階（10%）R11完了 ・第四～六東段階（5%）R15完了 ・第六西段階（7%）R15完了	【今後のスケジュール】 ・各段階整備区域ごとのタスクを進めながら整備完了を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 タスク管理表をもとに今年度実施業務の進捗率で設定する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	③	水産養殖スタートアップ支援事業	R7 ～ R8	北中城村ではこれまでアーサの養殖が盛んであったが、近年の海洋環境の変化により水揚げ量が減少し、新たな養殖品種の導入や事業の多角化が求められている。この事業は、持続可能な水産資源の活用と地方創生を目指し、技術革新や新たなビジネスモデルの創出を促進することを目的としている。	・新規養殖事業者支援者数：５人以上 ・テストマーケティング：２０社以上 ・プロモーション（試食会等）：１回以上	・新規牡蠣養殖事業者数：５人 ・北中城村産牡蠣の販路：15社	当該事業終了後は漁業組合による自走を目指す。	-
5	①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英会話指導員の配置 ・小学校：2人（うち1名は子ども園兼務） ・中学校：１人	・英語検定の受験者数：226人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しいと感じる割合80%以上	【今後の展開方針】 国際性豊かな人勢育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。	【R7成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。 ・大多数が楽しいと感じると考えられる数値として「80%以上」とした。
5	②	国際人材育成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、IT機器を活用し、英語検定4級、3級に対応した英語講座を実施する。	英語検定対策集中講座開催回数：16回	英語検定４級または３級取得率：70%以上	英語検定４級・３級の取得者が低学年に向けた指導体験による循環が行えるよう機会検討する。	英語検定取得者による体験指導では、専門者によるフォローを実施する。
5	③	海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R13	南米3カ国（ペルー、ブラジル、アルゼンチン）から海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研修生を受け入れる。	・海外移住者子弟受入人数：3人 ・研修報告会：1回	・受入れした研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%）を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。 今後の展開方針としては、各国村人会の役員交代がある際には、元研修生が役員に就任するよう村人会へ働きかける。北中城村で研修を受け、対面での人的交流をした元研修生が役員へ就任することにより、今後も引き続いたネットワークの形成に寄与できると考えます。	指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	①	米国統治下の北中城村実態調査事業	R4 ～ R8	米国統治下における本村の状況について、関連資料の収集や住民等関係者への聞き取り調査等によって記録化を進め冊子にまとめ発刊することで、歴史の情報発信や平和教育等への活用によって歴史的実態を将来世代へ継承する。	・村関連資料の整理、データ化（村役場文書保管庫、公文書館等に所蔵されている資料の収集整理） ・住民保管資料の収集及びデータ化 ・発刊に向けた原稿素案の作成 ・冊子の項目構成案の検討	・役場収蔵関連資料のデータ化（1課分） ・住民保管資料のデータ化（3集落分） ・原稿素案作成（5課分）	【今後のスケジュール】 報告書配布先へアンケート調査を実施し、米国統治下の北中城村の様子について理解できたと回答する割合が8割以上を目指す。 R4～R７：資料収集及び既存記録の整理 R８：編集校正・冊子発刊	【R９成果目標設定の考え方】 報告書利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として「80%以上」を設定した。
7	①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	特別支援員を配置する。 ・小学校：11人 ・中学校：4人 ・こども園：4人	支援員に対する満足度（80%以上）を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
7	②	学習支援員配置事業	H27 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 ・小学校(２校)：２人 ・中学校(１校)：１人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生：算数（16.7%以下） 中学2年生：数学（48.2%以下） ○無答率 小学5年生：算数（7.9%以下） 中学2年生：数学（14.7%以下）	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、学習支援の指導力向上を図るため、学校間で連携協働し、各学校における成果・課題を共有するとともに、引き続きR3年度から導入されている1人1台端末を活用しての授業における支援が行えるよう研修等でのスキルアップを図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
7	③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1の額について補助を行う。	県外への派遣団体数：5団体（90人）	派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。
7	④	小中学生県外派遣支援（社会教育関連）事業	H29 ～ R13	離島や県外での大会へ参加する機会を与える児童生徒の視野を広げる為、本村の将来を担う小中学生を対象に、スポーツや文化活動による派遣の際に支出する航空運賃（実費）を補助する。	派遣者数50人	保護者アンケート「子どもの視野が広がったか」８０%	本事業の周知活動を引き続き行いながら、目標派遣人数及び成果目標の達成につなげていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4 ～ R13	地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。	・不動産鑑定業務 ・事業者公募支援業務 ・地区施設概略図作成	・不動産鑑定業務の完了 ・事業者公募資料（案）の完成 ・地区施設概略図の完成	【今後のスケジュール】 （R8年度） ・アドバイザリー業務（事業者公募・選定 ・タウンセンター地区排水設計 （R9年度） ・インフラ整備 ・タウンセンター地区排水工事 （R10年度） ・既存建物解体設計 （R11年度） ・既存建物解体工事 ・施設整備 （R12年度） ・施設供用開始	
1	②	防災体制整備事業	H27 ～ R10	沖縄県は台風等の自然災害が多く、本村は津波被害や土砂災害の危険性の高いことから、自然災害に強い村づくりを推進していくため防災基盤の整備を実施する。また、災害時に支援物資が届くまでの対応として食糧を備蓄し、住民の安心・安全を確保する。	・防災行政無線屋外子局機の整備一式 ・食糧の備蓄　1,900食	・防災無声難聴地域の解消 ・非常食の備蓄率100%	・聞取りに問題がないか継続して調査を行い防災体制の維持に努める。 ・非常食の賞味期限等を確認しながら定期的な補充を行い、常時備蓄率100%を維持する。	
2	①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H28 ～ R13	ござまる陸上競技場におけるキャンプ誘致を推進し、スポーツコンベンションを通じた観光メニューを実施するとともに、スポーツ振興の拠点である吉の浦公園等施設の機能強化を行う事で、スポーツを活かした観光振興を図る。	ござまる陸上競技場芝生の適正管理 公園内環境美化	プロサッカーチームの合宿誘致件数２件、大学チーム等のキャンプ受入 吉の浦公園 年間利用客数：30,000人		
2	②	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R13	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプ環境を確保するための支援を実施 ・グッズ販売やトレーニングマッチを開催 ・スタンプラリーを実施	キャンプ見学者数：5,000人		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R13	本村の観光地やそのアクセス道路の環境美化を行い、観光地としての魅力を高め観光産業の発展を図る	観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃を行う。 【実施個所】 観光地（南上原糸蒲公園、歴史の道、吉の浦公園） 村内５路線（観光地への誘導路）	魅力的な観光地としての景観となっているか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
3	①	海外移住者子弟研修生受入事業	H26 ～ R13	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の指定を研修生として受入、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。	受入人数：3名以内	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか（80%以上）を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き村において中城村出身の子弟の研修を実施し、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成し、今後の双方の発展につなげる。	
4	①	学校ＩＣＴ環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	ＩＣＴを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のＩＣＴ機器活用の習熟を図るため、授業支援やＩＣＴ機器活用に向けた環境整備を行う。	ICT機器を使用した授業支援	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合：80%以上		
4	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	①小中学校へ特別支援員配置　10人 ②相談員の配置 教育相談員　3人 心理相談員　1人	①特別支援員の対応への満足度　（70%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率44%以上		
4	③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R13	生徒の学力向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置し授業の支援や補習等を行う。	・学習支援員配置 中学校２人	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差−1.0ポイント以上		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	④	子育て保育支援事業	H29 ～ R13	特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行う	加配保育士 28名	保育園での生活の困難が改善されたか（80%以上）を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		
4	⑥	オンライン英会話学習支援事業	R5 ～ R13	村内の小学生・中学生を対象として、外国人講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。	中学クラス：前期32回、後期32回 小学クラス：前期32回、後期32回	・英語習熟度テストで講座を受けた生徒全員80点以上（100点中）	継続した事業展開により、米国語学教室（ESL）レベルに到達できるよう、受講生の取得率向上を目指す。	英語力の習熟度が高まったと判断できる数値として「80点以上」と設定した。
5	①	歴史的資料整理公開活用事業	R4 ～ R9	NPO法人 琉米歴史研究会が中城村に一括寄贈した沖縄戦直後から戦後間もないころにかけて米軍関係者が撮影した1万5千点近い写真・映像・発刊物などの各種資料を公開活用するため、これらの整理を行う。	・資料の情報収集・調査・分析 ・展示会の開催	・権利関係の調査・整理作業の完了 ・展示会の開催：来場者数4,000人	R6～R7：資料に関する情報収集・調査・分析 R7～R8：公開システムの検討、システム構築、公開準備 R9～：資料の公開	
5	②	中城村地域多世代交流活性化事業	R3 ～ R13	伝統文化の振興及び継承促進を図るため、組踊の演武及び継承等を行っている村内団体に対し、県外公演を実施するための支援を行う。	村内組踊団体への補助の実施	①公演を見てくれたお客さんが沖縄の伝統文化について理解が深まったか(80%以上)を含めアンケートを実施。 ②補助団体構成員が、公演までの過程を通し、これらの経験が今後の活動に活かせる内容だったか（80%以上）を含めアンケートを実施。 上記①②をもとに本事業のあり方を検証する。	【R８年度】 アンケート結果を参考に今後の展開方針について検討していく。	
6	①	中城村農業振興推進事業	H30 ～ R8	①営農指導員及び補助員の配置 ②重点品目及び推奨品目の栽培方法の検討 ③農作業の省力化にむけバックホーの貸出を行う。	①営農指導員１名及び補助員１名の配置 ②重点品目及び推奨品目の栽培方法の検討のため栽培試験を実施する。 ③バックホーの貸出	①農業指導員及び補助員の配置し営農指導及び栽培試験を実施する。 ②重点品目2品目、推奨品目1品目の継続的な栽培試験の実施 ③バックホーの稼働率　7割以上	【今後のスケジュール】 引続き試験栽培及び営農指導を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 農家の大多数に栽培試験の効果を行き渡らせる事ができたと考えられる指標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
6	②	とよむ中城産業まつり事業	H24 ～ R13	中城村内で生産・製造又は提供される産業製品を村内外へPRする等、産業振興を図るために「とよむ中城産業まつり」を開催する。	イベントを実施するための実行委員会への補助金交付	・来場者数：7,000名	引き続き村内商工業の振興を図るイベントとして定期的に開催し、村内事業者が商材を広くPRできる環境を整える。	本年度以降、産業まつりは２年に1度の開催。
7	①	ＰＦＩ導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ～ R10	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な事業を支援する	モニタリングの実施	教育施設（小学校）校舎完成 教育施設整備（中学校）に向けた基本設計の完了	【今後のスケジュール】 （小学校） Ｒ５ 基本設計 Ｒ６ 実施設計・建築工事 Ｒ7-8 建築工事 （中学校） Ｒ７ 基本設計 Ｒ８ 実施設計・建築工事 Ｒ9-10 建築工事	【R7成果目標設定の考え方】 ＰＦＩ事業募集要項に記載ある内容を勘案して設定した。
7	②	中城村中学生平和体験学習事業	R5 ～ R13	中城中学校全生徒を対象とした平和体験学習（校外学習）を実施し、平和や戦争について考える機会を与える。学年ごとでコース内容が異なり、段階的に各地域で起こった戦争について学べるプログラム内容とする。	平和学習の計画的な実施	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいか（80%以上）を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	R5～Ｒ6まで事業を実施し、アンケートの結果等から効果的な事業であると判断されたため、事業をR13まで継続していくこととした。今後は学校との連携強化等を検討していく。	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13	沖縄らしい風景を保存するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施 （3箇所） ①運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	観光客や地元住民に対し、アンケートにて、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を目指す。 【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【Ｒ6成果目標設定の考え方】 観光客や地元住民のうち大人数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
1	②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施 （環境美化）24 箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ（サガリバナ）」の診断・治療 ・文化財ガイドの育成　勉強会：12回 ・文化財巡り等イベント開催：3回	文化財巡り等イベント参加者数150名	【今後のスケジュール】 今後もガイド団体等の人材育成を行い、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。そして、文化財めぐりイベント等においても、150人の目標目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。
1	③	西原まつり運営事業	H27 ～ R13	西原まつりを開催し、観光誘客を図る。	西原まつりの開催の支援	まつり来場者数：30,000人	【今後のスケジュール】 今後もまつりを通して観光誘客を図り、地域活性化に繋げる。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員２名派遣 （町立４小学校）	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国語活動指導員を派遣し、外国語教育の充実を図る。 児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか（82%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。 本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	教育相談員配置事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等の支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・町教育相談室に教育相談員を3名配置 ・定期的な学校訪問（町立小中学校６校） ・教育委員会との連絡会議の実施（5回以上）	教育相談員が関わった児童生徒のうち、 学校生活への適応や状況改善が確認できた割合 67%以上	【今後のスケジュール】 定期的な小中学校への巡回訪問を継続しつつ、関係機関と連携を図ることで課題を抱える児童生徒や世帯に対して継続的、効果的な支援を行い、課題解決を図る。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数（全小中学校配置） 小学校：10人 中学校：4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語　3.5以上 算数　2.7以上 ・中学校 国語　1.9以上 数学　1.8以上 英語　▲0.6以内	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。 沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差を、小学校中学校共に全教科3ポイント以上が目標値となるよう学力向上に努める。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校：22人 ※状況に合わせて各学校へ配置 ※支援対象者の数に応じて支援員数の増減あり ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施（2回）	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を85%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。 支援対象児の状況調査において、改善した児童数を90%以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、障がいや発達の遅れにより特別な支援を要する園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人ひとりに対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度（80%以上）を含め、本事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。 対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度90%以上を目指す。	支援児個々の状態に適した支援を展開していたかを検証するため、対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応へ満足している」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方・課題等についても、アンケート項目を精査しながら意見聴取を行う。
3		親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ組数：８組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減（80%以上）	【今後のスケジュール】 今後も効果的な事業展開が実施し、対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減（80%以上）を達成できるよう継続的に取り組む。	【R6成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4		西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	・求職者と企業のマッチング　20件以上 ・スキルアップ講座等　20回以上	新規雇用割合50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。新規雇用割合50%以上を目指す。	【R７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5		輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	麻しん風しん（MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	麻しん風しん（ＭＲ）予防接種の実施 （接種率95%以上）	外国人観光客受入に起因する麻しん風しん（MR)集団感染の発生件数　0件	【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種勧奨に取り組み、接種率向上を目指す。	【成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団免疫を高め、外国人観光客受入による集団感染を防ぐ目的であるため、集団感染の発生件数を目標値として設定した。
6		平和の約束運営事業	R4 ～ R13	西原町平和事業の一環として、音楽文化を通して平和の尊さを考え、平和の心を醸成するとともに平和意識の高揚に努めることを目的に、西原町平和事業「平和の約束2025」を実施する。	「平和の約束2025」を開催	①「平和コンサート」イベント来場者350名 ②「平和バスツアー」参加者20名 ③「チョークアート制作」作品制作数15作品 ④「平和の語りベアーカイブ動画企画制作」戦争体験者1名動画制作	【今後の取り組み】 本事業の平和を発信する取り組みは、毎年続けて発信していくが重要と考えられる。「平和の約束」という取り組みを継続させるとともに、子どもや若者等の新しい世代を巻き込んでいく。 それを踏まえ、R7年度目標同等規模の実績を後年度も目指す。 ①「平和コンサート」イベント来場者350名 ②「平和バスツアー」開催 ③「チョークアート制作」実施 ④「平和の語りベアーカイブ動画企画制作」実施	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績や参加受け入れ可能な規模を想定して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
7		西原町観光ＰＲ促進事業	R4 ～ R13	交流人口の増加・歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員配置、観光ＰＲ、町産品のＰＲ業務、観光・歴史・文化情報等の発信にかかる経費として計上する。また、ＰＲ活動に必要な観光ＰＲコンテンツ作成を行う。	①観光・歴史・文化情報等の発信事業 ②誘客イベントの実施 ③観光キャラクター運営事業の委託 ④町産品ＰＲ事業	①誘客イベント　6回開催 ②観光キャラクター出動　100回以上 ③町産品ＰＲ事業　6回以上	誘客イベント、観光キャラクターの連携により交流人口の増加を図る。また、制作した観光ＰＲコンテンツを活用して、ＰＲ活動の強化を図る。 今後も下記のイベント等の実施を目指す。 ①誘客イベント　6回開催 ②観光キャラクター出動　100回以上 ③町産品ＰＲ事業　6回以上	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去のイベント数、キャラクター出動数等より設定。
8		緑のリサイクル事業	R4 ～ R13	各家庭や地域清掃で排出された木枝廃棄物の収集・処理を行い、焼却ごみを削減する。	・町内一般家庭、共同清掃から出た木枝を収集し、処理する。	・木枝の収集量の増加（Ｒ４比５％）を図る	【今後のスケジュール】 本事業の啓発活動を行い、本事業の周知を行うとともに、剪定枝の大きさ制限の緩和を検討する。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 委託先の変更を行う事により、剪定枝の収量増加を図る。
9		シェアサイクル活用推進事業	R5 ～ R6	観光客等の新たな移動手段の充実を図り、町内観光資源への誘因を図るとともに、本県の課題とされている角な自動車依存からの脱却による脱炭素化の取組を進める。本事業でシェアサイクルの認知やニーズを得ることで将来的に自走化を目指す。	①シェアサイクル利用件数 6,000件/年 ②シェアサイクルを活用した観光資源周遊ルートの確立	シェアサイクル利用によるCO2排出量の削減目標値 4,099kg-CO2	・新たな交通手段としてシェアサイクルを定着させるとともに、観光資源へのアクセス手段として周知PRし、観光資源周辺の小規模店舗の利用拡大による地域おこしにつなげたい。 ・新たな地域活性化のツールとして「東海岸サンライズ推進協議会」による広域的な連携につなげたい。 ・新規ステーションの開設や設置場所の再検討を行い、シェアサイクル利用者の増加につなげたい。	【R7成果目標設定の考え方】 シェアサイクル活用を通して、自家用自動車の運輸件数を削減し、CO2排出量削減を図る。
10	①	地域防災強化事業	R5 ～ R9	防災体制強化のため、住民・観光客用の飲料水等の備蓄を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	・備蓄用飲料水（500ml）9,792本購入	・備蓄用飲料水をＲ９までの５年間で避難所最大想定避難者数（8,400人分）の1日分の飲料水を確保することを目標とし、R7は備蓄率79.1%整備することを目標とする。	平準化を図りつつ、Ｒ９年度までに飲料水の備蓄率100%整備する。	【R7成果目標設定の考え方】 大規模災害発生時に行政備蓄として、避難所最大想定避難者数の1日分を確保することが必要と考え目標設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
10	②	西原町防災情報発信強化事業	R6 ～ R8	災害発生時に住民や観光客等に対して、迅速で適切な情報発信を行うため、防災行政無線の機能強化や、屋外子局（スピーカー）の性能向上や、聞こえずらい地域等の見直しを行う。	整備工事（第１工区）着工	整備工事（第１工区）完了	・実施設計を基に判明した聞こえづらい地域のスピーカーの配置等を見直し、聞こえない場所を0か所とする。 ・防災情報集約システムにより、多岐に渡る災害情報を一元化集約し、数メディア同時配信や高性能スピーカーで周知することで迅速で適切な情報発信を行う。	防災行政無線システム機能強化を図ることにより、住民や観光客に対して、迅速で適切な情報発信を行うことで、災害による被害の軽減に繋げる。
11	②	学校教室ICT環境整備事業	R5 ～ R10	町立小中学校の教室に大型提示装置等のICT機器を整備し、授業におけるデジタル教科書（含む独自教材などの教材）の活用、GIGAスクール構想にて整備されたタブレットの効果的な活用など授業でのICT活用の促進を図る。	大型掲示装置30式の整備	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 次年度以降も同様に整備を継続し、5年間ですべての教室でICT機器を効果的に活用できるようにし、ほぼ毎日活用する状況を目指す。今後も児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上を目指す。	【R７成果目標設定の考え方】 ICT機器を導入した学年の児童生徒へのアンケート調査を実施し、授業が分かりやすかったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
12		西原町ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R5 ～ R13	ひとり親家庭等へ利用料の減免を行った放課後児童クラブに対し、減免額を助成する。	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成	助成対象世帯（保護者）に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上	事業を継続して行うことにより、当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する。	【R6成果目標設定の考え方】 広く効果があったと考えられる数値として80%以上と設定。
13		西原町公園照明ＬＥＤ化事業	R5 ～ R8	本町の公園の既存照明のＬＥＤ化を行うことにより、二酸化炭素排出量（消費電力）を削減し、低炭素社会の実現を目指す。	ＬＥＤ化実施 ・陸上競技場スタンド棟 ・陸上競技場グラウンド照明 ・西原町都市公園1件	・西原運動公園陸上競技場等、西原町都市公園1件のＬＥＤ化工事の完了。 ・CO2削減率：56.5%（既設照明器具との比較）	令和8年度は東崎公園、東崎都市緑地と残りの都市公園の取替工事を行い、着実に二酸化炭素排出量（消費電力）の削減を図る。工事実施後の削減量については、取替完了後の消費電力等から把握する。	・整備スケジュール R5：実施設計 R6：工事　（体育館、テニスコート、一部園路灯、公園①） R7：工事　（陸上競技場等、公園②（上原高台公園）） R8：工事（公園③（東崎公園等）） 【R８成果目標設定の考え方】 令和5年度の調査設計を基に、CO2削減率を目標として設定する。令和8年度は東崎公園等のＬＥＤ化工事を予定する。
14		西原町和牛生産推進事業	R6 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援及び優良種助経費の一部を支援する。また、農家の生産意欲を高めるため、畜産共進会を開催する。	・優良母牛導入（4頭）の導入支援 ・優良種付経費の一部を支援 ・畜産共進会の開催	・導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 110%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R７成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	・与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・SNSを活用しての与那原大綱曳まつりを幅広くＰＲすることでより多くの集客を図り、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「ゆかたまつり」の開催、「スタンプラリー」を開催する。 ・地域活性化イベントを行い、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・軽便与那原駅舎のコンテンツを強化し、観光客の誘客に繋げる。	・与那原大綱曳まつりへの50,000人誘客とアンケートによる満足度７０%の達成（ぜひ、次回も参加したい人の割合） ・その他事業（地域活性化イベント・ゆかたまつり）での8,000人の誘客。 ・軽便与那原駅舎来館者数7,000人/年の誘客。	・与那原町観光ビジョンを軸しつつ、既存の観光施設の強化、歴史伝統文化の観光コンテンツを活かした催事、地域の特色に合わせた催事等を通して、与那原町の魅力を町内外に発信していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R12	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間（道路等）の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	・環境美化作業員配置14名による対象ルート等の美化清掃作業 ・東屋設計及び工事	・本事業による取組の結果、散策しやすくきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答（80%）について、アンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して繁茂対策、美化作業を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる町へ再度訪れたいと、概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。
2	①	きめ細かな児童生徒支援事業（小学校・中学校）	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。	・学習支援員　11名配置 ・特別支援教育支援員　19名配置 ・情報教育支援員　2名配置 ・特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　1名配置 ・保幼こ小中連携コーディネーター１名 ・就学支援コーディネーター１名	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校：県との差0.3ポイント以上 中学校：県との差0.9ポイント以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	Ｒ１３年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【Ｒ１３成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 ・対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。
2	②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	・英語の授業の指導助手及び小中学校の教職員とALTとの授業に関する連携・助言・支援の補助を行う。 ・クラウド型英語授業支援ソフトの導入及び英語圏諸外国学校とのオンライン交際交流授業の開催	・主任英語指導助手　１名配置 ・英語授業支援コンテンツによる授業の実施をおこなう。	・英検合格率50%以上	Ｒ１３年度まで事業を実施するため英語指導コーディネーターを配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【Ｒ１３成果目標設定の考え方】 対象者の学習意欲の向上値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、ＩＣＴ教育の環境を整備し、ＩＣＴ機器を活用したわかりやすい授業とタブレットを使った授業学習環境を支援する授業学習支援ソフトを使って教師と児童生徒間での学習データ等を共有した双方向授業を行う。 また、セキュリティ研修でのセキュリティ対策の強化とICT支援員を配置することでの効率的な運用を図る。	・ICT支援員配置業務委託　2名 ・ｸﾗｳﾄﾞ型授業学習支援ｿﾌﾄ（ﾛｲﾛﾉｰﾄ・スクール）2,128ﾗｲｾﾝｽ ・学校情報セキュリティ研修　3校 ・電子黒板(ディスプレイタッチパネル可動式)　15台購入	・児童生徒にアンケートを実施し、ＩＣＴ機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	Ｒ１３年度まで事業を継続し、ＩＣＴ設備を整備し電子黒板等を活用した授業体制の構築を図りＩＣＴ学習の向上を図る。	児童生徒の授業のあり方をＩＣＴを活用し個に合った学習環境を整備するため,学校における対象備品の整備率を設定した。
2	④	不登校対策等事業	R6 ～ R13	不登校児童生徒に対する登校復帰、不登校となる状況を未然に防ぐために、校内自立支援室を小中学校に設置、校内自立支援員の配置、学校カウンセラーの配置等を行い、学校現場に支援体制を構築し、不登校の改善を目的とする。	・学校カウンセラーの設置、派遣 ・校内自立支援室の設置 ・校内自立支援員の配置	児童生徒の不登校復帰率： 小学校10%、中学校10%	Ｒ１３年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学習意欲や登校意欲、社会的自立を引き出すような支援に努める。	【Ｒ１３成果目標設定の考え方】 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。
3	①	きめ細かな児童生徒支援事業（幼稚園）	H30 ～ R13	特別な支援を要する児童に対し、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るため、個に応じたきめ細かな支援を行うべく、特別支援教育支援員及び特別支援教育コーディネーター、臨床心理士を配置する。	【配置】 特別支援教育支援員10人 特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ1人 臨床心理士2人	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」（80%以上）を成果目標とする。	教諭及び児童、保護者の障害理解を促すことで、支援員配置を減らす。10人→8人	【R7成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R4 ～ R12	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成。 （ひとり親家庭等の児童受入クラブ）	対象家庭（保護者）へアンケートを行い、80%以上が「利用料減免により放課後児童クラブを利用することができた」等の回答を成果目標とする。	利用料減免を継続して行うことで、ひとり親家庭等が放課後児童クラブを利用しやすい環境を整え、子どもたちの安心・安全な居場所の確保に資する。	対象者の80%以上の支持を設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4		与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ R13	与那原町出身者の海外移住先である南米やハワイとの文化交流を推進するため、語学や文化研修等を通して本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	研修生の受入　2名 ・地元の方々との交流　2回 ・文化等の研修　90回 ・交流会におけるアンケート実施　2回 ・帰国後報告会およびアンケート実施　1回	・交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合92% ・帰国後報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合 100%	【今後の方針】 交流会等を継続して行うことで人的ネットワークの強化を図り、相互の文化振興や友好親善の推進へつなげていく。 研修生は、帰国後積極的に国際交流や町人会・県人会の活動に参加し、本町及び本県とのネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に寄与する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5		新しい公共交通検討事業	R1 ～ R7	高齢者や障がい者、妊婦等の交通弱者に配慮した公共交通の導入の可否を検討する	実証実験実施 ↓ アンケートの実施 ↓ 検討委員会の開催 ↓ 導入可否の決定	利用想定件数　1200件/月	【今後のスケジュール】 R7年度まで実証実験を実施し、R8年度の本格導入に向けて検討する。	【R7成果目標設定の考え方】 日曜日運行を行い、午前中町内を循環することにより、より利便性の高い運用となっているか利用者へのアンケートやヒアリングを実施し、アンケートより本事業の需要や課題等を見出し、本格入に向けての検討をする。
6		与那原町防災力強化事業	H28 ～ R10	・災害時備蓄食料等の購入及び入替 ・災害時資機材の購入 ・防災士育成の支援	災害時備蓄食料の購入 ・非常用食料（レトルト食品） 1,450食 ・非常用食料（パン類） 500食 ・粉ミルク（スティックタイプ） 100箱（14.5ｇ×6本×100箱） ・保存水（500ml） 3,120本 ・長期保存用WETタオル 23箱（200本×23箱） 防災士資格取得補助金　6人	令和7年度備蓄食料カバー率　100%	平成28年度～令和10年度にかけて計画に基づき必要数を整備する。	令和7年度～令和10年度 ・非常用食料　1,950食 ・粉ミルクスティックタイプ　100箱 ・保存水（500ml）　3,120本 非常用食料等以外の備品等は、使用年限を考慮して随時入替購入。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
7		与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ～ R13	将来の公共交通利用に係る児童への学習会の実施、コンパクトなまちを生かした自転車利用の促進を図るための環境整備をおこなう。	①交通教育の実施 ②シェアサイクル導入の実証実験継続 ③自転車走行空間の整備	①公共交通教育の理解　参加人数の80%が理解 ②シェアサイクル導入の実証実験継続	本町のコンパクトな町域を生かした移動環境の向上を図る（自転車等）。 また、自動車だけではなく公共交通等の利用を促進するための環境整備、意識啓発等を実施継続して実施することで、安全で安心な交通環境の構築する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 また、与那原町自転車ネットワーク計画（令和4年度）の考え方に基づき設定した。
8		市街地拡大地区可能性調査事業	R5 ～ R7	与那原町都市計画マスタープランにおいて「市街地拡大検討地区」と位置づけられた「町道上与那原前の井線」周辺において、地権者等への市街化に対する意向調査及び市街地拡大の事業手法等を検討するとともに、都市拠点としての当該地区における都市機能の充実や良好な住宅市街地の形成を目指す。	事業実施主体の設立	事業実施主体の設立	事業実施主体の設立	事業実施主体の設立により、事業が進んでいくため現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、事業実施主体の設立を目標とする。
9		与那原町青少年人材育成交流事業	H24 ～ R12	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地にて交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。	・町内社会教育団体への補助 （実施団体） ・県外への派遣　15人 ・報告会の開催　1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録	・事後アンケートの実施。達成度の回答80% ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録５名以上	今後も派遣事業を続けていくことで、継続的に人材育成を図る。研修受講後は積極的に町のイベントや行事に参画することで、協働のまちづくりの一旦を担ってもらう。	【R6成果目標設定の考え方】 本事業において人材育成に係る活動目標については派遣事業における視点視野の広がりを子どもたちが持つことであることから、事後報告やアンケートにおける参加者の達成度を成果目標とした。
10		与那原町スポーツツーリズム構築事業	R7 ～ R11	本町の健康やスポーツとの親和性が高い地域特性を活かした合宿利用や、関連した来訪者の増加及び町民とアスリートの交流機会の創出を図るため、スポーツ合宿の誘致を行う。	・合宿誘致委託事業の実施委託 ・備品（ウェルカムボード）の購入	・合宿受入年３回 ・町民（児童生徒）との交流機会３回	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプや合宿が定例化し、地域との交流機会を継続的に行えるようになり、地域のスポーツ振興及び住民のスポーツ参画機械を増やす。	沖縄県は冬季におけるスポーツキャンプや合宿等の利用が主であるため、下半期において３回の誘致とし、町内に小学校２校、中学校１校あることから３回の交流機会とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
11		与那原町県外等各種大会派遣費補助事業（部活動以外）	R7 ～ R13	児童生徒が部活動以外のスポーツ大会や文化活動に参加することによる能力や自立心、意欲の向上を目的に県外等大会への積極的な参加を支援するため、派遣旅費の一部を補助する。	個人、団体と合わせて３０件の派遣費助成する。	派遣された児童生徒のうち、事業実施後のアンケート等により知見や経験が広まったと答えた人数が８０％以上	【今後のスケジュール】 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力の向上心を図るため、スポーツ及び文化活動に係る県外派遣費を支援する。	派遣後に保護者または派遣された児童生徒に知見や経験が広がりについてアンケートに回答していただくことで、効果を検証する。
12		与那原町県外等各種大会派遣費補助事業（部活動のみ）	R7 ～ R13	町内の学校に通う中学生に等しく機会を与え、運動競技及び文化活動による能力の育成と、自立心や意欲の向上を目的に積極的な参加を支援するため、派遣費用の一部を補助する。	県外で開催予定の大会に参加する生徒に対し、航空運賃や船舶の旅費の補助を行う。	派遣された町内の学校に通う中学生のうち、派遣により知見や経験が広まったと答えた人数が８０％以上	【今後のスケジュール】 令和13年度まで継続して事業を行う。継続して補助を行うことで、経験や知見を広め、健全育成及び沖縄の将来を担う人材の育成に繋げる。	派遣後に保護者および派遣された当該中学生に知見や経験が広がりについてアンケートに回答していただくことで、効果を図る。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	1	青少年国際交流事業	H25 ～ R25	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数：10人 ・事前研修の開催：14回 ・事後研修の開催：10回 ・研修報告会の開催：1回	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【将来的な到達点】 多様な異文化を持つ人たちとの交流を通じ、様々な考え方を学び、国際的な視野を持った80%以上の生徒が実感することで国際理解教育を推進し、人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者の内、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数：6人 ・4名　4校各1人 ・2名　中学校区各1人	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合：80%以上	【将来的な到達点】 80%以上の児童が英会話や英語圏に興味を持つことで、国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成につなげる。 【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、分析と指導法を研究・共有しながら、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の実施 ・小学校４校 ２年～３年：国語・算数 ②学力調査の実施 ・中学校２校 ３年：国語・数学・理科・社会・英語 ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校４校　５年～６年 ・中学校２校　１年～２年 ・教員 ④達成度確認テストの実施 ・中学校２校　１年～３年 ⑤先進地視察研修	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学２・３年：２科目/２科目 ②沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差 ・小学５・６年：算数-1.0ポイント以上 ・中学１・２年：数学＋1.0ポイント以上	【将来的な到達点】 標準学力調査において、平均正答率が目標値以上の科目数2科目/2科目（小学2年）、県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差が、小学校の算数-1.0ポイント以上、中学校の数学＋1.0ポイント以上となることで、一人ひとりの課題を明確にし、確かな学力の向上につなげる。 【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストや到達度確認テストの調査結果により個々の学力を更に詳しく把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる基礎学力の定着と学力向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 小学２年生・3年生は、標準学力調査において、平均正答率が目標値を上回ることを目標とした。 小学５・６年、中学１・２年は、沖縄県学力到達度調査において、令和5年度実績を踏まえ、目標値を設定した。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	（小学校） ・８名：４校各２人配置 （中学校） ・４名：２校各２人配置	・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差 数学+1.0ポイント以上	【将来的な到達点】 県学力到達度調査（算数、数学）において、小学校は県と本町との平均正答率の差-1.0ポイント以上、中学校は県と本町との平均正答率の差1.0ポイント以上となることで、個々の基礎学力の向上を図る。 【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R7成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、R5年度実績を踏まえ、目標値を設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数 小学校：24人、中学校：6人、幼稚園：30人	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	【将来的な到達点】 特別支援員の対応への満足度を80%以上となるよう取り組むことで幼児・児童・生徒の発達段階を踏まえた総合的な教育の充実を図る。 【今後のスケジュール】 引き続き幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、幼児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。
1	6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	学校におけるICT機器を活用した授業を支援するため、ICT支援員を配置する。また、電子黒板一式や指導者用デジタル教科書などのICT機器等を整備し、授業環境の効率化を図る。学校へ行けない児童生徒の学びの保障及び学力向上を図るため、教育相談室へICTネットワークの整備を図る。	・ＩＣＴ支援員1人配置。 ・ICT機器等の整備（指導者用デジタル教科書） ・教育相談室へICTネットワーク環境の整備。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった（授業でICT機器を活用して指導できる）と答えた割合：80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合：80%以上	【将来的な到達点】 ICT環境の充実やICT機器を活用により学習指導の工夫改善を図り、児童生徒が電子黒板等を活用した授業で楽しい及び分かりやすいと答えた割合80%以上を維持し、学力を向上させ、人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【備品購入費】 今後も、クラス数の増加が見込まれることからより良い授業環境を提供するため、電子黒板等のICT機器の整備を図る。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。	【R7成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備　考 今後の展開方針等	備　考 補足説明等
1	7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。 また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	・青少年教育相談員：1人配置 ・特別支援教育相談員：1人配置 ・自立支援教室指導員：2人配置 ・適応指導教室学習指導員：2人配置 ・心の教室相談員：6人（小学校、中学校　各1人ずつ） ・作業療法士の派遣　４幼稚園、４小学校、２中学校へ派遣 ・Ｑ－Ｕテストの実施：４小学校、２中学校（全児童生徒対象）	不登校児童生徒復帰数　：63人 （Ｒ５ 南風原町問題行動等に関する調査に基づき）	【将来的な到達点】 相談や支援により63人以上の不登校または不登校傾向の児童生徒を学校へ復帰させ、子どもの社会的孤立を防止する。 【今後のスケジュール】 ・不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰数を63人以上にする。 ・多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組めるよう情報共有の場を設ける。 ・本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては、Ｒ５年度実績値63人を目標値に設定した。 ※復帰数の計上について （文科省）学校教育法施行規則の一部を改正する省令（令和6年8月29日施行）により、不登校児童生徒が学校外の機関や在宅で学習を続けている努力を評価できることが法令上明確化された。これを踏まえ、本町においてもガイドラインを定め、一定の要件のもと学習の評価を行うとともに、同要件を満たせば出席扱いとし、登校復帰の扱いとした。（R5年度実績から）
1	8	中学校外国人英語指導助手配置	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	中学校に外国人英語指導助手を１人配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校1年　英語＋１.0ポイント以上 ・中学校2年　英語＋２.0ポイント以上	【将来的な到達点】 生徒が英語に対する苦手意識を克服し、沖縄県学力到達度調査における県の英語の平均正答率を3.0%上回ることで、国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成する。 【今後のスケジュール】 中学校外国人英語指導助手を配置し、英語学力向上に努める。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。
1	9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要な派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数：141人	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【将来的な到達点】 経済的支援により、経験や活躍の機会を確保し、80%以上の児童生徒の視野が広がった実感することで、青少年の健全育成及び人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	10	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	児童生徒の大会派遣の支援 延べ86人	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合：80%以上	【将来的な到達点】 経済的支援により、経験や活躍の機会を確保し、80%以上の児童生徒の視野が広がった実感することで、児童生徒の健全育成及び人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっとも身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及びにぎわい創出を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の整備を行う。	・観光ルートの町道メンテナンス完了 ・公園7箇所の景観美化完了 ・パークゴルフ場の適正な管理実施	魅力的な観光地としての景観形成等が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	【将来的な到達点】 良好な景観づくりにより観光地としての景観形成について満足度を80%以上を維持することで、観光客の満足度向上に寄与し、観光誘客及び観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス等（美化清掃）やパークゴルフ場の管理を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 パークゴルフ場の供用開始は令和9年度を予定。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R14	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催：３回 ・金城哲夫生誕地イベント１回 ・飛び安里凧上げ大会１回 ・ヒーローを題材にした舞台化：１回	・イベント（上映会、凧上げ、金城哲夫展等）来場者数：2,915人	【将来的な到達点】 観光資源の掘り起こし等により、最終年度（R13)における本事業によるイベント来客者数を4,200人以上とし、これまでの通過型観光から着地型観光への転換を図り、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	3	シマじまガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規2人 ・シマじまガイド開催12回	シマじまガイド参加者：1,055人	【将来的な到達点】 まち歩きのイベント開催など体験型・地域交流型の観光を充実させることで、最終年度（R13)における本事業によるイベント参加者数を1,520人以上とし、これまでの通過型観光から着地型観光への転換を図り、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・黄金森公園スポーツ施設整備（陸上芝生の管理委託等）	・陸上、サッカー等合宿利用者数：552人 ・Jリーグキャンプ・全国大会等来場者数：2,828人	【将来的な到達点】 R8年度以降にコロナ禍前の合宿利用者数（560人）を上回り、また、事業最終年度(R13)における合宿利用者（団体）がが当該施設を複数回利用した割合50%以上を目指す（R5年度：20団体中8団体）とし、スポーツアイランド沖縄緒形成に寄与する。 【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Ｊリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R7成果目標設定の根拠】 合宿利用者数、見学者数ともにコロナ禍の影響により、以前の数値実績の達成にはまだ時間を要すことから、R4年度からR5年度の伸び率を乗じて設定した。
2	5	南風原町観光ＰＲ促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえるん等利用数(ロゴ使用)：50件 ・イメージキャラクター等による観光PR活動（出動回数年間60回）	・SNS（インスタグラム）閲覧数：190,000件	【将来的な到達点】 町イメージキャラクターを観光ツールとし、最終年度（R13)におけるSNS閲覧数を236,000件以上とし、町の認知度向上と地域資源の情報発信により、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 SNSを積極的に使い観光PRを実施しているため、SNS（インスタグラム）閲覧数と設定した。 SNS閲覧数は5年度の値を参考に設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	6	南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R13	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図る。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえばる良品」の認証を行う。	・商品改良相談（延べ50件） ・企業マッチング相談（10件） ・品質向上セミナーの実施（1回） ・販路開拓セミナーの実施（1回） ・催事への出展やテスト販売の実施（18回以上） ・優れた地域産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証（更新含む5件） ・物産展の開催（1回）	商品改良の実施 「はえばる良品」の認証の実施	【将来的な到達点】 特産品のブラッシュアップやプロモーション等により、販売向上率（個数）を前年度比４％以上アップさせ、地域経済の活性化を図る。 【今後のスケジュール】 販売向上率（個数）：前年度比４％以上UP	【R８成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	7	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入（2頭）の導入支援	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110%以上 去勢110%以上	【将来的な到達点】 子牛のブランド化を推進し、事業最終年度（R13）における価格差について、牝110%、去勢110%以上によって、和牛農家の生産基盤を確立させ、経営の安定化を図り、畜産振興につなげる。 【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R7成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。
2	8	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R9	南風原南インターチェンジ周辺地区を「新規産業集積ゾーン」として企業誘致等により産業拠点の形成を目指す。本事業は国道507号の西側にある津嘉山地区、東側にある照屋地区において土地利用構想の作成、地権者組織の支援及び実現化に向けた検討、都市計画決定図書の作成を行い、土地利用の早期実現に向けて取り組む。	津嘉山地区南エリア：土地利用の作成、地権者組織の勉強会の開催、協力企業の募集	土地利用を作成し、協力企業の決定	【将来的な到達点】 面的整備後に企業誘致を2社以上行い、雇用創出の環境を整え、町全体の活性化を図る。 【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原南インターチェンジ土地利用計画書の実現に向けて取組み企業誘致を図る。	【R9以降の成果目標の考え方】 R1～R5：土地利用計画書　策定 R6以降：事業化に向けた手続き、面的整備 令和9年度以降：企業２社以上誘致

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	9	南風原町AIオンデマンド交通実証運行事業	R7 ～ R11	高齢者や障がい者、子どもなど移動困難者及び観光客等の移動支援を含め、町内におけるすべての人の移動手段を確保するため、AIオンデマンド交通の実証運行を行い、持続可能で安定した公共交通の導入に向けて、本格運行に向けた検証を行う。	・AIオンデマンド交通実証運行の実施 ・実証運行の評価・分析 ・地域公共交通協議会の開催	利用者数17,500人	【今後の展開方針】 実証運行の実績分析を行い、改善することで利便性の向上を図り、持続可能な公共交通を目指す。最終年度（R11年度）における利用者数を35,000人とし、本格運行により地域交通の維持・活性化を図る。 【【今後のスケジュール】 実証運行の利用促進、設定した事項について検証・分析を行い、利用者数増に取り組む。 R7~R11:効果・検証の実施 R11以降:利用者数35,000人以上	【R7成果目標設定の考え方】 運賃設定500円となっており、運行車両の自走に年間20,000,000円程度必要なため1時間当たり６人以上の乗車が必要であるが、令和7年度は最終目標の1/2の利用者数（1時間あたり3人）を目標に設定した。
3	1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破砕し堆肥化する。	町内から排出される草木の堆肥化完了	・家庭系草木のリサイクル量（堆肥化）：467トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化)：99トン	【将来的な到達点】 ごみの資源化を図り、事業最終年度（R13）までに1日1人当たりごみ排出量を415g(資源ごみを除く)とし、施設の長寿命化図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R７成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。
3	2	環境保全３R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ（古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着）を細分化したうで分別作業を実施しリサイクルを推進する。	町内から排出される資源ごみを細分化し分別及びリサイクルの完了	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量　887トン 廃食油の収集分別量11,102ﾘｯﾄﾙ	【将来的な到達点】 ごみの資源化を図り、事業最終年度（R13）までに1日1人当たりごみ排出量を415g(資源ごみを除く)とし、施設の長寿命化図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを細分化したうえで分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 資源ごみのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した また分別量は、R5年度の収集分別量の実績より算出した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	安心・安全に子どもを預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭・非課税世帯等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。さらに、デジタル技術の活用で学童クラブの質の向上を図り、安心して児童を預けられる環境を整備する。	（1）家賃補助　12か所 （2）ひとり親世帯等学童クラブ利用料支援補助　135人 （3）学童クラブクラウドシステム活用支援　27か所	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか（80%以上）を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【将来的な到達点】 学童クラブへの経済的支援等により、子育てへの負担感が軽減されたと感じる保護者の割合90%以上維持を目指すことで、子どもたちの安心・安全な放課後の居場所を確保する。 【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助、また学童クラブシステム活用支援を実施していく。	【R7成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	2	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	感染症対策入国制限措置の解除に伴い沖縄への入域異国人観光客が増加しているため、麻しん及び風しんに感染した観光客が来県した場合でも、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん（ＭＲ）予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	①MRⅠ期接種目標率　95% ②MRⅡ期接種目標率　95%	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数　0件	【将来的な到達点】 感染症の蔓延を予防し、外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数を0件とし、沖縄の観光や経済への影響を最小限に抑える。 【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R7成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。
5	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。	開壕日数：308日	見学者数8,000人	【将来的な到達点】 最終年度（R13)における陸軍病院壕の見学者数を10,000人以上とし、町の歴史の継承及び観光誘客を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。 見学者数の回復を図るため、町観光協会などと連携して旅行会社や学校団体に対する見学方法などの情報発信を強化する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去（R1～R5年度）の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数：8人 ・県内研修（事前学習）及び県外研修を実施 ・研修の成果を報告会等で発表し、報告書にまとめる。	参加児童の保護者へのアンケート ・子どもによい変化がみられた：90%以上 ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた：90%以上	【将来的な到達点】 事業最終年度（R13)における事業参加児童総計374人（H6~R6：318人＋R7~13：56人)とし、平和や人権に対する意識の醸成につなげる。 【今後のスケジュール】 各年度児童8人（小学校6年生）の事業参加、研修実施実施を通し、戦争体験者が減少するなかではあるが、各地の若い世代との交流学習の実施や本事業OB会との連携を図ることで、本事業の柱である戦争と平和、差別と人権をテーマにした学習を継続、充実させていく。	【R7成果目標設定の考え方】 児童の平和等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。
5	3	伝統芸能保存育成事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。	伝統芸能保存育成補助　1件	補助団体による伝統芸能上演等回数１回以上	【将来的な到達点】 町指定無形民俗文化財（民俗芸能）13件の定期的な上演により、安定的な継承を実現し、指定文化財以外の伝統芸能の活性化を図り、地域振興につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承を推進するため、自治会を支援する。	【R７成果目標設定の考え方】 各自治会の伝統行事及び町内外のイベントで演舞等を行う予定回数で設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	4	資料の公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料等をデータベース化して整理し、公開活用を行う。	・写真資料整理5,000点 ・戦災資料、民具資料の公開のフォーマットに合わせたデータ整理 ・資料公開システム公開	南風原文化センター来館者数（壕見学者含む） 28,000人	【将来的な到達点】 最終年度（R13)までに民具、文書資料約500点、図書・写真・レコード資料約15,000点の整理、写真資料15万点の権利確認等を実施し、公開可能な所蔵資料をデジタルアーカイブで公開して関心を持たせることで、南風原文化センター来館者数（文化センター施設利用者、壕見学者含む）を合計28,000人以上とし、本町の歴史文化を後世に継承し、地域振興につなげる。 【今後のスケジュール】 R07：資料公開システムの公開、写真資料整理 R08～R10：登録完了資料の随時公開、写真資料権利確認 R11～12：登録完了資料の随時公開、デジタル写真資料整理 R12：登録完了資料の随時公開、デジタル写真資料整理 R13：登録完了資料の随時公開、レコード資料整理、活用促進	【R7成果目標設定の考え方】 デジタルアーカイブを閲覧し、歴史学習を行うことで、本町の歴史・文化に関心を持ち、直接南風原文化センターへ訪れるなど、歴史の継承及び観光誘客につながるとることにつながると考え設定した。 指標は過去の見学者数を参考に、新型コロナウイルス感染症前の状況に回復することを目標に設定した。
6	1	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R13	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	生活習慣病予防健診の開催 健診結果説明会の開催	中学2年生の継続受診率65 %（令和2年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか）	【将来的な到達点】 学童期から生活習慣病を予防するため、中学2年生の継続受診率65%以上により、重症化予防・健康づくりを推進する。 【今後のスケジュール】 生活習慣病予防健診結果を教育委員会や町内学校とも共有することで学童期からの生活習慣病予防を効果的に進めていきたい。	【R6成果目標設定の考え方】 生活習慣病予防のためには健診結果を経年で見ていくことが重要であり、継続受診率を見ることで事業目的の評価を行えると判断した。なお、65%は直近の実績の平均とした。
7	1	南風原町防災情報発信強化事業	R5 ～ R7	災害時に住民や観光客への適確な情報発信として、防災行政無線の屋外子局（スピーカー）の機能向上や増設、複数メディアへの同時配信機能整備等により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行う。	整備工事	整備工事完了	【将来的な到達点】 防災行政無線放送を活用した避難等訓練を年１回以上実施し、地域防災力の強化につなげる。 【R8成果目標】 防災行政無線放送を活用した避難等訓練（1回以上／年）を実施する。 【今後のスケジュール】 R7：整備工事（第2工区:屋外拡声子局等設置工事）	【R8成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、整備事業完了後の成果目標を設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R13	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるＰＲ活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する新しい観光地づくりに取り組む。	・PRツールの制作配布（観光MAP等） ・県内外で行われるイベントでのPR活動　（マンダイビングフェア等） ・広告掲載（観光情報誌掲載） ・外国語スタッフの配置　（那覇泊港とまりん、泊港北岸事務所）	①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しＰＲに活用するほか、ＷＥＢを活用したＰＲにも力を入れていく。 ・閑散期でも入域客数を安定的に確保するため、多様な渡嘉敷村の魅力を前面に出したＰＲを展開する。	【R7成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 ②大多数の観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	花木植栽　10箇所実地 美化清掃　10箇所実地	観光地を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図れたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R7年度まで実施し、本村のイメージアップに努める。	【R7成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。アンケートにより検証する。
1	③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	①村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、観光誘客を図る。 ②案内業務の充実を図る。 ③PR活動を支援し、観光誘客を図る	各イベント実行委員会への支援・実施や、案内業務や誘客活動に取組む観光協会への支援を行う。 <R7取組> ・とかしきまつりの実施 ・とかしきマラソン実行委員会へ補助金 ・渡嘉敷村観光協会への補助金	渡嘉敷村の観光振興を図るため、イベント実行委員会等への支援や案内業務や誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。	【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘り起こしやリピーターの確保に努める。	【R7成果目標設定の考え方】 コロナも落ち着きを見せ、観光客の足が戻ってきているこれからが大切な時期と捉えているため十全なPR活動と満足度の向上に努めることで、島の魅力をアピールしていく。
1	④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の２ビーチ（阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ）において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ　２名（３名） ・渡嘉志久ビーチ　２名 （７月、８月　阿波連ビーチ　１名追加）	①水難救助員配置期間中の水難死亡事故　０件	【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輌航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間車両航送台数 自動車　800台 バイク　170台	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	本事業の継続により離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
2	②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R13	渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する	年間補助回数　30回	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3	①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R13	村立小学校に学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う	学習支援員の配置人数 渡嘉敷小学校　２名 阿波連小学校　２名	沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率との差が、3.1ポイント以上	今後も継続的に学習支援員を配置することで、児童の学力向上および離島の教育環境の改善を図る	【令和７年成果目標設定の考え方】 令和５年度の実績を勘案して設定した
3	②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会及び文化的教育活動等に参加する児童・生徒に対し、交通費等の補助を行い、教育意欲の向上を図る。	村内では体験できない活動を通して、個々の能力や教育意欲の向上を図り、児童・生徒に広い視野を持たせる。	保護者へアンケートを実施し、児童・生徒の視野が広がったと考える保護者の割合80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き児童・生徒の派遣費の補助を行い、離島の教育的ハンディの克服につなげ、個々の能力及び教育意欲の向上を図る	
3	③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	小学校１年生～中学３年生を対象にオンライン双方向授業の学習塾を実施することで、離島地域の教育格差の解消、家庭学習環境の整備を行う。	オンライン学習塾の開校 小学１～４年生　週１コマ 小学５～６年生　週２コマ 中学１～２年生　週２コマ 中学３年生　　週４コマ 総授業数　３５５授業	オンライン学習塾への参加率 60%以上 中学3年生の志望校合格率 80%以上	離島教育環境の改善を図る。	離島における教育格差の解消。
~~3~~	~~④~~	~~教育相談支援事業~~	~~R7 ～ R13~~	~~特別な支援が必要とする子及び保護者や職員を支援するため、理学療法士等の専門職による巡回相談等を行う。~~	~~・巡回相談 ・職員研修会~~	~~特別支援コーディネーターへアンケートを実施 職員にアンケートを実施し、作業療法士等の専門職への相談により、問題が改善したと答えた割合80%以上~~	~~【今後のスケジュール】 引き続き専門職による巡回相談を実施し、問題の改善を図る~~	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑤	ICT教育推進事業	R7 ～ R13	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の向上及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	ICT機器を使用した授業支援	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上 ・職員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き事業を継続し、ICT環境を整備し情報社会に対応できる人材の育成を図る。	
4	①	渡嘉敷村農村整備振興事業	R4 ～ R13	農業（農家の利便性、安全性の確保及び新規農業従事者獲得に向けたアピール）、観光（自然を感じられる散策コースとしてアピール）、環境（動植物保護のための保全活動）の3つの総合的な観点から農村地域の整備を行い、魅力と活力のある継続可能な農業振興を図る。	■島の玄関口にあたる農村公園及びその周辺の農道の草刈り作業	・自然環境に配慮しつつ沖縄らしさを活かした魅力的な農村の景観を形成することで、農業と観光業の総合的な振興を目指す。	【今後のスケジュール】 ■農村公園及びその周辺の農道の草刈り作業の継続。	

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13	村内の指定３ビーチにおいて、観光客の増加する４月中旬から１１月中旬の期間、水難事故防止及び安全確保を図るため、ライフセーバー員等を配置する。また、遊泳区域周辺の危険個所や無人島のパトロールも行う。	ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ　2名 ・阿真ビーチ　2名 ・北浜ビーチ　2名 GW期間中及び梅雨明けから8/31までは各ビーチ1名追加、7/1～8/31はさらに1名追加	ライフセーバー配置期間中の死亡事故：0件	【今後のスケジュール】 ライフセーバー人材の確保と水難救助講習会による人材育成に努め、より安全な海水浴場づくりに注力する。	【R7成果目標の考え方】 水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、引き続き村指定の３ビーチにライフセーバーを配置し水難死亡事故0件を目指す。
1	②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R13	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともにPR素材を活用した県内外へのプロモーション施策展開を実施する。	・各種イベント実行委員会への補助金交付 ・PR素材を活用したプロモーション展開	入域観光客数112,000人	【今後のスケジュール】 一層の入域増につなげるよう、イベント内容の改善、プロモーション展開を実施していく。コロナ禍が過ぎたことにより、県内外へのPR活動も可能になったが、R5年度に行った各SNS等によるプロモ―ション展開に関しての検証を行いつつ、R7年度も前年度同様にプロモーション展開事業を行う。	【R7成果目標の考え方】 観光客数が国立公園指定当時ほどの増加率で推移しないが、数のみならずリピーターづくりに努める。
1	③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光案内所年中無休（台風時等閉鎖） ・村内外観光客誘客活動年５回 ・観光事業従事者スキルアップ講座 新規メニュー開発　4回 心肺蘇生講習会　2回	・観光客の利便性が図られたか（80%以上）を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか（80%以上）を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。	【R7成果目標の考え方】 大多数の事業所から評価が得られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。村内事業所の意見を聞くことで、観光協会職員の意識向上、スキルアップを図る。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答８０％以上を目標とする。	入域観光客数 【実績】 R1：99,110人 R4：75,413人 R5：94.843人 3年平均：89,788人 →15%増として 例年の入域数を目標100,000人とする。 (R2.R3年度はコロナのため数値が参考にならない。) 【今後のスケジュール】 利用者アンケートを継続し、「利便性が確保された」との回答が80%以上を目指す。	【R7成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「８０％以上」と設定した。
2	②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R6	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である座間味村⇔沖縄本島間のフェリー車両航送にかかる運賃補助を実施し、高い交通コストの改善を図る。	車両航送運賃の低減化支援	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 経済的な負担を軽減し、住みよい環境づくりにつなげることで人口流出を防ぎ定住を促す。 人口：令和6年4月現在　878名となるので、この水準を保つ事を目標とする。	【Ｒ6成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
2	④	座間味村大型2種免許取得助成事業	R4 ～ R7	座間味村内唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型２種免許保有者が村内に少数である為、今後のバス運行継続の為に運転手の確保が喫緊の課題である。 免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行い、運転手不足の解消、雇用拡大に繋げ、住民ならびに観光客の交通手段の確保、観光客の利用拡大、公共交通の安全性確保を図る。	大型２種運転免許取得者への取得費用の一部助成、 取得期間の宿泊費用、交通費、船舶運賃の助成	申請受付者、助成者6名を目指す。	【今後のスケジュール】 今後の村営バス運転手を確保し、住民ならびに観光客の交通手段の確保、夏場のピーク時における観光客の利用促進、来島者の利用増加に繋がるよう取り組む。	6名分の取得費用一部助成 6名分の船舶運賃、宿泊費、交通費の助成

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
2	⑤	幼稚園預かり保育支援事業	R6 ～ R13	自営業者が多く保護者が共働きの家庭が多い本村において、多様な保育ニーズに対応するため預かり保育を実施する。	預かり保育支援事業の実施	預かり希望日数に対しての受入れ実績日数100%	受入れ可能な園児数を増やすため、適切な人員の配置を行う。	現在園児のほぼ全員が降園後の預かり保育を希望しており、希望時間すべての受入れができていないため、人員の配置を行い希望に対応できる体制を整備する。
2	⑥	児童・生徒派遣支援事業	R6 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、交通費、宿泊費等の補助を行う。	島外の人との競争や交流の機会を確保することで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒が各種スポーツ大会及び文化活動等に、意欲的に取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。	離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	各種活動等に、取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。
2	⑦	座間味村防災体制強化事業	R7 ～ R8	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達を様々な手段（メディア）で発信できるよう防災行政無線の機能強化を行い、村の防災体制の向上を図る。	デジタル防災行政無線システムの機能強化	・防災システム機能強化（複数メディア配信装置（防災アプリ等）の導入） ・防災スピーカー設置場所等の調査実施	【Ｒ8成果目標】 ・避難訓練時に利便性が向上したかのアンケート調査を行い、向上したの回答80%以上	当該年度の整備が年度末に終了予定の為成果の確認ができないため、今年度は導入及び調査実施までを成果目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため航空事業者が観光客に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補充する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	粟国村への観光入域者数：4,000人	【今後のスケジュール】 第４次粟国村総合計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R7成果目標の考え方】 過去の実績及び第４次粟国村総合計画に基づき、設定した
1	②	離島航空路チャーター運航支援事業	R5 ～ R13	那覇・粟国間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、村民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と強調して補助を行う。	那覇・粟国間のチャーター運航（離島の生活路線）に対する欠損補助	那覇↔粟国間航空路線の確保・維持	【今後のスケジュール】 那覇↔粟国間航空路線の確保・維持	【令和６年成果目標設置の考え方】 事業の目的から、事業終了後し、継続運航し、本村の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。
1	③	粟国村拝所整備事業	R6 ～ R8	伝統行事の保存を行うために、各種拝所について整備を行う	基本設計・実施設計の完了	基本設計・実施設計の完了	【R9年度成果目標】 ヤガンウユミ参加者へのアンケートにて「伝統行事保存のための安全で利用しやすい環境整備がなされた」の回答　が80%以上	【R9成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数「伝統行事保存のための安全で利用しやすい環境整備がなされた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	ハブ対策事業	R2 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。	・作業員の配置（２人） ・捕獲器の設置・見廻り（１６０基） ・ハブ対策講習会（１回） ~~・ハブ侵入対策の工事業務の実施~~	・ハブ咬症被害：０件 ~~・ハブ侵入対策の工事業務の完了~~ ~~（学校施設）~~	【今後のスケジュール】 咬症被害ゼロのため捕獲事業を継続して実施し、観光客地域住民、児童生徒の安全安心を確保する。	【R7成果目標の考え方】 令和２年度から当該事業を開始し、車両購入、捕獲器計１６０基を購入し捕獲駆除を行っている。令和6年４月から10月16日現在で１５５匹のハブが捕獲された。引き続きハブ駆除を積極的に行い、離島である本村の特色的な自然環境、歴史、文化などの資源を活用した着地型観光を促進するためにも、咬症被害ゼロを目指す。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化活動の実施 観光地：５箇所 拝所：約90箇所 アクセス道路：13路線 （およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路）	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・美化活動の実施 観光地：５箇所 アクセス道路：１３路線 （およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路） 上記を中心とした村内全域	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	粟国村「ア」の国づくり推進事業	H26 ～ R13	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	①イベント開催 【アの国まつり】 1回（2日間） ②広報周知活動 【フェア出展】 1回（3日間）	①イベント開催 【アの国まつり】 ・イベント出演者(粟国島芸能)：演舞者：50人 ・イベント来場観光客数：100人(2日間) ・粟国村観光PR活動の実施 ②広報周知活動 【フェア出展】 ・５，０００人に観光PR用の配布物を提供する。	【今後のスケジュール】 Ｒ７年度までにイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	和牛改良支援事業	H25 ～ R8	本村畜産業の振興を図るため、県内外から母牛となる素牛としての優良雌牛牛の導入し、付加価値の高い子牛の生産ができるよう支援する	優良雌子牛導入5頭	優良雌子牛導入5頭	現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%（-22%）なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%	現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%（-22%）なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	④	粟国島農業活性化事業	R5 ～ R13	本村農業支援のため、散水車をリースし干ばつ対策の強化を図り、さとうきび等の生産力向上を支援する。	４ｔ散水車輌２台リース	サトウキビ：1,874トン以上 タマネギ：2,733kg以上 もちきび：2,921kg以上	【今後のスケジュール】 粟国村における農産物の増産に取組む。 サトウキビ：1,874トン以上 タマネギ：2,733kg以上 もちきび：2,921kg以上	【R7成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	国際交流支援事業	H27 ～ R13	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	海外ホームステイ生徒派遣 ５人	【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」（80%以上）を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加（生徒の60%以上が受験）	【今後のスケジュール】 派遣予定者：５名 【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」（80%以上）を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加（生徒の60%以上が受験）	【R7成果目標設定の考え方】 【成果目標①】 大多数の生徒が「授業等への取組姿勢などが向上した」と考えれる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者増加については、過去の実績を勘案して設定した。
4	②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	５月か翌年３月まで月平均７０コマ以上の村営塾の実施	【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 【成果目標②】 対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」（80%以上）を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 【成果目標①】 沖縄学力到達度調査で県平均を上回る状況を継続する。 【成果目標②】 アンケートの結果、対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上した」と答えた割合が80%以上	【R7成果目標設定の考え方】 県到達度調査結果の過去の実績を勘案して設定した。また、アンケートについては、令和５年度より実施。
4	③	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	対象児童生徒の「視野が広がったか」（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を継続し児童生徒の生きる力を育む	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
5	①	粟国村交通移動手段低減化対策事業	R5 ～ R13	本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの運賃を一部支援する。	那覇泊港～粟国港間の乗船運賃を一部補助する。	フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、利用者へのアンケート調査により、利用客が具体的に何を望むのかなど当該事業のあり方を検証する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、利用客が何を望むか等をアンケートにより検証する。
5	②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R7 ～ R8	粟国⇔那覇間の車両航送利用者に対して往復運賃の半額補助を行う	自動車航送運賃を低減するための支援実施	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減する。また、住みよい環境を整備することにより、村の総合計画にて目標としている人口増加にも務める。	利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地や集落内などの緑化及び美化活動	指定箇所の実施	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	過去の実績を基に引き続き、魅力的な観光地としての景観形成に取り組む。	
2	①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	フェリー欠航時に代替の交通手段として、渡名喜村～那覇空港間のヘリタクシー利用者の運賃負担を支援することにより、島民及び来島者の利便性を確保する。	観光客及び島民に対するフライト実施の支援回数 50回	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(８０%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) Ｒ7年度：50回	【Ｒ７成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、事業の目的である交通の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	渡名喜村自動車航送運賃低減化事業	R6 ～ R13	村民が沖縄本島及び久米島町へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、渡名喜村～久米島町～泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間車両航送台数 自動車　193台 バイク　　4台	沖縄本島及び久米島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	本事業の継続により離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3	①	多用途住宅整備事業	H24 ～ R11	農漁業をはじめ多様な産業・各種団体職員等のための住宅を確保し、地域雇用の創出と定住人口の増加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途住宅を整備する。	実施設計：3件 建築工事：1件	実施設計：3件 建築工事：1件	後継事業において、6棟10世帯の住宅を整備する。	過去の実績を勘案して設定 ※世帯数の考え方 1棟2世帯×4箇所=4棟8世帯 1棟1世帯×2箇所=2棟2世帯 合計6棟　10世帯
4	①	渡名喜村「白砂の道」再生事業	R7 ～ R13	本来の排水機能を発揮しておらず、かつ集落景観を阻害する要素となっているU字溝を改善することで、本来の排水機能を確保するとともに渡名喜村民が誇りを持てる良好な集落景観の整備する。	・白砂の道の再生事業　基本設計・実施設計・工事実施	・白砂の道の再生事業　基本設計・実施設計・工事の完了	【R14成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や村民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 Ｒ７：基本・実施設計・工事（第１工区） Ｒ８：「白砂の道」工事（第２工区） Ｒ９：「白砂の道」実施設計、工事（第３工区） Ｒ１０：「白砂の道」工事（第４工区） Ｒ１１：「白砂の道」実施設計、工事（第５工区） Ｒ１２：「白砂の道」工事（第６工区） Ｒ１３：「白砂の道」工事（第７工区）	【R14成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。	検査技師等スタッフ来島渡航費の支援。	集団検診（がん検診）受診率38.0%以上。	【今後のスケジュール】 引き続きR7年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。
1	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R13	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施。	渡航費支援が必要な人への支援率。 100%。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげ、受診者の負担軽減を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。
2	①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H26 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃（観光地15カ所、アクセス道路　1カ所）	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃を行い、観光地の景観と魅力向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、引き続きアンケートにより検証する。
2	②	「ココロに残る島旅」南大東島PR事業	R7 ～ R7	南大東島の魅力を国内に発信し、観光客誘致による地域活性化を図る。	東京都心の都営地下鉄車内広告（ポスター）を掲示	島内ガイドツアー参加者数を前年度比10%増加	【今後のスケジュール】 今年度の広告掲示の効果を確認しながら、さらなる認知拡大を目指し、他の路線への広告展開の可能性についても検討していく。	【R7成果目標設定の考え方】 広告により南大東島のガイドツアーへの認知度が大幅に向上し、観光客誘致につなげられたことが検証できる指標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	第2次南大東村観光振興計画事業	R5 ～ R7	観光振興計画を具体化し、施策の目標やKPI、実施スケジュールを明確にすることで、計画的かつ実行性のある観光振興を推進する実施計画を整備する。	観光振興実施計画の策定	観光振興実施計画の完了	観光客の増加:5,000人（R9年度）	観光客の増加は以下の数値を参考に設定した。 南大東村総合計画
3	①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R7成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、引き続きアンケートにより検証する。
5	①	文化の継承と観光の拠点機能強化整備事業	R5 ～ R7	南大東ふるさと文化センターは、村の歴史や文化の品々などを展示し、観光や学習の場の役割を担っている。既存の施設を更に活用する場として整備し、多くの観光客や島民の学習の場として機能強化を図る。	持続可能な運営体制の構築、地域資源を活用した教育コンテンツの開発、文化資源のデジタル化と保全体制の整備、情報発信力の強化、展示機能の充実、ワーケーション対応型レンタルスペースの整備を行う。	・展示物・資料の整理・収集・デジタル化、運営体制の構築・教育コンテンツの開発実施 ・施設改修工事完了	【R9成果目標】 年間利用客数　5,000人	【R9成果目標設定の考え方】 総合戦略の実績及び目標を参考に設定した。
6	①	南大東村ビジターセンター施設機能強化事業	R5 ～ R7	南大東村ビジターセンターの施設機能強化を行うことで天然記念物を地域の貴重な財産として活用することにより、生涯学習や環境教育の場として、更なる人々の交流、地域活性化を図ることを目的とする。	持続可能な運営体制の構築、地域資源を活用した教育コンテンツの開発、住民との共感を醸成する広報基盤の強化、展示・観覧環境の整備と機能強化を行う。	・展示物・資料の整理・収集・デジタル化、運営体制の構築・教育コンテンツの開発実施 ・施設改修工事完了	【R9成果目標】 年間利用客数　5,000人	【R9成果目標設定の考え方】 総合戦略の実績及び目標を参考に設定した。
7	①	循環型農業推進事業	R5 ～ R8	南大東島のサトウキビ収量および糖度に、土壌の何が強く影響しているかが明らかにされていない為、これらの収量及び糖度に影響する土壌要因を検証する。	土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験をを行う	土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験完了	【今後のスケジュール】 とうきび増産プロジェクト取組計画を検討し、サトウキビの生産増を目指す。	【R9成果目標】 本村のさとうきび増産プロジェクト取組計画において、5%程度の生産増を目標としている。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
7	②	南大東村水産業振興計画策定事業	R5 ～ R7	水産業振興基本計画を具体化し、施策の目標やKPI、実施スケジュールを明確にすることで、計画的かつ実行性のある水産業振興を推進する実施計画を整備する。	水産業振興実施計画の策定	水産業振興実施計画の完了	漁獲量:150t（R9年度） 水産加工品売上高:3,600千円（R9年度）	漁獲量及び水産売上高は以下の数値を参考に設定した。 南大東村総合計画

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R13	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施：3,000m（10箇所） ・作業員配置4名 ・重機による作業２回	・魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化の実施を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において魅力的な景観形成が図られていると観光客から80%以上評価の継続を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R13	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・文化交流イベントの開催：4回 （沖縄本島：1回、県外1回）	・島の観光入客者数：1,000人以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において入域観光客数1.4千人以上を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R13	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。	・学習支援員（塾講師）配置：1名 ・東大生によるオンライン双方向授業：授業数66授業/年、講師10名	・令和7年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校　県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校　県平均以上 ・1年生、2年生の実施	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。 【将来的な目標】 北大東村において小学校、中学校共に県平均以上を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。	・認定こども園支援員配置：6名	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合（80%以上）を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・認定こども園の運営する。 【将来的な目標】 北大東村において育児の負担感が軽減されていると保護者から80%以上評価継続を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R13	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において派遣された児童生徒が広い視野を持てたかを保護者から80%以上評価継続を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R13	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。	・特定重病患者等の検診助成の実施 ・専門医療従事者の招聘	・渡航費支援が必要な人への支援率：100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか（80%以上）を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・特定重病患者等の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続する。 ・専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において心身の健康に関する不安が解消されたかを受診者から80%以上評価継続を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。
4	①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施：300m	・魅力的な景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。 【将来的な目標】 北大東村において魅力的な景観形成が図られていると観光客から80%以上評価を目指す。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①	土づくり推進事業	R3 ～ R13	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成（40圃場）	・土壌カルテ作成（40圃場）	【今後のスケジュール】 ・Ｒ7：土壌カルテ作成 ・Ｒ8：土壌改善 ・Ｒ9：改善土壌への作付 ・Ｒ8-9：改善土壌での収穫 ・Ｒ9：Ｒ8-9の生産量確定値 【Ｒ9成果目標】 ・農産物生産量　28,617t以上	【Ｒ９成果目標の考え方】 直近７年中最大及び最小を除いた５年の農産物生産量の年間平均値に、過去の平均的な増減率を乗じた値以上を目標として設定した。
6	①	重要文化的景観拠点エリア活用・修景事業	R6 ～ R9	北大東村の地域振興、文化財活用及び観光振興のため、歴史資源である重要文化的景観の範囲内において、拠点エリアの活用・修景整備を行う。	・実施設計作成	・整備工事のための実施設計完了	【今後のスケジュール】 ・Ｒ7：実施設計 ・Ｒ8～9：整備工事 ・R10：供用開始 【R10成果目標】 ・遺構を活用した施設・空間整備の数＿２か所	【R10成果目標の考え方】 北大東村総合計画においては、しまづくりのリーディングプロジェクトとして、「文化的景観を活かしたプライドの醸成と観光交流」を設定した。しまづくりをけん引する施策として、拠点エリアの整備を推進する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
7	①	北大東村ヤシガニの持続活用及び保護事業	R7 ～ R9	北大東村の地域振興、自然環境保護のため、生息数の減少が懸念されるヤシガニについて適切な持続活用及び保護のための調査を行う。	各島の主に海岸部において夜間のルートセンサスを行い、ヤシガニを目撃により確認する。確認した個体は一時捕獲し、個体数・確認位置・サイズ等を記録する。 また、個体数の重複カウントを防ぐため、マーカー(調査中は消えないもの)を用いて個体識別番号を確認個体に背甲に付す。 日中は誘因餌を複数地点に設置することでヤシガニの誘因を図り、個体の確認に努める。 なお、本調査の調査ルート及び確認地点はGPSで記録する。その他の主な記録項目は、確認日時、位置情報、新規捕獲/再捕獲、標識番号、性別、胸長、甲長、確認環境、行動、個体写真である。	北大東村におけるヤシガニの保全の取り組みの検討、ヤシガニ損傷被害の抑制策の検討。	【今後のスケジュール】 R7年度：生息状況調査、損傷被害調査 R8年度：保全の取り組み実施、損傷被害抑制策の実施 R９年度以降：ヤシガニの個体数調査及び損傷被害抑制策の効果検証	本事業を完了跡、沖縄県及び北大東村における希少な動物であるヤシガニの保全および持続可能な利活用に向けて、保全の取り組みと損傷被害抑制策の実施を推進する。
8	①	地域資源活用型観光エンゲージメント創出事業	R7 ～ R11	北大東島特有の地理・歴史資源を活用し、観光産業の発展と地域活性化を図るため、DXによる観光誘客及びプロモーション活動を行うことで地域経済の活性化を図る。	・観光ターゲット層の調査及びプロモーション戦略計画の策定 ・SNS,観光サイトでの情報発信強化 ・観光ガイドブックの作成 ・観光業（予約システム、CRM、FSP導入）のDX化推進	・島のSNSフォロワー合計数：10,000人以上 ・観光情報サイトアクセス数：60,000回	【今後のスケジュール】 R7　調査、計画策定等 R8　誘致開始 R9　施策強化 R10　リピーター育成 R11　総括と確立	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
9	①	北大東村急患搬送車両（救急車）導入事業	R7 ～ R7	常備消防でない本村では消防団が救急搬送業務等を担っているが、今後増加が見込まれる観光客や工事関連事業者等、多様化する需要に対応するため、急患搬送車両（救急車）の導入を行う。	・急患搬送車両（救急車）の導入	新たに導入される救急車の設備操作に関する講習会を１回開催し、急患搬送体制の向上を図る。	消防団員は島から転入・転出により毎年若干名の入れ替わりがあることから、救命技能の維持・向上を図るため、今後も年１回程度講習会の継続開催を予定しております。	－

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・1団体約200名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域（各戸別訪問）を継続的に実施 ・年間受入観光客数延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数　1,590人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R7成果目標の考え方】 過去の実績(R4、R5実績およびR6見込み)を勘案して設定した。
1	②	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路,漂着ゴミ回収・分別の美化作業を実施する。	観光施設及びアクセス道路、海浜の美化作業を実施する。 観光地　：　15カ所 アクセス道路　：　10路線 海浜　：　村一円	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃作業を実施し、観光地としての魅力向上を図る。	【R7年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントの開催支援等を行う。	・委託事業7件 ・補助事業2件	村内入域観光客数　22,360人以上	【今後のスケジュール】 継続的なイベントの開催及び支援を行い観光誘客を図る。	【R7年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	離島景観創出活用事業	R6 ～ R7	村内海岸線の持続可能な景観環境の創出と活用（利便性向上）を目的に策定した基本整備計画を基に、景観環境整備に向けた実施設計を行う。	設計業務の実施	設計業務の完了	【R10成果目標】 村内入域観光客数 19,000名以上 【今後のスケジュール】 令和８年度　景観環境整備工事 ※景観整備と環境（施設）整備で事業を分けて実施を行うことで検討中。	【R10年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	伊平屋西線Wi-Fi基地局整備事業	R7 ～ R7	観光客の利便性を高めるため、西側エリアに携帯キャリア等の電波が届かない箇所にWi-Fi基地局を整備し安心安全な観光地形成を目指す。	・Wi-Fi基地局の整備	西側エリア通信カバー率　90%以上	【今後のスケジュール】 Wi-Fi基地局整備を実施し、地域住民や観光客等の利便性を図り安心安全な環境の構築を図る。	【R8年度成果目標の考え方】 地域住民や観光客の利便性が図られたと考えられる値として設定した。
2	①	病害虫防除事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤（性ﾌｪﾛﾓﾝﾁｭｰﾌﾞ）設置：160ha	・さとうきびの生産量　5,１１０トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹／日 以内	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜ＪＡと調査・指導を行う	【R7年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13	本村の畜産業の振興を図る為、畜産農家へ優良繁殖牛導入を支援する。また、農家へ導入費用の一部を助成し、経営の安定化を図るとともに計画的な優良繁殖牛導入を行う。	優良母牛導入の支援　14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	【今後のスケジュール】 今後も畜産振興を図るため、農家に導入支援を行う。	【R7年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
3	①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R13	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月１回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化学習の日の開催（毎月第3水曜日） ・各支部・団体への支援（6団体）	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望をもち、継続して後継者を育成する。 今後も、芸能保存活動並びに独演会等の企画運営を支援していく。	【R7年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置　各2名 ・学習支援員の配置　各2名	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか（80%以上）を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校（国語・算数・理科）　－0.3ポイント以上 中学校（国語・数学・理科・社会・英語）　－7.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R７年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	英語学習支援事業	H25 ～ R13	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成をするため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・(ALT講師)オンライン英会話教室・（TESOL講師）オンライン英会話 開催64回/年 ・海外短期留学（アメリカ）派遣 3名 ・ＥＳＬキャンプ派遣　3名 ・英語教室の開催	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。		【R7年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか（80%以上）含め、当該事業のあり方について検討する。		【R7年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	⑤	キャリア教育支援事業	H26 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・外部講師を招聘しての授業の実施 ・村内での産業学習の実施 ・本島への職場体験 （マナー講座の実施） ・職場体験を通した発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（60%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R７年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑥	琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業	R5 ～ R7	調査をもとに制作した出版物を配布することで、万国津梁の橋であった沖縄独自の環境風土の価値と魅力を全国に届ける。離島間で連携した調査、出版、展示のサイクルによって、島外への発信の機会を生み、来島者、関係人口増加とする。	調査結果を活かした出版物の刊行、展示の実施	出版物制作委託の完了 展示会の実施　1回／年　（300人） 出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったか(70%以上）、本事業のあり方について検証する。	３年間の継続事業により下記を目指す。 ・出版刊行のシリーズ化 ・企画展示参加者または実施数の増加 ・文化観光をベースとしたアクティビティの増加数	【R7年度以降成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な風土環境の価値を実感し、関わりを持ち来島する機会を促進する値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	委託事業　1件	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児における負担の軽減を図る。	【R７年度成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が育児における負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	適正飼養推進化事業	R4 ～ R8	村内では、多頭飼養や避妊去勢手術を行っていない猫が多く存在し、住民への糞尿や生ゴミを荒らす被害が多発している。適正飼養を実施するために環境整備や野良猫や野猫を捕獲を行い、今後は、村の希少生物の保護につながるような取組を行う。	・避妊去勢手術3回/年	・避妊去勢手術実施済猫50頭以上	【今後のスケジュール】 R7～R8　野良猫や野猫の捕獲および捕獲後の猫の対処（避妊・去勢手術助成）などを実施	【R7年度成果目標の考え方】 猫の飼養条例に基づいた避妊・去勢手術助成を先導的に行うことで動物にも人にも優しい住環境づくりを行うことを目標とした
4	③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで、離島における定住環境の改善を図る。	自動車航送運賃の低減 R7年度：年間7,020台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R7年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地しての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	花木の植栽及び肥培管理 16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃 16カ所	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光施設等の環境美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る	【R7成果目標設定の考え方】 島内を訪れる観光客や村民を対象に魅力的な観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定し、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	いぜな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R12	・いぜな尚円王まつりの開催に係る運営費をいぜな尚円王まつり実行委員会に対して補助。 ・補助率：100% ・補助対象経費：委託料、備品購入費、報償費、印刷製本費、使用料、広告料等 ・開催日時：8月9日・10日予定 ・開催場所：伊是名村臨海ふれあい公園内	いぜな尚円王まつりの開催	来場者数　2,475人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	いぜな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R13	いぜな88トライアスロン大会支援	いぜな88トライアスロン大会開催	大会参加者の満足度（80%以上）を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客及び認知度向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 大会参加者が満足することで本村の魅力が伝わり、観光誘客が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	④	「尚円王（金丸）生誕の村」整備事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、尚円王の血族に下賜された旧蔵品等の修復を行う。	旧蔵品の修復を完了	旧蔵品（復元資料）を活用した行事への来場者数：160人	旧蔵品を活用した公事清明祭を開催し、広く観光誘致に努める。	復元された旧蔵品を使用する公事清明祭の来場者数 令和7年度　160人（目標値）
1	⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R13	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	・大会内訳 ドラッグレース　2回 ジムカーナ―　1回 ドリフト　　1回	来場者数　1,344人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R７成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥	伊是名海岸環境整備事業	R3 ～ R7	地域資源を活かした心安らぐ魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備工事を実施する。	伊是名海岸環境整備工事の完了	【今後のスケジュール】 R4　実施設計 R5　整備工事 R6　整備工事 R7　整備工事 R8　供用開始	【成果目標設定の考え方】 供用開始後1年目（令和8年度） 年間観光入客数　26,000人 上記の数値は、R1年～R5年の平均値を設定した。
1	⑦	伊是名村出店事業者販路拡大支援事業	R6 ～ R12	村外で実施される各種イベントへ出店する伊是名村内事業者の増加及び販路拡大を支援する。	R7年度については以下の各フェアへ出店される事業者の出店料を助成する。 １．離島フェア ２．ありんくりん市	各フェア終了後に売上額の報告を行い。前年度対比及び社会情勢等を鑑み、費用対効果を検証する。また出店された事業者からアンケートを頂き、今後の事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後、出展事業者が4社以上満たない場合については新たな出展事業者が参入しやすい環境を図る。	村内の事業者を対象に販路拡大及び特産品や本村のPRが出来るよう、支援を継続し、本事業のあり方について、出展事業者や村商工会と連携を強化しながら検証する。
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリー自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送往復運賃（伊是名⇔運天港）の負担軽減	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	消防ﾎﾟﾝﾌﾟ自動車整備事業	R7 ～ R7	激甚化する自然災害等に備え、地域住民および観光客等一時滞在者の安全を確保するため、緊急車両（消防車）の整備を行う。	消防ﾎﾟﾝﾌﾟ自動車整備	消防車立入困難地区（３か所）の解消	R7年度成果目標 整備した消防車を活用した訓練の実施。 ①消防団定期訓練　月1回（年12回） ②沖縄県消防協会北部地区支会 操法大会訓練（6月～9月） ③村及び関係団体防災訓練（年6回） 今後のスケジュール R7.1.25消防団認知度向上促進事業 （沖縄県消防協会北部地区支会）	消防団員の定期訓練を毎月1回以上実施を目標とし、各種団体の訓練に向けた訓練を別途実施することで、消防車両の資機材を扱う機会を増加させ、団員が使いこなせるようにする。訓練の回数を今まで以上に増加させ、団員の意識・自信にもなり、住民や観光客等の安全確保向上につながる。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	人材育成事業 （日高小との交流事業）	H24 ～ R12	伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習を実施し、環境の異なる地域の暮らしや文化を学習する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 派遣者 伊是名小学校6年生　16人 引率者　5人	保護者アンケートを行い、児童の視野が広がったと感じたか（80%）を含め、当該事業の在り方について検証する。	（今後のスケジュール） これまでの事業内容を両校で振り返り、より効果的な事業展開を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 保護者へのアンケートを実施し、結果から事業の在り方について検証する。
3	②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数：8団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。	【R７成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により保護者の育児における負担感の軽減を図る。	預かり保育士の雇用：2人	保護者へのアンケートで預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、当該事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担感の軽減を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3	⑤	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保：４人	令和元年度～令和５年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校　-6.4ポイント以上 中学校　-7.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 R5年度までの過去5年間の実績を踏まえて設定した。
4	①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量の増加を図るため、圃場に堆肥の散布を行う。	堆肥導入数量：2,000ｔ	さとうきびの反収：5,300ｋｇ	【今後のスケジュール】 継続的に堆肥を導入し、連年散布による生産物の増量を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 令和6年度伊是名島さとうきび増産プロジェクト会義において実績報告のあった過去5ヵ年分を平均し目標反収を設定。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給することで地力強化を推進するとともに、資源循環による環境負荷の低減を図る。	除礫処理量：7,450㎡	作土造成量：13,410 t	R5～R8　供用開始 年間作土造成　13,410 t	【成果目標の設定】 機械処理能力＊土の体積重量より算出した。
6	①	伊是名村公営墓地整備事業	R6 ～ R7	近年墓地の継承者問題等により村外転出が続いている。そのため公営墓地を整備し、解決に努める。	墓地建設に係る用地購入、工事の施行	墓地建設に係る墓地の購入、工事の完了	【成果目標】 ・公営墓地整備後の入居数を実施設計完了後の母数に対し最大値を設定する。 【今後のスケジュール】 ・R8　墓地団地の運用	【R7成果目標設定の考え方】 本年度では成果を発揮することが困難であると考えた結果、年間あたり入居数を後年度効果として設定する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	肉用子牛の品質及びセリ価格を向上させることで、畜産農家の経営の安定化を図るため、畜産農家に県内外の優良繁殖雌牛を導入する沖縄県農業協同組合に導入に係る経費の支援（補助）を行う。	優良繁殖雌牛への支援：50件（頭）	■導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合：107%以上	【今後のスケジュール】 優良繁殖雌牛の導入を促進し、肉用子牛の産地として定着させていく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
2	①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する久米島紬の新商品開発や販促開拓等の取組を支援（補助）する。	・物産展等への出展：2回 ・呉服店(問屋)へのセールス：2回 ・新商品の開発：10点 ・アドバイザー招聘：1人	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ■反物売上額　6,500万円以上 ■小物売上額　1,400万円以上	【今後のスケジュール】 県内外の物産展等に出展するなど島外にＰＲを行い、久米島紬や関連商品の売上増加に持続的な伝統工芸産業の振興を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
2	②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	久米島産の特産品の売上の向上を図るため、経営規模が小さい久米島の特産品事業者の販路拡大に向けて、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動を支援（補助）する。	・県内外での物産展開催、出展：県外2回、県内4回	■開催・出展した物産展における久米島産の特産品の販売額：30,200千円	【今後のスケジュール】 島特産品の売上の向上に向けて、特産品事業者の県内外の販路開拓に係る取組を支援する。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	①	観光誘客促進事業	H26 ～ R13	久米島の知名度向上、観光客の利便性向上及び観光閑散期における観光誘客を図るため、久米島観光の日イベントの開催や、県内外におけるプロモーションの実施、観光案内所の開設を行うほか、島内にフォトスポットの整備等を行う。	・観光広報業務実施（広報活動、島外イベントでのプロモーション活動、島内イベント「久米島観光の日」開催、フォトコンテスト開催）：5回 ・久米島観光案内業務（空港・港）：２箇所 ・島内フォトスポット整備：１箇所	■久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合:80%以上 ■MICE年間受入件数：37件	【今後のスケジュール】 第３次久米島観光振興計画に基づき観光入域数の目標達成に向けて観光振興施策を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 ■アンケート対象者の大多数が訪れてみたいと考えられる数値として設定した。本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 ■MICE受入件数については、過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R13	観光消費額の増加を図るため、観光閑散期における教育旅行等の団体客誘致に向けて、県内外における誘致活動や体験プログラム販売促進等を実施する。	・教育旅行の誘致活動：5回以上 ・教育旅行誘致：15校 ・受入人数：2,150人以上	観光体験プログラム売上額 ■一般:2,456,630円以上 ■教育旅行:13,825,085円以上	【今後のスケジュール】 今後も体験プログラムの質の向上や観光関連商品の売上増加を図りつつ、観光閑散期の入域数の底上げを行い平準化を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	③	久米島観光ブランディング事業	R4 ～ R13	「食」をテーマとしたブランド化を通じた観光消費額の増大を図るため、ご当地グルメ等を発掘し、プロモーション等を行うことで販売を促進する。	・ご当地グルメ、お土産の販売促進：2回 ・ご当地グルメの新規参加事業者の開拓：6店舗 ・島内飲食事業者勉強会の開催：2回 ・ブランド保持に向けた商標登録や飲食店組合の設立	一人当たりの観光消費額 ■食事・お酒：15,586円 ■お土産・買い物：9,152円	【今後のスケジュール】 久米島観光の認知度向上を図り、観光資源を活かした地域ブランドの確立を目指す。	【R７成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に掲げる一人当たりの観光消費額目標値を設定した。 ※沖縄県観光統計実態調査数値が出所
3	④	アウトドアツーリズム展開促進事業	R5 ～ R6	久米島観光における付加価値の創出を通じた新たな顧客層の誘客を図るため、新たな旅のスタイルとして注目されているアウトドアツーリズムを、奥武島キャンプ場を拠点に商品化し販売を促進する。	・アウトドアツーリズムの商品化：3件	■奥武島キャンプ場の利用者の増加：1,500人	【今後のスケジュール】 アウトドアツーリズムを展開することにより、閑散期の誘客促進及び島内で生産された食材を取り入れたサービスの提供することにより、地域経済の循環につなげていく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	⑤	観光地等環境美化強化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路や、観光地として利用されている広場等の環境美化を行う。	・環境美化作業の実施：町内45か所	■観光地として魅力的な景観であると回答した観光客の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 観光客の動向や自然環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的に環境美化作業を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が魅力的な景観であったと考えらえられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
3	⑥	スポーツコンベンション推進事業	R5 ～ R13	スポーツキャンプ・合宿のより一層の誘致を図るため、野球関連施設をプロ野球チーム等に求められる水準を満たす競技環境に整備する。	・野球場：高品質（透水性・硬度・均一性等）な土・芝生の整備・管理 ・野球場：安全性を高めるためのセーフティフェンスの改修 ・屋内練習場：効果的で高水準なトレーニングを行うための機器（トレーニング機器、打撃機器）の整備	■スポーツキャンプ、合宿受入件数：11件	【今後のスケジュール】 競技団体からキャンプ・合宿地として選ばれる競技環境を整備し、キャンプ・合宿の継続的な誘致を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
3	⑦	久米島まつり活性化事業	R7 ～ R13	久米島来島の契機となり得る魅力的な久米島まつりを開催することで、観光地としての認知度の向上及び入域観光客数の増加を図る。	・久米島まつり開催１回	■久米島まつり来場者数：9,300人	【今後のスケジュール】 久米島に来島する契機となるよう久米島まつりの内容を魅力化に取り組み、来場者の増加と、観光リピーターの確保つなげる。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心及び中学生の学力（英語）の向上を図るため、小・中学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	英語指導員配置数：小学校1名、中学校1名	■英語に対する興味・関心が高まったと回答した児童の割合：80%以上 ■中学校の県学力到達度調査における英語の平均正答率：県平均以上	【今後のスケジュール】 継続的に英語指導員を配置による支援に取り組むことで、広い視野を持ち、異なる文化を持った人々と共に協調して生きていく資質や能力を育成していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ■過去の実績を勘案して設定した。
4	②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R13	児童の学力向上を図るため、小学校に基礎学力向上学習支援員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童に支援を行う。	基礎学力向上学習支援員配置数：小学校３名	■小学５、６年生の沖縄県到達度調査における国語・算数の平均正答率：県平均以上 ■小学４年生の学びのたしかめにおける国語・算数の平均正答率：県平均以上	【今後のスケジュール】 継続的に学習未定着の児童を中心に個々の習熟に応じた学習支援に取り組み、学力を底上していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
4	③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置し、多様なニーズに対応したきめ細やかな支援を行う。	特別支援教育支援員を配置：小学校10名、中学校2名	■特別支援教育支援員の対応に満足していると回答した対象児童生徒の保護者の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 継続的に困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	④	小中アシスト相談員事業	R4 ～ R13	児童生徒の社会的自立に向けて不登校の児童生徒の登校復帰を促進するため、アシスト相談員を小・中学校に配置し、学校とアシスト相談員協働で不登校の児童生徒が登校できるよう支援する。	・アシスト相談員を配置：小・中学校2名	■不登校率の減少：３.1ポイント	【今後のスケジュール】 いじめの積極的な認知を図り、新規不登校者を抑えながら、不登校児童生徒の登校につなげていく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■長期的な心のケアが必要であることから、過去の実績も勘案しながら設定した。
4	⑤	学校ICT活用支援事業	R5 ～ R13	ICTを活用した分かりやすい授業を実施することで児童生徒の情報活用能力の向上につなげるため、ICT支援員の配置等により教職員の効果的なICTの活用等を支援する。	・ICT支援員配置：１名 ・サービスデスク設置	■ICT活用により授業が分かりやすかったと回答した児童・生徒の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 ICTを活用した分かりやすい授業を実施することで、児童・生徒の情報活用能力を育成していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒に産業や職業の魅力を伝え、就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。 ・ジョブシャドウイング・わくわくワーク(小) ・職場体験(中) ・インターシップ(高) ・職業人講話(小中高) ・動画編集・プログラミング講座(中) ・グッジョブ連携協議会の開催 ・追跡調査の実施	■就業に対して理解が深まったと回答した児童生徒の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 産業について興味を持たせ、児童生徒自らが学校生活を送る中で、進学・就学をイメージした学習ができるように取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	②	ホームステイ等派遣事業	R5 ～ R13	児童・生徒に国際的な視野を持たせるため、中学生の海外ホームステイへの派遣及び小学生の島内在住外国人との交流を実施し、児童・生徒に異なる言語や文化等への理解を深める機会を提供する。	・海外ホームステイへの派遣：中学生２人 ・島内在住外国人との交流：小学生12人	■国際的な視野が広がったと回答した生徒の割合：80%以上 ■英語に対する学習意欲が向上したと回答した児童の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 海外ホームステイ、島内在住外国人との交流を通して語学力向上ならびに異文化理解を深め、国際社会において主体的に行動できる人材を育成していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
5	③	久米島現代版組踊推進事業	H24 ～ R13	地域住民等の久米島の歴史・文化に対する興味・関心を高め、保存・継承につなげるため、小中高校生による久米島の歴史的遺産を題材に、沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊」をベースに、琉舞、エイサー、空手等の民俗芸能の要素を取り入れた現代版組踊の舞台公演等を実施する。	・現代版組踊公演：1回 ・各種地域イベント等への出演：6回	■久米島の歴史・文化に対する興味・関心が高まったと回答した舞台公演来訪者の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 新たなメンバーの参加を募り、舞台の活動を通して久米島の歴史文化に対する理解を深め、地域住民に発信していく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	④	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R12	古くから中国、東南アジア諸国等との交易・交流を通じて形成された沖縄独自の歴史・文化を保存・継承するため、久米島にのこる近世久米島の歴史及び中国文化、江戸文化の受容の一端を読み取れる貴重な資料「古文書」を修復、翻刻口語訳し公開・活用する。	・古文書の修復：100件 ・修復した古文書の翻刻、口語訳：30件	■修復文書速報ロビー展見学者数：6,320人以上 ■修復を行った古文書の調査利用件・社数：53件以上、5名以上	【今後のスケジュール】 修復した資料を積極的に展示会や研究紀要等において公開するとともに、研究者への調査利用も受け入れ、得られた調査結果の公開を行っていく。	【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。
6	①	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R13	観光入域数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填することで、割高な渡航運賃の低減を行い観光客等が訪れやすい環境を整備する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	■久米島町への観光入域者数：130,000人以上	【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画の目標値を基準とし、入域観光客数の増加を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。
6	②	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R13	島外において開催される各種大会等への参加を通じて児童・生徒に広い視野を持たせるため、同大会等の参加に要する派遣旅費に対する支援を行い、地理的・経済的な理由に左右されず参加できる環境を整備する。	島外で開催される各種大会・コンクール等に参加する生徒の保護者に派遣旅費を支援：657人	■島外において開催される各種大会等に参加して視野が広がったと回答した児童・生徒の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	③	幼稚園児預かり保育運営事業	R6 ～ R13	就学１年前の子どもを安心・安全に預けられる環境を整え保護者の育児に係る負担感を軽減するため、幼稚園児の預かり保育を実施する。	・預かり保育の実施：２園	■安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと回答した保護者の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 預かり保育指導員・ヘルパーを確保し、預かり保育を実施する。	【R7成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が負担感が軽減されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	④	離島交通課題対策事業	R7 ～ R13	公共交通、観光バス及び各産業の資材等を運搬するトラックの運行を維持することで、住民並びに観光客の利便性の確保と、各種産業の経済活動の下支えを図るため、当該運行のドライバーに従事する意欲のある者に、一定の条件を付して大型免許の取得に係る費用の一部を支援（補助）する。	・大型免許を取得する者への補助：５名	■公共交通（町営バス）、観光バス、資材等を運搬するトラックを運行するドライバーへの従事者数：５名	【今後のスケジュール】 不足するドライバーを、計画的に育成・確保できるよう広報活動を強化して取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 ■ドライバーの不足数及び高齢に伴う引退数を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R13	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	英語指導助手：５人配置 小学校４校：３人配置し分担 中学校２校：２人配置	①小学校 対象児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合：80%以上 ②中学校 沖縄県学力到達度調査（英語）における、県と本町との平均正答率の差 平均以上	【今後のスケジュール】 小学生、中学生の児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施 ・話すこと、書くこと、コミュニケーション能力の定着を図る 【小学生】英語の興味・関心高まった：80%以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する 【中学生】県との平均正答率の差：平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する	【R7成果目標設定の考え方】 英語に対する興味・関心度をアンケートにより数値化し、学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。
1	②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	ICT支援員を２人配置する。 小学校4校・中学校2校を分担する。	対象児童生徒へのアンケート調査により「ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか」の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、児童生徒の情報機器の操作能力や情報活用能力の向上を図る。 対象児童生徒の保護者へアンケートを実施し、特別支援員の対応に満足したか：80%以上が令和13年度までの9回のうち9回達成する	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員を6人配置する。 小学校４校に対して4人配置する。 中学校２校に対して2人配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校（国語・算数） 平均以上 中学校（国語・数学） +4.0ﾎﾟｲﾝﾄ以上	【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。 【小学生】国語・算数：平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する 【中学生】国語・数学：平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する	【R7成果目標設定の考え方】 学力達成度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	特別支援員を20人配置する。 小学校4校に対して18人配置する。 中学校2校に対して2人配置する。	保護者に対するアンケートにより「特別支援員の対応に満足した」と考える割合：80%	【今後のスケジュール】 特別支援員の配置を継続し、特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 対象児童生徒の保護者へアンケートを実施し、特別支援員の対応に満足したか：80%以上が令和13年度までの9回のうち9回達成する	【R7成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち、大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H26 ～ R7	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。	ＩＣＴ機器の整備 ・電子黒板:10台 ・電子黒板用ＰＣ:10台	児童生徒へのアンケートによりICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業を実施する中で、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。 事業の最終年度となる令和7年度の成果目標として、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
1	⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R13	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手（児童生徒）の活躍を支援するため、派遣費の助成やスポーツ教室を開催する。	スポーツクリニックの開催（2競技） 児童生徒の県外派遣費の助成	①スポーツ教室の保護者へのアンケートで、「スポーツへの意識が更に高まったか」の割合：80%以上 ②県外大会派遣費助成の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。 【今後の実施着地点】 数値については、派遣された児童生徒の大多数の視野が広がったと考えられる数値として80%以上を継続する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がスポーツへの意識が更に高まった又は広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑧	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ R13	町内中学生を海外への派遣及び沖縄にルーツを持つ中高生を海外から受入し、学校生活やホームステイ受入体験を通して、国際的な人材を育成する。	・海外短期派遣生徒数　１２人 ・受入対応町内中学生　８人	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の国際的な視野が広まった」の回答率１００％	今後も情報化・国際化時代を担う人材育成の為、交流事業を実施する。 各年成果目標である「児童生徒の国際的な視野が広まった」の回答率１００％を事業終期R14年まで100%継続する。	保護者へのアンケート実施。
1	⑨	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	・児童生徒交流者数　20人	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の視野が広まった」の回答率１００％	今後も今後の沖縄県・八重瀬町を担う人材育成の為、交流事業を実施する。 各年成果目標である「児童生徒の視野が広まった」の回答率１００％を事業終期R14年まで100%継続する。	保護者へのアンケート実施。
2	①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承と観光客誘致を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントの開催支援を行い、国内外へ情報を発信することで町内への集客を図る。	①八重瀬町青年エイサー祭りへの補助 ②やえせ桜まつりへの補助	①青年エイサー祭り 13,000人以上 ②やえせ桜まつり 24,000人以上	【今後のスケジュール】 引き続き、地域資源を活用したイベントの開催支援を行うとともに、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、観光客の誘致・町産品PRを実施する。 事業の最終年度となるR13年度まで①青年エイサー祭り13,000人以上②やえせ桜まつり24,000人以上を達成する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	八重瀬町観光地美化作業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地：１３箇所 アクセス道路：４５箇所	観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じている人の割合：80%	【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・サッカー場プロ仕様芝生整備 ・運動公園整備工事及び芝生用肥料及び資材等の購入	野球キャンプの受入れ　4件以上 サッカーキャンプの受入れ　4件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。 【今後の実施着地点】 野球キャンプ4件以上の受入れと、サッカーキャンプ4件以上受入れを設定する。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R13	観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。	・プロモーション企画実施　6回以上 ・SNS等による情報発信　100回以上	主要観光施設の入域客数 190,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。 事業の最終年度となるR13年度まで、主要観光施設の入域客数190,000人以上を継続する。	
2	⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業	R4 ～ R9	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設体育施設を屋内運動場として機能強化改修整備を行い、スポーツツーリズムの推進を図る。	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事、工事に伴う施工監理業務を行う。	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事(継続有)、工事に伴う施工監理業務	【今後のスケジュール】 各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、実施設計書に基づいて旧具志頭小学校体育館を屋内運動場として、機能強化改修整備を行い、各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の受入れを行う。 【今後の実施着地点】 屋内運動場整備事業完了後、スポーツキャンプ2件以上の受入れを設定する。	【R7成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツツーリズムの推進施策を実施していくことを成果目標として設定した。
2	⑥	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業	R4 ～ R13	多様なスポーツ等の練習拠点機能を有する八重瀬町スポーツ観光交流施設において、多様なスポーツキャンプや大会の誘致を図るため、受入れに必要な整備を行い、スポーツを活用したスポーツツーリズムの推進を図る	サッカーグラウンドのプロ仕様芝生管理委託、備品の購入	サッカーキャンプの受入れ2件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続してスポーツ観光交流機能であるサッカーグラウンドの整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に平均値を算出し、平均値以上を設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	⑦	スポーツキャンプ事業	R4 ～ R12	観光客の落ち込む冬場に県全体で誘客促進を図るため、県の推進するスポーツコンベンション事業と連携し、サッカーチーム、野球チーム等のスポーツチームを誘致することで、観光客の誘客を図る。	集客力のあるプロチームの誘致を4チーム以上行う。	充実した練習環境でキャンプを行うことで来年度以降のリピートをしてもらい、観光客数が落ち込む沖縄の冬季に集客を図る。		
3	①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R4 ～ R12	日中、保護者が家に居ない小学生に対し、放課後や学校休校日に子どもが安心して過ごせる場所を提供する。 学童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免した場合に補助を行う。	非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免している放課後児童クラブへ補助を行う。	保護者が、本事業により就労できた又は就労を継続できたか経済的な負担軽減につながったかを検証する。	【今後のスケジュール】 保護者の経済的な負担軽減につながったか、アンケート等により検証する。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。
4	②	八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ R13	農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。	八重瀬町地産地消フェア等の開催支援	・地産地消フェア来場者数：3100人以上	【今後のスケジュール】 イベントを通じて地場産業の情報発信や地域と協力した展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	【Ｒ7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した また地域と協力した展示販売等も加えることにより、地域全体で地場産業の発展に寄与していきたい。
4	③	八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ R10	農家の経営安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入頭数：15頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合110%以上 沖縄県内の家畜市場における子牛価格 令和５年度平均 雌：431,377円 去勢：542.883円		
4	④	乳用牛改良支援事業	H29 ～ R10	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	優良乳用牛導入頭数：15頭	生産乳量：4,000,000kg以上 乳質（脂肪率）：4.0%以上		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
6	①	八重瀬歴史文化継承事業	R4 ～ R13	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂。調査成果を活用し、企画展を開催する。	[移民・出稼ぎ編] ・会議（３回） ・収集した証言や資料の整理。 ［言語編］ ・会議（３回）　・調査 ・企画展の開催　200人 ［近代資料］ ・有識者会議（4回） ・横内文書調査 ・「沖縄時論27号」調査 ・近代資料の整理	企画展の開催　200人 歴史民俗資料館における令和4年度～令和6年度企画展平均観覧者数（一般） パネル展　200人	【今後のスケジュール】 Ｒ7年度以降も町の歴史・文化の調査研究及び資料収集を継続し、その継承を図る。 企画展の来場者数200人を令和13年度まで継続する。	【R7年度成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
6	④	八重瀬町生涯学習・文化振興拠点施設整備事業	H30 ～ R9	生涯学習・文化振興拠点施設を整備することにより、南部地域を首里城を中心にした沖縄の歴史・文化を観て、学ぶことができる場として、持続可能な観光地づくりに取り組み、沖縄観光の誘客を図る。	・建築実施設計、 展示基本設計、展示実施設計（その1）	・建築実施設計、 展示基本設計、展示実施設計（その1）の完了。	【R10成果目標】 本施設整備による総目標利用者数約45,040人。 【今後のスケジュール】 町民はもとより、町内外より多くの人々が、近代史の歴史を学び、舞台芸術等の文化にふれる機会を提供し、生涯学習・文化振興の総合的な展開を図る。	【R9成果目標設定の考え方】 現在の利用状況の1.5倍に設定した。
8	①	郷土の偉人顕彰事業	R7 ～ R7	沖縄の民権運動の先駆者である、謝花昇の功績等を後世に継承する事を目的に、講演会、企画展、解説書の発刊、演劇上演を実施する。	・シンポジウムの開催 ・企画展の開催 ・解説書の発刊 ・謝花昇物語の上演	・シンポジウム参加者アンケートにより、偉人顕彰の機運が高まった割合：80% ・企画展観覧者アンケートにより、謝花昇及び沖縄民権運動について理解が深まった割合：80% ・謝花昇物語観覧者アンケートにより、郷土の偉人を誇りに思う割合：80%		

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	①	美化緑化推進事業	H27 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園９ヵ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	ヤシガニ生息状況調査	R5 ～ R10	ヤシガニ保護のため、現在の多良間島、水納島におけるヤシガニの生息状況を把握し、保全及び今後の持続的な利用に資する	多良間島、水納島におけるヤシガニの生息状況調査を行う。 ①ヤシガニ生息状況調査・・・ヤシガニを一時捕獲し、個体数・確認位置、サイズなどを記録する。 ②R7は集落背後地（北側）の腰当森（御嶽・墓地群）、浜抱護の手つかずの林帯及び海岸を調査した。今年度以降は未調査地域を計画的に調査したい。	①ヤシガニ生息状況調査・・・ヤシガニの採取は、繁殖期２回、非繁殖期１回行い500匹程を目標とする。	【今後のスケジュール】 令和7年度～9年度は、研究者、生態学専攻の学生、村民有志や観光客を募って現場調査を予定。そして、令和10年度調査では、新たな採取個体を記録し、多良間島・水納島のヤシガニ生息分布図を集大成として「ヤシガニ記録簿」を作成したい。	【R7目標の考え方】 ヤシガニの採取個体数は繁殖期400匹程度、非繁殖期50匹程度併せて100匹程度を目標としている。日中に誘引餌を設置することでヤシガニの誘引を図り個体の確認に努める。
2	①	児童生徒島外教育諸活動事業	H27 ～ R13	各種大会が島外で開催されるため、児童生徒・引率者が（派遣）参加するための交通費（航空運賃）及び宿泊費の補助金を交付する。	①児童生徒、引率者の大会派遣に係る交通費（航空運賃）宿泊費に対する補助 ②島外の児童生徒との競争や交流の機会を通して、広い視野を広げさせながら意識の向上を図る	アンケートにより大会を通して、「島内ではできない経験ができた.意識の向上につながった」割合：80%	【今後のスケジュール】 引き続き、島外への派遣を積極的に行い、児童生徒の意識高揚、能力向上を図りながら成果達成につなげていく。 【今後の目標】 派遣された児童・生徒へのアンケートで、島内ではできない経験することができたか（80%以上）をの肯定的な意見を継続することで、人材育成へ繋げていく。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者において概ね肯定的な数値として設定した。
2	②	学力向上推進ＡＬＴ活用事業	H27 ～ R13	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ＡＬＴを招聘する。	ＡＬＴ招聘：年間62回	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合：50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にＡＬＴを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図るとともに、 ①小学校：英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上) ②中学校：英検4級保有割合(50%以上) という成果目標の達成を目指す。	【R7成果目標設定の考え方】 （小学生） 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 （中学生） 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数（数学）・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みた上で臨機応変に対応できるように、オンラインでの支援も視野に入れ実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校（国語・算数）-4.0ポイント以上 ・中学校（国語・数学・英語）-6.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図るとともに、 沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)-4.0ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)-6.0ポイント以上 という成果目標の達成を目指す。	【R7 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	・沖縄本島へ小学6年生(11名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(15名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(11名)、引率者(5名) ・島内での「ライフキャリア教育」中学3年生(12名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら、で継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図るとともに、 キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上) という成果目標の達成を目指す。	【R7 成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の職業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	⑤	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R7	多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や村独自の年中行事の調査記録編集等を行い、資料を整理する。	・郷土資等の修復、公開 ・年中行事の調査記録編集整理 ・動植物記録業務	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数　220人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数　760人以上 ③シンポジウム来場者数　60人以上	【今後のスケジュール】 ①ふるさと民俗学習館の村民利用者数　220人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数　760人以上 ③シンポジウム来場者数　60人以上	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R12	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	宮古島⇔多良間島間の自動車航送運賃の補助	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	多良間村離島航空路チャーター運航支援事業	R6 ～ R13	多良間－石垣間の航空路の運航・維持により村民の利便性向上や定住条件の整備、交流人口の増加等で村の振興に繋げる。その、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、補助を行う。	多良間-石垣間のチャーター運航に対する欠損補助	多良間-石垣間航空路線の運航・維持	【今後のスケジュール】 多良間-石垣間航空路線の運航・維持	【R7成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本村の航空路が今後も維持されていることを成果目標として設定した。
4	①	多良間村心身障害児等旅費助成交付金事業	R3 ～ R13	本村では対応できない心身障害及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	対象者の申請に対し助成金を交付する。	渡航費支援が必要な児童への支援率：100%	【今後のスケジュール】 今後も障害児及び療育支援を必要とする幼児、児童保護者の経済的負担を軽減する為に旅費助成を引き続き行い、福祉の増進を図る。	【R7成果目標設定の考えかた】 障害者（児）聞き取りで旅行支援のニーズが多かった。医療、福祉、教育の現場から療育支援の必要な児童に関する情報を参考に設定した。
4	②	多良間村地下水源保全推進事業	R6 ～ R7	生活用水、農業用水等の用水利用のほとんどを地下水に依存する多良間村において、住民生活、産業基盤等の根幹を成す地下水源を適正に保全するため、島内唯一の最終処分場の改修工事を実施する。	最終処分場の施設に関して、技術上の基準を適合させる。	環境に安全・安心な施設の機能強化	【R7成果目標】 R6で策定する計画の中で、目標値を設定する。 【今後のスケジュール】 R6　実施計画の策定・撤去工事 R7　復旧工事	【R7成果目標設定の考え方】 R6計画で設定した目標値に向けた機能強化施策を実施していくことを成果目標として設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	竹富町民等交通コスト負担軽減事業	H27 ～ R13	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 運賃補助による利便性確保状況を検証しながら、より効率的・効果的で持続可能な住民の利便性確保策を検討する。	対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
1	②	竹富町離島航空路チャーター運航支援事業	R6 ～ R13	本町住民の交通手段である石垣・波照間航空路線を確保・維持するため、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額について、県と協調して補助を行う。	石垣・波照間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助 1路線	石垣-波照間航空路線の確保・維持 1路線	【今後のスケジュール】 石垣↔波照間航空路線の確保・維持	【R7成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本町の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。
1	③	竹富町救急救命搬送拡充事業	R5 ～ R7	島嶼のため医療体制及び救急搬送体制が脆弱であるうえ、世界遺産の登録により観光客が増加している西表島において救急救命体制の拡充を図るため、民間救急事業者による救急救命士の24時間専任体制を構築し安心な定住・観光環境を推進する。	救急患者が多い西表島西部地区における救命救急に係る各種活動の実施 （1）事故発生や発病等による諸病者への救急救命対応及び医療機関への搬送活動 （2）西表西部診療所から他の医療機関への搬送搬送及び搬送中における救急救命活動 （3）応急手当の普及活動及び疾病予防等の啓発活動	・救急搬送の拡充が図られたか（80%以上）を含め消防団・医療関係へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率100%	【今後のスケジュール】 西表島が世界資産に登録され、コロナ禍以前より多くの観光客が訪れることにより、救急救命業務の増加が推測される。その為、西表島全体での救急救命業務の拡充の必要性があり、西表島東部での民間委託の展開を検討している。	【R7成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち大多数が拡充が図られたと考える値として設定した。 ・過去の実績を勘案して設定した。
1	④	うなり崎公園整備事業	H24 ～ R8	西表西部地区に整備されたうなり崎公園において、地域住民の要望でもある児童及び幼児のための安心・安全な公園の整備を図り、地域住民のみならず各島より訪れた人々とのふれあい、休息、遊戯等の総合的な利用を目的とする町立公園の整備を図る。	幼児遊具ゾーン整備の実施	幼児遊具ゾーン整備の完了	【R9成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や町民民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 Ｒ7～R8　整備工事 R9　アンケート実施	【Ｒ9成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、大多数の利用者にとって利便性の確保及び魅力的な観光地として考えられる数値として80%以上とした。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
1	⑤	複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R8	本町での、質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業と、黒島地区の高齢者等を対象とした介護予防等の活動拠点となる福祉施設を整備する。 令和7年度は実施設計を行う。	実施設計業務の実施	実施設計業務の完了	【R9成果目標】 子育て支援センター年間利用者数1,000人（延べ人数） 高齢者サロン年間利用者数 480人（延べ人数） 【今後のスケジュール】 R6：基本設計 R7：実施設計 R8：整備工事 R9：供用開始 西表複合型福祉施設整備に向け計画	【R9成果目標設定の考え方】 町内の子育て支援センター及び地域の高齢者サロンの利用実績を参考に設定した。
2	①	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R13	持続可能な観光まちづくりの実現に向けて、滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度や消費額の維持・向上を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	・観光ブランドイメージ構築に向けた国内外への情報発信 ・町内での消費を促す地域貢献型ポイントカードシステムの運用 ・各島の観光資源（自然、文化、歴史、名産品等）の磨き上げ ・安定した食事提供に向けた宿泊施設と飲食店の連携強化支援 ・インバウンド受入対策	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光満足度評価平均70ポイント以上（最高100ポイントで10ポイントきざみ）を目指す。	【今後のスケジュール】 観光客を対象に、観光満足度含むアンケート調査を継続的に実施しながら、本取組の効果および成果目標の拡大、本事業のあり方等を適宜検証し、持続可能な観光振興に取り組む。	【R7成果目標設定の考え方】 観光客の観光満足度を確保することが持続可能な観光振興につながる為、アンケート調査で観光満足度評価平均70ポイント以上獲得することを目標値とした。
2	②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R10	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用するコンテンツを作成し利用者満足度向上を図るとともに、サテライトを含む拠点施設を整備する事により、観光客の来訪促進を図るとともに、住民の地域理解を深める。	令和3年度に作成した基本計画に沿って、サテライト施設の整備を行う。 閉館している小浜島民俗資料館をサテライト施設として位置づけ、機能強化事業を行い活用につなげる。 また、サテライト施設としての位置づけが見込まれる竹富島竜集館においても、資料調査を実施する。	・小浜資料館の機能強化を実施する ・竹富島貴宝院竜集館の資料調査およびデータベースを作成する ・町史所蔵の写真をデジタル化する	【R11年度成果目標】 ①来館者アンケート満足度80% ②閲覧者数　40,000人/年 【今後のスケジュール】 R4～6　無形文化財聞取り等 R6～8　公表データ作成・サテライト施設の機能強化（小浜島） R9　サテライト施設開館 　　拠点実施設計 R10　デジタルミュージアム開館 　　拠点施設整備工事	【R11年度成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が公開資料に満足していると考えられる値として設定。 ②基本構想の中で算出した来館者数と観光前にデジタル資料を閲覧する人数は等しいと想定し、年間40,000人程度の閲覧数を目標とする。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
2	③	竹富町観光案内人制度運用支援システム整備等事業	R6 ～ R7	西表島における適切な観光管理の下でのエコツーリズムの推進を図るため、西表島エコツーリズム推進全体構想及び改正竹富町観光案内人条例の適切な運用に必要となるシステム及びWebサイトの整備等を行う。	・システムと連携した一般向けWebサイトの構築 ・Web広告配信等による情報発信の実施	システムと連携した一般向けWebサイトの構築	【今後のスケジュール】 システムを用いて全体構想及び竹富町観光案内人条例を適切に運用するとともに、継続的にWebサイトの充実を図り、さらなる観光管理の必要性に関する認知度向上に努める。	【後年度成果目標の考え方】 過去の入域観光統計調査結果を勘案して設定した。
2	④	竹富島コンドイ園地整備事業	R6 ～ R8	竹富島コンドイ園地において、利用者負担の仕組みの導入とコンドイ浜ならではの自然資源の魅力もさらなる利活用を目的に園地を整備する	地質調査及び基本設計の実施	地質調査及び基本設計の完了	【R9成果目標】 利用者満足度90%以上 【今後のスケジュール】 R6：基本構想、基本計画 R7：基本設計、実施設計 R8：整備工事	竹富島全体での訪問満足度を参考に設定した。
4	①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R7	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を橋上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	・離島港湾靴底消毒用マット設置、6箇所（竹富・黒島・小浜・西表大原・上原・波照間） ・優良繁殖雌牛導入支援	・防疫マット設置６箇所 家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭導入支援	導入牛から生まれた子牛とそうでない牛との価格差を指標とすることで、竹富町畜産牛のブランド力の向上が図れてきているが導入牛の不妊等もあることから、妊娠牛の導入を行うことで、事故牛リスクの軽減が図れる。 繁殖牛の増頭により、伝染病に対する防疫対策は否めない為、継続的に取り組んでいく。	過去の実績を勘案して設定した。
4	②	仲間川のサキシマスオウノキ遊歩道整備事業	R7 ～ R7	仲間川天然保護区域に生育する日本最大規模のサキシマスオウノキへと続く遊歩道が老朽化により危険な状態となっている。自然文化財に触れる機会を損失している現状を改善し、地域の活性化につなげることを目的とし、遊歩道整備（第1期）を行う。	遊歩道整備（第1期）	遊歩道整備（第1期）の完了	【R8 成果目標】 西表島観光客数26万人 【今後のスケジュール】 R6：実施設計、関係機関調整完了 R7：整備工事、供用開始	過去3年間の西表島観光客数実績を勘案して設定した。
5	①	地域ガソリン等安定供給体制維持計画策定事業	R7 ～ R7	本町の多様なSS問題に対し対策を講じるため、離島におけるSSの経営・維持を目的としたSS過疎地対策計画を策定し、離島住民・事業者への安定的に供給できる体制を構築する。	西表島SS過疎地対策計画策定	西表島SS過疎地対策計画策定完了	計画策定後、当計画に基づき必要備蓄量の設定 他の離島での当該計画策定の必要性の確立	計画策定に基づき、目標を設定することで、島内の供給を安定化させる

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	地域振興対策事業	H24 ～ R13	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「日本最西端与那国島一周マラソン大会」開催の支援を行う	・カジキ釣り大会【７月】 ・マラソン大会【１１月】への補助	イベント開催月入域観光客数 ・７月：3,000人 ・11月：3,600人 合計：6,600人	イベント開催月の入域観光客数　　令和６年：6,600人 SNSの活用や新規コンテンツを交え、観光客数の増加目指す	過去の実績を勘案して設定した
1	②	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R13	・観光アピールを行い、与那国町の認知度を向上させ、観光誘客を図る、受入体制を強化・周知させ、観光客の増加を図る	①誘客受入体制強化 ②既存事業PR強化 ③与那国島観光芸能フェアの実施	令和7年入域観光客　43,000人/年	県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る	過去の実績を勘案して設定した
1	③	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R13	与那国島の特産品販路拡大及び売上の増加を図るため、与那国町商工事業者の支援を行う	①特産物を開発した新商品・新メニュー開発、既存商品のリニューアル支援及び特産品販売拠点づくりを支援する。 ②事業者による商談会・物産展への出展を支援する（離島フェア含む）	①5業者を支援し、１業者につきR８年までに５商品以上の新商品（リニューアル商品）を開発。 ②商談会・物産展への出展（５業者）を支援する。離島フェアについては１０業者支援。	【今後のスケジュール】 令和８年度までに５商品の増設を目指し支援する。	
2	①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・優良母牛及び妊娠牛導入の支援：30頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合　115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛及び妊娠牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R8	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・漁業従事者数の維持確保：４０人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R7成果目標（指標）	備　考	
パ	細			R7事業内容	R7活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R13	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	町営学習塾において学習指導の実施	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語：+7.5ポイント 以上 算数：+9.8ポイント 以上 中学生 数学：+2.7ポイント 以上 英語：0ポイント 以上	【今後のスケジュール】 町と県の平均正答率の差が以下になるように目指す。 小学生 国語：+7.5ポイント 以上 算数：+9.8ポイント 以上 中学生 数学：+2.7ポイント 以上 英語：0ポイント 以上	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会派遣等に対し、航空運賃等の補助を行う。	島外で開催される大会等へ参加する児童生徒及びその指導者に対し、航空運賃等の補助を行い、児童生徒の能力・才能を発揮する機会を提供し、可能性を伸ばす。	児童生徒の保護者へアンケートを実施し、「島内ではできない経験をすることができた(80%以上)」を含め、本事業について検証する。	引き続き派遣費の日の補助を行い、対象児童生徒の保護者に対し、アンケートを実施する。	視野が広がったと考えられる値として設定した。
3	③	地域国際交流事業	H24 ～ R13	小学６年生を台湾花蓮縣にあるタパロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業及びＩＣＴ交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・現地交流授業の実施：30名 ・派遣前後のＩＣＴ交流授業の実施 ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・全体集会や学習発表会での発表 ・保護者向けの事後アンケート調査実施	事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか（80%以上）を含め、保護者と担任教諭へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 今後も児童が国際社会への興味・関心と外国語によるコミュニケーションの意欲を高める教育機会を提供し、より広い視野を備えた人材の育成を図っていく。	【R6目標設定理由】 派遣された児童のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。
3	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H25 ～ R13	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおして、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・研修への派遣：４人 ・生徒報告書の作成 ・報告会の実施 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・生徒・保護者・教諭向けの事後アンケート調査の実施	事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持てたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答（80%以上）を含め、保護者・教諭へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して中学生を英語圏の語学研修へ派遣することで、語学力向上と国際的な広い視野を備えた人材の育成を図る。	【R6目標設定理由】 派遣された生徒のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、保護者・教諭向けアンケートにより検証する。
3	⑤	与那国民謡の文化継承事業	R3 ～ R8	伝統文化を活用した町づくりを推進するため、民謡ゆかりの地に解説板を設置し、町内外からの来訪者に民謡の持つ文化的価値を広く周知し、教育や観光に活用する。	・解説版（５点）の設置 ・映像撮影（7曲）の実施 ・民謡巡りツアーの実施	民謡解説板設置5基完了。 民謡文化の理解度（80%）を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	与那国民謡の調査を実施し、ゆかりの地が特定できる民謡については、順次、解説板を設置していく。地域学習や観光に活用できるルートやマップづくりに取り組み、民謡文化の保存継承に役立つ環境整備を推進する。	参加者のうち大多数が理解に役立ったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

令和7年度　沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町

事業番号 パ	事業番号 細	事業名	計画期間	事業概要 R7事業内容	事業概要 R7活動目標（指標）	R7成果目標（指標）	備考 今後の展開方針等	備考 補足説明等
4	①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R13	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	・預かり保育の実施	子育てに対する負担感の軽減が感じられた（90%以上）を含め、利用児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	今後は子育てに関する負担軽減のみならず、保育の質も高めていくことを目指す。	利用児童の保護者のうち大多数にとって子育て負担が軽減されたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R13	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・妊産婦定期健診の実施 ・妊産婦一人当たり受診回数：12回/人	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合　100%	基本的に石垣市での健診及び出産を対象としているが、高度周産期医療が必要で石垣市での出産が困難な状態等に限り、沖縄本島での対応も助成対象とすることとし、また、新生児集中治療室で医療を受けていた期間（30日を限度）の経費も助成対象とすることで、妊産婦の経済的及び精神的負担にも対応していく。	
5	②	歯科医院に係る渡航費助成事業	R6 ～ R7	歯科医院通院に係る渡航費の一部助成を行うことにより、町民の健康を守る。	・歯科医院通院に係る渡航費助成の実施	歯科通院に係る経済的負担が軽減されたか（80%以上）を含め、受診者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 歯科通院の際の渡航費助成の実施。	【R7成果目標設定の考え方】 受診者の大多数にとって通院に係る負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	①	公共交通路線支援事業	H26 ～ R13	生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するために必要な条件を整備するとともに、来島者の利便性向上を図る	生活路線バスの運行	・バス対策会議：１回/年の開催 ・乗客アンケート：1回/年の実施により、乗客の満足度80%以上	【今後のスケジュール】 生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	【Ｒ5成果目標設定の考え方】 島民及び来島者のうち大多数にとって島内移動の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R7活動目標（指標）：令和7年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R7成果目標（指標）：令和7年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。